

第三十七回 帝國議會 貴族院議事速記録第十七號

大正五年二月二十七日(日曜日)

午前十時九分開議

議事日程 第十七號 大正五年二月二十七日

午前十時開議

- | | |
|--|---------------|
| 第一
件(衆議院)
大正三年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル) | 會
議(委員長報告) |
| 第二
ヲ求ムル件(衆議院)
大正三年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾) | 會
議(委員長報告) |
| 第三
件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院)
大正三年度大正三年臨時事件豫備費支出ノ | 會
議(委員長報告) |
| 第四
ヲ求ムル件(衆議院)
大正三年度帝國鐵道積立金支出ノ件(承諾) | 會
議(委員長報告) |
| 第五
簡易生命保險法案(政府提出、衆議院送付) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |
| 第六
簡易生命保險特別會計法案(政府提出、衆議院送付) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |
| 第七
關稅定率法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |
| 第八
朝鮮ノ生産ニ係ル生果、核子及銅ノ移入稅ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |
| 第九
證券ヲ以テスル歲入納付ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔長谷川試補朗讀〕

昨二十六日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

大正五年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特第二號)

同日本院ニ於テ修正議決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ回付セリ

北海道會法中改正法律案
同日本院ニ於テ可決シタル左ノ衆議院提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

實用新案法中改正法律案

砂鑛法中改正法律案

同日本院ニ於テ否決シタル左ノ衆議院提出案ハ第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決シタル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

市制中改正法律案

町村制中改正法律案

府縣制中改正法律案

同日本院ニ於テ修正議決シタル左ノ衆議院提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ回付セリ

齒科醫師法中改正法律案

罹災救助基金法中改正法律案

同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

證券ヲ以テスル歲入納付ニ關スル法律案特別委員會

委員長 伯爵松浦 厚君

副委員長 男爵田 健治郎君

高等試驗法案外一件特別委員會

委員長 伯爵清棲 家敦君

副委員長 澤柳 政太郎君

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

簡易生命保險法案修正報告書

簡易生命保險特別會計法案可決報告書

證券ヲ以テスル歲入納付ニ關スル法律案可決報告書

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ本院ノ議決ニ同意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

重要物產同業組合法中改正法律案

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、御諮リヲ致シタイコトガゴザイマス、豫算委員長並ニ質屋取締法中改正法律案ノ特別委員長ヨリ本日ノ本會議中ニ委員會へ退席イタシタイト云フコトヲ申出ラレマシタ、許可ヲ致シテ御異存ゴザイマセスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマス、議事日程第一、大正三年度豫備金支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、會議、委員長報告、第二、大正三年度特別會計豫備金支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、會議、委員長報告、第三、大正三年度大正三年臨時事件豫備費支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、會議、第四、大正三年度帝國鐵道積立金支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、會議、委員長報告

「左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ裁録ス以下之ニ徴ス」

大正三年度豫備金支出ノ件

大正三年度特別會計豫備金支出ノ件

大正三年度大正三年臨時事件豫備費支出ノ件

大正三年度帝國鐵道積立金支出ノ件

右承諾スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正五年二月二十六日

右特別委員長

男爵武井 守正

貴族院議長公爵徳川家達殿

「男爵武井守正君演壇ニ登ル」

○男爵武井守正君 是ヨリ委員會ノ結果ヲ御報告イタシマス、大正三年度豫備金支出總計算書、大正三年度特別會計豫備金支出總計算書、大正三年度大正三年臨時事件豫備費支出總計算書、大正三年度帝國鐵道積立金支出總計算書、此四案ヲ束ネテ御報告ヲ致サウト存ジマス、此承諾ヲ求メラレマシタル金額ハ合計イタシマス六百九十萬圓バカリゴザイマシテ、其外ニ鐵道ノ積立金ガ百一萬圓デアリマスカラ、合セテ八百萬圓近イ金額デゴザイマス、第一豫備金カラ支出イタシマシタノガ百萬圓、第二豫備金カラ支出イタシマシタノガ二百萬圓、特別會計豫備金ガ三百九十萬圓バカリ、臨時事件費ガ二百萬圓、其外鐵道積立金ノ支出ガ百一萬圓デゴザイマス、其第一豫備金ガ百萬圓ノ内、一々各省ノ計數ヲ申上ゲマスト煩ハシウモゴザイマスシ、數字デゴ

ザイマスカラ其大體ヲ申シマスト、遞信省ガ五十八萬九千圓バカリ使ヒマシタ、内務省ガ十四萬圓バカリ、大藏省ガ十一萬圓バカリデアリマシテ、其外陸軍省、外務省、農商務省、司法省等ガゴザイマスガ、各五六萬圓乃至一萬圓、司法省ノ如キハ僅ニ四千九百圓バカリデアリマス、海軍省ハ第一豫備金ハゴザイマセヌ、第二豫備金ニ於テ海軍省ガ百五十一萬圓バカリデアリマス、遞信省ガ十八萬圓、文部省ガ十四萬圓、其他八十萬圓以內乃至何千圓ニ止マツテ居リマス、是ニハ陸軍省ハゴザイマセヌ、特別會計ニ於キマシテ外務省ノ所管デ關東都督府ガ六千四百圓バカリ、風水害ニ三萬圓バカリ使ヒマシタ、内務省所管デ朝鮮總督府ガ三十萬圓バカリ、第二豫備金デ五十萬圓バカリ使ヒマシタ、此五十萬圓ハ時局ニ關シマシテ海軍省ノ石炭ヲ採掘シマスル爲ニ平壤ニ於テ二十五萬圓、ソレカラ水害復舊費ニ二十四萬圓バカリ使ツテ、合セテ五十萬圓バカリニナツテ居リマス、其外朝鮮ノ朝鮮醫院及濟生院等デ四千七百圓バカリ、ソレカラ臺灣總督府デ九萬圓バカリ使ヒマシタ、是ハ死傷手當デゴザイマシテ、討蕃費トシテ三十萬圓バカリ、樺太ハ僅ニ八千圓バカリ第一豫備金カラ使ヒマシタ、大藏省所管デ專賣局ガ五十萬圓、陸軍省所管デ大阪東京砲兵工廠ニ於キマシテ六十四萬圓ニ百五十萬圓バカリ費消イタシマシタ、文部省所管デ東京帝國大學、京都帝國大學其他新潟ノ醫學專門學校、秋田鑛山專門學校、東京美術學校、東京女子高等女學校等ニ於キマシテ僅ニ三千八百圓バカリ使ヒマシタノデゴザイマス、臨時事件豫備費ハ二百萬圓デアリマシテ、外務省七十六萬二千圓、内務二十萬圓、大藏七萬圓、陸軍三十萬圓、司法ガ僅ニ千圓、農商務省十萬圓、遞信五十四萬八千圓、帝國鐵道積立ノ支出ガ百一萬圓、此承諾ヲ求メマシタ譯ハ、豫算ガ不成立ニナリマシタ爲ニ前年度ノ豫算ニ據リマシタ爲ニ不足ヲ致シマシタモノガ重モナル原因デゴザイマシテ、其他ハ時局ノ爲ニ軍事費ヲ費消イタシマシタノト、ソレカラ法律ノ結果トシテ年々膨脹シマス例ヘバ造船獎勵費ノ如キガ、大正三年度ニ於テ百五十八萬圓バカリ計上ガ致シテアリマシタノガ、不成立ノ爲ニ前年度ノ七十五萬圓ノ豫算ニ據ツテ支出ラシマシタ爲ニ八十九萬圓バカリ不足ラシマシタノデゴザイマス、先日豫算モ……議決ニナリマシタ豫算ニ依リマスト五年度ニ於テハ三百二十二萬圓バカリニナツテ居ルノデアリマス、年々ノ是マデノ經過ニ依リマスト二倍以上ノ經費ガ増シテ參リマス、故ニ豫算總會ニ於キマシテモ第五分科會ニ於キマシテ希望ヲ述ベラレタ人ガゴザイマス、ソレハ

造船獎勵法ト云フモノハ明治二十九年ニ創設ニナリマシタモノデ、明治二十九年カラ今年ハ二十箇年間ヲ經過イタシテ居ルノデゴザイマス、二十九年ノ當時ニハ木船ヲ造リ僅ニ千噸内外ノ鐵船ヲ造ル位ノ時代デゴザイマスカラ、

此獎勵法ヲ以テ大ニ發達ヲ促サナケレバナラヌ時代デアッタノデゴザイマス、所ガ二十年ノ星霜ヲ經マス今日ニ於キマシテハ千噸ハオロカ一萬噸乃至二萬幾千噸ト云フヤウナモノニ今日ハ船臺ガ上ツテ居ルノガゴザイマスノデアリマスカラ、此勢ヲ以テ進ミマスレバ年々二倍以上ノ獎勵金ヲ支出スルト云フコトハ當然ノ譯デゴザイマス、其幼稚ニシテ技術モ進マズ、職工モ慣レナイ當時ニ於テハ獎勵ノ必要ガアリマシタケレドモ、今日ハ……差シテ世界ニ負ケヌ位ニ技術モ進ミマシタ今日ニ於テ、尙且ツ二十年前ノ獎勵ヲシナクテハナラスト云フコトハ何所ニモナイカラ、此法ハ宜シク改正シタラ宜カラウト云フ希望ガ出マシタノデゴザイマス、是ハ本員モ尤ナコトト存ジマス、既ニ海軍ノ八四艦隊ノ經費ハ六年度ニ於テ何レカラ出サレマスカ、豫算ノ表ニ依ッテ如何ニ算盤ヲシテ見マシテモ、私ハ何處ニモ餘アッテ之ニ向ケル金額ヲ見出し得ス、斯ル不足ノ會計ノ有様ニ於キマシテ尙且ツ無用ノ獎勵……造船獎勵費ヲ年々二倍以上ヅツ出スト云フノハ實ニ無用ナコトデアルト存ジマス、是等ハ宜シク改正シテ海軍費ニデモ向ケラレムコトヲ希望スル譯デゴザイマス、前ニ申上ゲマシタ通り此支出ハ八百萬圓バカリデゴザイマスガ、一ツヅツ審査ヲ致シマスト皆尤ナ支出ト存ジマスカラ、委員會ハ滿場一致ヲ以テ承諾ヲ與フベキモノト決シマシタノデゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 採決ヲ致シマス、諸君ニ於テ御異議ガナケレバ唯今委員長ノ報告セラレマシタ四案トモ一括シテ採決ヲ致シマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 四案トモ承諾ヲ與フベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第五、簡易生命保險法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

簡易生命保險法案

右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

大正五年二月二十六日

右特別委員長

伯爵林 博太郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

簡易生命保險法案

(小字ハ特別委員ノ修正文、一ハ同削除ノ符號ナリ)

第三條 簡易生命保險ニ於テハ政府カ保險契約者又ハ第三者ノ生死ニ關シ保險金額ヲ支拂フヘキコトヲ約シ保險契約者カ對價トシテ政府ニ保險料ヲ支拂フヘキコトヲ約スルモノトス

簡易生命保險ノ種類、被保險者ノ年齢、^{○資格、}保險料及被保險者ノ爲ニ積立ツヘキ金額ノ計算ノ基礎ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 簡易生命保險ノ保險金額ハ^{二百五十}三百圓以下トス

同一ノ被保險者ニ付數箇ノ保險契約ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ保險金額ノ總額ハ前項ノ制限ニ依ル

「伯爵林博太郎君演壇ニ登ル」

○伯爵林博太郎君 是ヨリ簡易生命保險法案竝ニ簡易生命保險特別會計法案、二案ノ特別委員會ノ經過ヲ御報告イタシマス……

○議長(公爵徳川家達君) 議長ガ申落シマシタガ、第六ノ簡易生命保險特別會計法案ノ報告モ此際議題ニナッタ譯デゴザイマス

○伯爵林博太郎君 差當リ便宜ノタメ此二案ノ中前者、即チ簡易生命保險法案ノ方カラ御報告ヲ致シマス、此法案ハ御承知ノ如ク頗ル重大ナ案デゴザイマスカラ、委員會ニ於キマシテモ慎重審議ヲ經マシテ、去ル二十一日ヨリ昨日マデ、而カモ午後マデ非常ニ鄭重ニ審議ヲ致シマシタコトデゴザイマス、之ヲ一々内容ニ付テ御話シマスノハ此議會切迫ノ際デモアルシ、尙又隨分傍聽シタ方モゴザイマスカラシテ其邊ハ省キマシテ、要點タル即チ修正案ガ出マシタコトデゴザイマスカラシテ、其修正案ノ理由竝ニ之ニ對スル反對論ノ根據ヲ述ベマシテ、サウシテ委員會ノ經過ヲ大體ニ於テ御報告イタス順序ト致シマス、此修正説ハ如何ナル點ニアルカト申シマス簡易生命保險法案ノ第一條ヨリ第三十四條ニ互ル中ニ於テ、第三條竝ニ第四條デゴザイマス、第

三條ハ第二項ノ中、即チ「簡易生命保險ノ種類、被保險者ノ年齢」ノ次ニ「資格」ト云フ二字ヲ加ヘルト云フコトデゴザイマス、尙ホ念ノタメ讀ンデ見マス、第三條、此本條ヲ略シマシテ第二項ヲ讀ミマス、「簡易生命保險ノ種類、被保險者ノ年齢、資格、保險料及被保險者ノ爲ニ積立ツヘキ金額ノ計算ノ基礎ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」、第四條ハ「簡易生命保險ノ保險金額ハ三百圓以下トス」トアルノヲ「簡易生命保險ノ保險金額ハ二百五十圓以下トス」ト云フ修正デゴザイマス、何レ修正ノ理由ニ付テハ修正論者ノ御方カラ御説明モアルト考ヘマスガ、委員長ノ責任トシテ簡單ニ其理由モ述ベテ置キマス、デ此第三條ハ資格ニ付テデアリマス、第四條ハ金額ニ付テデアリマスガ、差當リ資格ノ方面ノ理由ヲ述ベマス、第一ニ理由トスル所ハ官業ノ壓迫ヲ避ケルト云フコトガ重モナルコトデアリマス、三百圓ト云フ點ニ於テ澤山ノ普通ノ生命保險會社ノ定款ニ接觸シテ居ル點ガアルノデアリマスカラ、之ヲ避ケルノガ穩當デアアル、即チ此壓迫若クハ接觸トカ影響トカ云フコトヲ及ボサナイヤウニスルノニハ、此三百圓ト云フ所ニ一ツ明カナル限界ヲ造ッテ置ク必要ガアルノダト云フ理由ニ於テ、之ヲ二百五十圓ニ下グレバ五十圓ノ差ガ出來ルカラ壓迫ノ程度ガ少クナル、是ニハ色々論者ガアリマシテ、ナラウコトナラ百圓ナラバ餘程接觸ノ範圍ガ下ガル、二百圓デモ下ガル、併ナガラソレハ程度問題デアアル、成ルベク下ヘ下ゲタイノダケレドモ、ソレガ出來ナイノデアアルナラバ先ヅ五十圓下ゲテ二百五十圓トスレバ、三百圓ヨリ餘程影響ガ少クナル、此理由ガ先ヅ第一ニ立ッテ居ッタヤウデアリマス、次ニハ競争ヲ避ケルト云フ點、名前ガ簡易生命保險デアリマスカラ無審査デアアル、色々ノ便宜ガアリマス、印紙代、交通機關ト云フヤウナモノニ最モ重要ナル印紙モ唯デヤルト云フヤウナ色々便宜ガアリマス、又月賦集金ト云フヤウナコトニナツテ居ッテ、一度或ハ二度ニ澤山ノ額ヲ取ルノデナク、毎月少イ額ヲ取ル、其取ルノモ集金デ家ヘ取リニ來ルト云フ便宜ガアルノダカラ、ドウシテモソツチニ行クヤウナ傾向ガアリマスカラ之ヲ下ゲナケレバナラス、即チ之ニ付テ矢張り二百五十圓ト云フ所ニ低下スル、下ゲルト云フコトハ理由ニ於テ當然デアアル、ソレカラ又此簡易生命保險法案ハ公益ト云フコトト私利ト云フコトト滅却スルト云フヤウナ議論モアルケレドモダ、若シ此壓迫ノ爲ニ普通ノ所謂今マデヤツテ居ッタ既得權ヲ有ッテ居ッタ所ノ保險會社ガ多大ノ壓迫ヲ受ケテ破産デモスルヤウニナッタナラバ其結果ハドウデアアル、破産スレバ其

影響ハ獨リ僅ナル生命保險會社ノミナラズ被保險者全部ノ負擔ニナル、全部ノ損害ニナル、而カモ三百圓ト云フヤウナコトデアッテ見レバ細民ノ負擔ガ重クナツテ非常ナ損害ヲ受ケルト云フ不利益ヲ來タスデヤナイカ、其影響ハ頗ル多大ナモノデアアルト云フヤウナ理由ニ依ッテ、此資格ヲ定メルト云フコト、竝ニ三百圓以下ニスルト云フコトハ理由ノアルコトデアリマスカラ、又資格ニ付テ明カナル限界ヲ言ッテ見マスト云フト、ドウモ細民ヲ保護スルト云フコトニ對シテモ、何カ此所ニ嚴格ナル制限ガナイト云フト細民ノ保護ニナラナイデヤナイカ、故ニデス、或ハ假ニ言ッテ見レバ直接國稅十圓以下ヲ納ムルト云フモノヲ細民ト云フ程度ニスルナラバ、即チ其資格ニ制限ヲ付ケルノダカラ、サウスレバ大シタ間違モ起ラナイデナラウ、ソレハ十圓デナクテモ五圓ナラ尙ホ宜イカモ知レナイ、デソレ等ハ兎ニ角政府ニ於テ十分御調べ下スツテ、其點ハ法文ニアリマス通り勅令ヲ以テ定メルト云フコトデアリマスカラ、尙ホ念ニ念ヲ入レテ十分ニ審査シタ結果、或ハ職業別トカ或ハ稅ノ方面デアルトカ、サウシテ之ヲ定メテ貫ヘバ宜イデハナイカト云フ理由ノ下ニ資格ト云フモノヲ下ゲルノハダ、即チ細民ニ恩澤ヲ及ボスト云フ上カラ見テ必要デアアル、即チ簡易生命保險ハ細民ノ方ニ恩澤ガ及ビ、普通ノ生命保險ハ中級階級ヲ主トシテ恩澤ヲ及ボスト云フコトデアレバ、接觸ヲ避ケルト云フコトニ於テ十分出來ルコトデアラウト考ヘル、斯ウ云フ意思デアリマス、詳シイコトハ又其論者ノ方カラ述ベマスカラ此所ニ略シテ置キマス、兎ニ角此修正ヲシマセスト下級民ノ保護ト云フモノガ出來ナイノデ、下級民カラ集メタ金ヲ中等社會ノ方面ニ消費スルト云フヤウナ不都合ヲ生ズルモノデアアル、斯ウ云フ意見デアリマス、政府モ大體ニ於テ之ニ對シテ御辯明ハアルト考ヘマスガ、之ニ對シテハ先ヅ到底同意ハ出來ナイト云フコトデアリマス、其修正案ニ反對ノ他ノ意見、是ハ又追々御論議ガアリマスコト考ヘマスカラ頗ル簡單ニ述ベテ置キマスガ、若シ此修正說ヲ贊成スルナラバドウ云フ不都合ガ起ッテ來ルカ、寧ロ官業ノ壓迫トカ何トカ云フコトヲ事實ニ於テ政府ニ強ヒヤシナイカト云フコトガ此所ニ一ツ理由ニナル、三百圓ヨリ下ヘ下グレバ手数料ハ二百五十圓デモ三百圓デモ同ジデス、手数料ノ掛ルコトハ……從ッテ保險金額ニ對スル保險料ト云フモノノ中ニハ純保險料ト附加保險料トアルノデスカラ、此手数料ガ掛ルト云フ方ノ附加保險料ハ依然トシテ同ジコトデアアル、此故ニ保險料ト云フモノハ二百五十圓ニ對シテハ確カニ三百圓ニ對スルヨリ高イコトニナ

リマスカラ、其結果デス、下級民ヲ助ケルト云ヒナガラ細民ニ對シテ壓迫ヲ加フルヤウナコトニナル、負擔ガ重クナルト云フコトニナル、モウ一ツハ保險金額ヲ七十五圓ト云フコトニ見積ッテ居ルノデアリマスカラシテ、若シモ損益ノ餘リナイヤウニ……勿論官營ノコトデアルカラ利益ト云フモノハ目的トシナイガ、兎ニ角損ヲセヌヤウニケルナラバ、三百圓以下ニ下レバ七十五圓ノ平均額モ下リマスカラ、其平均額ヲ下ゲナイ爲ニハ勉強スル、善イ言葉ヲ以テ言ヘバ勉強スルト云フコトヲシナケレバナラヌ、サウスレバ即チ尙更ニ民業ヲ壓迫シテ、サウシテ多クノ得意ヲ取ラウト云フコトヲ以心傳心ノ間ニ獎勵スルコトガ起ル、サウナッタラ、ソレコソ民業ヲ壓迫スルヤウナ結果ニナッテ來ルデヤナイカト云フ議論ガアリマシタ、又公益ヲ犠牲ニシテ私利ノミヲ圖ルト云フコトヲ論ズル御方モアル、若シ此修正說ヲ贊成スルナラバ、其利益ヲ受ケルモノハ保險會社デハナイカ、サウシテ其損害ノ多大ナルモノハ何デアアルカト言ヘバソレハ下層ノ細民デハナイカト云フヤウナ論カラ反對サレタ人モアリマス、是等ハ真正面カラ反對サレタノデアリマスガ、此

他ニ側面カラ反對サレタ議論ノ人モアル、ソレハ何デアアルカト云フト、成ルホド細民ノ保護ヲ圖リ、細民ニ恆産ヲ與フルト云フコトデアルカラシテ大變ニ是ハ結構ナコトデアアル、デアルカラ三百圓ガ二百圓ニナリ、二百圓ガ百圓ニナルニ於テハ民業ガ壓迫ヲ受ケテ……サウシテ既得權トシテ營業シテ居ル權利ニ侵入シナイ方法ヲ講ズルノガ頗ル穩當ナ修正ノ論旨ノ立ッタコトデアリマス、併シ今日ハ最早會期モ切迫シテ居ルコトデアリマスカラ、其論旨ハ良イトシテモ是ガ衆議院ニ廻リ、サウシテ又再ビ論戰ヲ戰ハスト云フコトニナッテ、遂ニ是ガ兩院ノ協議會ニ掛ルヤウナコトニナレバ結局此會期ニハ此案ガ通ラナクナル、若シサウナッテハ折角社會政策ノ爲ニ一日モ忽ニスベカラザル此良イ案ガ實施セラレナイト云フヤウナ虞ガアルカラ、之ニ依ッテ修正案ニ反對スルト云フ方モアリマシタ、又原案全部ニハ反對デアルケレドモ、又原案ガ潰レテ見レバ比較的自分ノ意見ニ近イ所ノ修正說ニ贊成デアルト云フ方モアリマシタ、斯様ナ理由ニ依リマシテ修正案ニ付キマシテ決ヲ採リマシタ所ガ、採決ノ結果修正案ヲ可トスル者ガ多數デアリマシテ、此修正案ガ成立イタシマシタ、第二ノ簡易保險特別會計法案ガ次ノ議題ニ上リマシタ所、是ハ頗ル簡易ナ案デアルト同時ニ、簡易生命保險法案ガ通過スル以上ハ當然ハ必要デアルト云フ理由ニ依ッテ、大シタル辯難モナク通過イタシタ

次第デゴザイマス、デ尙ホ經過ニ付キマシテハ約一週間ニ互ル論辯デアリマシタカラ、澤山ニ御話スルコトモアリマスガ、ソレハ却ッテ御議論ノアル方カラ此壇上ニ於テ説明ノアル方ガ宜イノミナラズ、其餘裕ヲ付ケルノハ委員長トシテノ德義デモアラウト思ヒマスカラ、私ハ是ニテ此兩案ノ委員會ノ經過ヲ報告イタシマシテ終リマス

○男爵高木兼寛君 議長

○議長(公爵徳川家達君) 高木男爵ハ何ノコトデスカ

○男爵高木兼寛君 質問ヲ致シタウゴザイマスガ、宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 政府ニ對シテ御質問デスカ

○男爵高木兼寛君 左様デゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○男爵高木兼寛君 本員ハ去ル十八日ニ本案ニ對シテ質問ヲ致シマシタケレドモ、尙ホ一應伺ハナケレバ贊否ヲ決スルダケノ材料ヲ得ナイノデアリマス、ソレ故ニ御尋ヲ致シマス、先日ノ質問ニ對シテ簡易保險法ハ實行スルトモ國民ノ體力ニ影響スル憂ハナイモノト信ズルト云フ御答辯ニナッタノデアリマス、本員ガ加ヘテ御尋イタシマスノハ無診査デ保險ヲ付スルコトガ出來ルヤウニナリマスレバ身體ノ健康ノ良否ハ問フニ及バヌ、即チ生命サヘアレバ殆ド保險ヲ付スルコトガ出來ルト云フヤウナ氣風ヲ生ズルコトハ國家ノ爲ニ大ナル憂デハアリマセヌカト云フ意味ヲ含ンデ御尋ヲ致シマシタガ、之ニ付テハ未ダ御答辯ヲ得ナイノデアリマス、本員ガ信ズル所ニ依リマスレバ健康ホド大切ナモノハナイト云フ心掛ヲ持スル國民ハ自然體育ニ心掛ケルニ違ヒナイノデアリマスガ、斯様ナル場合ニ臨ンデ……保險ノ場合ニ臨ンデ、健康如何ヲ問ハズ保險ヲ付スルコトガ出來ルト云フ如キ氣風ニナルノデ、取リモ直サズ國民ガ體育ヲ怠ル原因トナラウト思ヒマス、即チ國民體育上墮落ノ先鋒ニナルト云フ虞ガアル、之ニ依ッテ當局者ノ御答辯ヲ煩ハシタイノデアリマス、尙ホ御尋ネ致シマスルノハ現在ノ保險業ハ漸々發達シテ居ルカト云フ間デアリマス、本員ノ見ル所ニ依リマスレバ、保險會社ハ日ニ月ニ其數ヲ増シ、其發達ハ數ノ多キガ爲ニ頗ル憂フベキ現象ガアルガ如クニ思ハレルノデアリマス、ソレ故ニ政府ニ問ハムトスル所ハ今日ノ保險業界ノ現狀ヲ以テ満足シテ御出デナサルヤ否ヤ、之ヲ御尋シタイノデアリマス、尙ホ之ニ搗テテ加ヘテ簡易保險ヲ行ヘバ如何ナル利益ガ一般ノ保險業界ニ起ルト云フ御意見ガゴ

ザイマセウカ、之ヲ伺ヒタイノデアリマス、政府ガ本法ヲ絶對的ニ必要視セラルル如ク先日ヨリノ説明デ聞エルノデアリマス、ソレニ付テハ此簡易保險ヲ行ヘバ他ノ保險全體ノ上ニ何等カ特ニ得ル所ガアルト云フ御認メガ立ッテ居ルノデアリマス、如何デアリマス、ドウゾ審ニ御答辯ヲ願ヒマス

〔國務大臣箕浦勝人君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(箕浦勝人君) 御答ヲ致シマスガ、此簡易保險ニ於キマシテモ被保險者、即チ加入者ノ健康ヲ全ク眼中ニ置カスト云フ譯デハナイノデアリマス、成ルベク健康體ヲ選ンデ取ルノデアリマス、唯其健康體デアルヤ否ヤト云フコトヲ専門ノ醫者ノ診察ニ俟タズシテ、素人ガ唯眼デ見ルノデアリマスカラ、随ッテ専門ノ醫者ノ診察ノヤウニ精密ニ參ラヌノデアリマスガ、併ナガラ病人ヲ取ルトカ、健康ヲ顧ミナイト云フノデアリマセス、先ヅ素人ノ眼デ見テ健康デアルト見タ者ヲ採リマス都合デアリマス、從ッテ勢ヒ専門家ノ診察ノヤウニ精密ニハ參リマセヌケレドモ、趣意ハ決シテ不健康者ヲ採ルト云フ意味デナイノデアリマス、ソレカラ此簡易生命保險ヲ行ヒマス爲ニ普通ノ保險ニ如何ナル利益ガアルカト云フヤウナコトデアリマシタガ、ソレハドノ位ノ利益ガアリマスルカ、チヨット測リ難イデアリマスルガ、併ナガラ成ルベク廣ク此保險ノ利益ヲ及ボシタイト考ヘマスルニ付キマシテ、全國ニ散布イタシテ居ル七千有餘ノ郵便局ヲ使ヒマス譯デアリマシテ、自然保險思想ガ一般ニ弘マリ、普及スルト云フコトニナルデアラウカト期待イタシテ居ルガ、保險思想ガ一般ニ普及イタシマスレバ、自然普通ノ保險……段々其人ノ狀態ガ進ムニ從ッテ高イ金額ノ保險ヲ附ケルト云フコトモ起ッテ來ル譯デアリマスカラ、間接ニハ普通ノ保險ニ利益ヲ與ヘルト云フ結果ニナルデアラウ、又ナラムコトヲ希望シテ居ルノデアリマス

○男爵高木兼寛君 保險業ハ現在健全ニ發達シテ居ルヤ否ヤト云フコトヲ御尋イタシマシタケレドモ、是ニハ答辯ガゴザイマセヌカラ、ドウゾ之ニ對スル答辯ヲ煩ハシタイ

〔國務大臣箕浦勝人君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(箕浦勝人君) 先ヅ我國ノ保險業ハ諸般ノ事業中健全ニ發達シタル事業ノ中ノ一ツデアルト考ヘマス、併ナガラ數アル保險會社ノ中ニハ色ミナ種類ガアリマスシ、色ミノ狀態ニ居ルモノモアリマスルカラ、一概ニハ申シマセヌガ、併ナガラ先ヅ以テ健全ニ發達シタモノト考ヘマス、併ナガラ或

ハ餘リ一時ニ澤山出來過ギマシタ爲ニ、激甚ナル競争、過度ノ競争ガ起ッテ、ソレガ爲ニ弊ヲ受ケテ居ルコトガ餘程アルト考ヘマス、其點ニ付テハ見様ニ依リマシテ甚ダ健全ナラザル點モアルト考ヘマスルガ、併ナガラ大體カラ申シマスレバ、先ヅ相應ナ發達ヲ遂ゲ來タモノト見テ居リマス

○男爵高木兼寛君 唯今ノ御答辯デハ唯有リノ儘ノ御話デアリマス、斯ノ如キ狀態ヲ以テ政府ハ満足シテ御出デナサルカト云フコトヲ御尋シタノデアリマス、唯今仰シヤル通りニ其數ガ俄ニ増加ヲ致シ、弊ヲ生ジテ居ルト云フ如キコトガアラウト云フ意味合ノ御答辯デアリマス、是ハ即チ當局者ト云フ御方ミガ斯ク澤山アルヤウニ御拵ヘニナタモノト言ハナケレバナラス、許可ガナケレバ斯クハ殖エナイ、弊ノ出タル所ヲ見テ御出デニナレバ是等ノモノヲ矯正シテ、然ル後尙ホ進ムト云フコトコソ國家ノ經營上宜シキヲ得タルガ如ク思ヒマスガ、當局ニ於キマシテハ唯今ノ所ハ如何ニ御考ヘニナリマスカ

〔國務大臣箕浦勝人君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(箕浦勝人君) 先刻御答ヲ申シマシタ次第デアリマスルガ、決シテ今日ノ狀態デ宜シイト申ス譯ニハ參ラナイ、何レ之ヲ改良シテ參ルコトガ必要ト考ヘマス、ソレニ付キマシテ農商務ノ當局ニ於キマシテモ其點ニハ餘程注意ヲ致サレマシテ、將來一層諸般ノ弊害ヲ矯メテ健全ナル發達ノ助ニナルヤウニナルト云フコトヲ承ッテ居リマス、無論サウ云フ方針ヲ將來執ルルコトト信ジテ居リマス

○男爵高木兼寛君 先キニハ診察ハシナイノデアルケレドモ、病人デアルカナキカハ素人ノ眼デハ鑑定ヲスルノデアアル、斯ウ云フ御答辯デアッタヤウニ記憶イタシマス、シテ見レバ診察ト云フモノハ醫者デナクテハナラヌト決メテ、素人ノ見ル眼ハ診察ニナラス、斯ウ云フ意味ニ聞エルノデアリマスガ、サウ云フ道理ガ世ノ中ニアルモノデアリマセウカ、甚ダ疑ハシク考ヘルノデアリマス、三等郵便局アタリニ出張サセテ、顔、容子ヲ見テ、顔ノ容子ガ惡ケレバ尙ホ手續ヲ立テテ、然ル後契約ヲ決定スルノデアルト云フガ如キ政府ノ御趣旨ノヤウデアリマス、斯ノ如クナサレバ實際ハ診察デハナイ、或ル程度マデノ簡易ナル……醫者ノ方デ申シマスレバ望診ト云フコトヲ素人ナガラモスル、斯ウ云フ御話デアアル、シテ見レバ多少實驗ノアル人デナケレバ之ヲ識別スルコトハ出來ナイコトデアラウ、サウナリマスレバ矢張り専門見タヤウナ、體格、健康ノ良否ヲ見ル人ヲ郵便局ニ置カヌケレバナラヌト云フ始末ヲ

生ズル憂ハナイノデアリマスカ、七千有餘ノ郵便局長ハ顔ヲ出セバ直グニ是ガ病人デアアル病人デナイト云フコトヲ鑑定スルダケノ能力アリト御認めニナッテ居ル譯デアリマスカ、之ヲ一ツ伺ヒマス、尙ホモウ一ツ伺ヒマスルノハ先キニ本員ガ申上ゲタ通りデアリマス、尙ホ今後ハ改良スル積リデアアル、如何ニ改良ヲシタラ宜シイカ、現在保險業界ニアル弊ノ基ハ何デアルカ、其本ヲ明カニシ、然ル後ニ是ノ處分ヲナサルニ非ザレバ改良法ハ到底出來ナイノデアリマス、其本ヲ明カニシテ……未ダ斯ノ如キ御調査モナイノデヤナイカト思ヒマス、十分ニ保險業ノ中ニ弊ガアルナラバ、其弊ノアル所ヲ明カニ糺シ之ヲ矯正シテ、然ル後ニ進ムヤウニナサルノガ政府ノ本分デハナイカト思ヒマスガ、今日ノ所デハ其弊ノアル所等ヲ十分ニ調査ラセズ、此一方面ニ簡易ノ保險法ヲスルガ宜イト云フ如キ方針ヲ採ツタ如ク見エマスガ、本ヲ正シウシテ然ル後末ヲ治メル方針ヲ御採リニナルコトハ出來ナイノデアリマスカ、モウ一應伺ヒマス

○國務大臣(箕浦勝人君) 最初ノ方ノ御尋ノ郵便局長ニ診察スル能力ガアルカト云フコトデアリマスガ、是ハ迪モ専門ノ醫者ナドノ如ク診察スル能力ハナイノデアリマス、併ナガラ普通ノ常識ヲ以テ、御話ノ通り望診ヲスルダケノ能力ハアルト信ジテ居ルノデアリマス、ソレカラ今ノ農商務省ガ保險會社ニ對シテ改良ヲナサレルト云フ先ヅ一端ヲ申シマスレバ、濫設ノ弊ヲ防グ、餘ホド嚴重ナル方法ヲ以テ取締ヲスルト云フヤウナコトガ先ヅ改良ノ手段デアラウト考ヘテ居リマスガ、是ハ農商務ノ方ニ屬スルコトデアリマシテ、餘リ詳細ナコトハ御答スル譯ニ參リマセヌガ、大體ハ左様デアラウト存ジマス

〔仲小路廉君演壇ニ登ル〕

○仲小路廉君 私ハ委員長ノ報告ニ反對ヲ致シマシテ、原案即チ政府案ニ贊成ヲ致ス一人デアリマス、今日保險問題ニ付キマシテハ世上ニ重大ナル問題トナツテ居ルノデアリマシテ、尙ホ之ニ關シマシテハ種々ナル浮説流言等モ行ハレテ居ル今日デアリマスルカラ、私ハ本案ニ付キマシテ、政府案ニ贊成ヲ致シマスル私ノ立場及前後ノ關係ヲ明瞭ニ致シテ置キマスルコトハ甚ダ必要ト

ケレバ實行ノ出來ルモノデハナイト存ズルノデアリマス、又國家トシテモ社會組織ノ公義ニ依リ、國家ノ本分トシテモ正ニ是ダケノ事ヲ執ルノハ當然ノコトト考ヘルノデアリマス、然ルニ世ノ論者斯ル關係ノモノデアリニモ拘ラズ、之ヲ官營トスルノハ不都合デアル、或ハ獨占ノ行動ヲ取ルノガ不都合デアルト、往々斯ル議論モ耳ニ致シテ居ルノデアリマスガ、去リナガラ是等ノ議論モ多ク調査ノ進ムニ從テ其述ヲ減シマシタ、委員會中ニ於テハ最早斯ル議論ヲナス人ガ一人モナカッタ存ズルノデアリマス、其次ニ最モ議論ノ焦點トナッテ參リマシタノハ、政府ニ於テ此簡易保險ヲ實行スルガ爲ニ一般保險會社ニ對シテ種々ノ影響ヲ及ボシ、或者ハ如何ニモ言葉ヲ誇大ニ致シテ、此簡易保險ヲ政府ニ於テ實行スル結果ガ、遂ニ今日マデ發達シ來ッタ保險會社ノ事業ヲ撲滅デモ致スカノ如キ言ヲナス者モアッタノデアリマス、又之ニ反シテ此保險事業ヲ實行スルガ爲ニ一般保險會社ニ對シテハ何等ノ影響ヲモ及ボサナイモノダト主張スル者モアッタノデアリマス、政府ハドチラカト申セバ保險事業ニ對シテハ何等ノ影響ヲモ及ボサナイモノト論ゼラレタコトモアッタノデアリマス、私ハ此官營事業ヲ實行イタシマスル爲ニ保險會社ニ何等ノ影響ヲ及ボサナイモノダト論ズルハ極端デアアル、又此事業ヲ營ムガ爲ニアラユル保險會社ガ大打撃ヲ受ケテ、殆ンド撲滅デモサレムカノ如クニ論ズルハ是亦極端デアリマス、私ハ此官營事業ヲ營ム爲ニ保險會社ニ影響ヲ及ボサザルニトナリト論ズルハ是モ極端ニ失シテ居ル、多少影響ヲ及ボスコトハアラウト存ズルノデアリマス、少クモ百圓以上三百圓以下ノ程度ニ於キマシテハ之ニ影響ヲ及サズト云フコトニハ參リマスマイト思フ、必ズ一方ニ斯ル便利ノ途ガ開ケテ參リマスレバ、多少ハ其方ニ向イテ參ルト云フコトハ事實デアラウト思ヒマス、之ニ對シテ寸毫モ影響ヲ及ボサズト論ズルハ、ソレハ極端ニ失シテ居ル、去リナガラ此事業ガ實行サレタガ故ニ保險會社ニ多大ナル影響ヲ及ボシテ、而カモ撲滅デモサレルガ如キコトヲ言フト云フハ、是亦甚シキ極端ナル議論ヲナシテ徒ラニ世上ノ議論ヲ煽動スルモノデアラウト思フ、確カニ保險會社事業ニ對シテ影響ヲ及ボサヌトハ申サナイノデアリマス、併ナガラ之ト同時ニ私ハ一般保險會社モ同様ニ恩澤ヲ蒙ルコトガアルト信ジテ疑ハナイノデアリマス、私ドモハ素ヨリ今日マデ發達シ來ッタ保險事業ガ萎靡不振ノ境涯ニ陥ルコトハ素ヨリ望マナイ、以往益々健全ナル發達ヲ只管希望スルノデアリマス、又今同簡易保險ヲ政府ニ於テ實行イタスト云フ事柄

ハ、丁度前年勤儉貯蓄ノ思想ヲ一般ニ涵養イタシタ其結果ガ郵便貯金ニ好影響ヲ及ボシ、一般各種ノ貯蓄銀行ニ對シテモ其涵養セラレタル思想ノ結果ガ同様ニ好影響ヲ及ボシテ居ルノデアリマス、此趣旨ニ於テ中産以下ノ人々ニマデモ保險ノ必要ナルコトヲ知ラシメ、身後ノ經營ヲナシ、老後ノ計ヲナス途ヲ知ラシメタナラバ、此思想ガ一般ニ普及スル結果ハ蓋シ中産以上殊ニ上流社會ニ在ラセラルル人々モ、孰レモ皆此思想ノ影響ノ結果ガ益々其必要ト利益ヲ感ズルニ相違ナイノデアリマス、果シテ然ラバ假令一面ニ於テ失スルコトガアリトモ、他面ニ於テハ大ナル利益ヲ享受スルコトガ當然デアラウト思フ、然ルニ何事カ、僅ナル關係ノコトノ爲ニ、左モ聲ヲ大ニ致シテ、アラユル保險事業ヲ撲滅デモスルガ如キ議論ヲナスト云フノハ、實ニ國家竝ニ社會組織ノ如何ヲモ考ヘズシテ、徒ラニ己ガ利益ニ汲々タルモノダト云フコトヲ述ブル者ガアリマシテモ是ハ誣言ト云フ譯ニハ參ラヌト思フ、私ハ總テ大體ノ議論ニ止ムル積リデアリマス、唯委員長ノ報告ニ反對ヲ致シマスル結果、勢ヒ修正論ノ一端ニ付テ論究ヲ致サネバナラスノデアリマス、此修正ノ議論ヲ提案セラレマシタノハ、曩ニ國家ノ重要ナル職務ニ在ラセラレマシタ山本達雄君デアリマス、而シテ主トシテ之ニ贊成ノ議論ヲ主張セラレテ居リマスル者ハ我々ガ平素深ク敬意ヲ拂ッテ居リマス前田子爵デアリマス、此深キ尊敬ヲ拂フ兩君ガ當初ハ本問題ニ對シテ根本的ニ反對的ノ意見ヲ主張ナサレテハ居ラナカッタカト思フノデアリマス、前田子爵ハ態々文書ヲ廣ク弘布サレマシテ、詳シキ意見ヲ述ベラレテ居ルノデアリマス、私ハ謹ンデ之ヲ拜誦イタシテ、度々繰返シテ其意ノ在ル所ヲモ玩味ヲ致シタノデアリマス、又山本達雄君ハ當初不幸ニシテ委員會ニ御出席ガナカッタノデアリマス、然ルニ委員會ニ御出席以來ハ繰返シ繰返シ御質問モアッタノデアリマス、其御意見ニ依レバ是亦同様ニ隨分根本ニマデモ影響ヲスルヤウナ御説モアリハシナカッタカトモ拜聽ヲ致シタノデアリマス、然ルニ是等ノ兩君ガ折角斯クマデニ熱心ニ、殆ド根本ノ方針ニ對シテマデモ御異見ガアリハシナカッタカト氣遣ッテ居リマシタニ拘リマセズ、昨日ノ委員會ノ情況ニ依リマスレバ、大體本案ニ對シ必要ナリト云フ御意見ニ御一致ニナリマシタコトハ、私ハ實ニ國家社會ノ爲ニ甚ダ喜ブ所デアリマス、深ク喜ブニ拘リマセズ、斯ウマデニ國家社會ノ爲ニ前職ヲ打捨テテ御一致ト云フコトマデ及ンダニ拘ラズ、之ニ對シテ修正ヲサレタノデアリマス、此修正ノ第一ハ被保險者ノ資格ヲ決メル、被保險者ノ資

格ヲ決メルト云フ意味デ被保險者ヲ保護シテ、中産以下ノ者ヲ保護スルト云フコトノ爲ニ其資格ヲ決メルト斯ウ仰セニナル、是ハ政府ニ於テモ實ニ此資格ノ決メ方ニハ困ル、實行上甚シキ不可能ヲ感ズルコトダト云フコトヲ繰返シ説明サレテ居ッタニ拘ラズ、遂ニ斯ルコトノ御提案ニナッタノデアリマス、私ハ茲ニ斯ウ云フコトヲ感ズル、近來一般ノ情況ハ成ルベク下層社會ノ人ミト上層社會ノ人ミトガ出來得ルナラバ相接觸シ、其ニ意思ノ疏通モ付クヤウナ機會ノ出來ルコトハ社會ノ必要上極メテ大切ナルコトト思フ、然ルニ階級ノ關係ヲ、之ヲ廣クシ、或ハ人ニ差別的、區別的方法ヲ執ルト云フコトハ實ニ近代ノ思想ニ背イテハ居ラヌカト思フ、下層上流共ニ相成ルベクハ接觸モシ、意思ノ疏通ヲ計リ、相互ニ同情シ合フ機會ヲ造ルコトハ是ハ極メテ大切ナルコトデアリマス、但シ其相互ノ關係ニ於テ銘々ガ推讓抑損ノ途ヲ取ルノハ、是ハ德義トシテ當然デアリマス、相互ニ推讓抑損ノ途ヲ取ルノハ當然ナコトデアリマスケレドモ、上流者ハ努メテ下級社會ノ情況ヲモ知リ、又下級社會ノ人ミモ此上流社會ノ情況ヲモ知リ、共ニ改善進步ノ途ヲ計ルト云フコトハ近世ノ傾向デアラウト思フ、然ルニ何事カ態々茲ニ資格ト稱シテ、態々資格ト稱シテ茲ニ中産以下ノ人ミハ斯ルモノデアルト云フコトノ此區別的规定ヲ設クルト云フコトハ、私ハ大體ニ於テ甚ダ之ヲ遺憾ニ存ズルデアリマス、固ヨリ實行ニ於テハ先ニ申ス相互ニ推讓抑損ノ途ニ依ッテ、此制度ヲ努メテ中産以下ノ爲ニ設ケラレタモノト云フナラバ、上流ノ人ミハ宜シク之ガ發達ヲ期スル途ヲ講ゼラレタレキモノデアラウト思フ、然ルニ何事カ、態々之ニ對シテ區別的制度ヲ立テテ、之ヲ以テ可ナリトスルニ至ッテハ私ハ根本ニ於テ甚ダ遺憾ニ存ズルデアリマス、次ニ二百圓以下トアッタノヲ、保險會社ニ關係ヲ及ボス故ニ之ヲ二百五十圓ニ改メ、是ハ極メテ私ハ異議ハナイト思フ、ナゼ交叉接觸ヲ認ムルナラバ斷然百圓ニ決メナイカ、斷然百圓ニ決メマスレバ茲ニ論理モ一致シ、條理モ貫通スルコトモアル、然ルニ何事カ、百圓ナリト云フコトノ勇氣スラモナク、僅ニ五十圓、是以上私ハ殊更論及スルコトヲ避ケルノデアリマス、是ガ嘗テ國家ノ重要ナル職務ニ當ラタ山本君、殊ニ貴族院內ニ於テ最モ尊敬ヲ致スベキ前田君、此兩君ニ依ッテ斯様なコトノ御主張ハ實ニ私ハ遺憾千萬ニ存ズルデアリマス、殊ニ私ハ憂フル、本案ハ既ニ衆議院モ通過イタシテ居ルノデアリマス、固ヨリ二院制度ノ上ニ於テ衆議院ヲ通過シタル案ナリト雖モ貴族院ニ於テ修正加除、是ハ制度ノ上

ニ於テハ當然ナコトデアリマスル、何人モ是ハ宜シクナイトハ申サナイ、去リナガラ之ト同時ニ兩院ハ相互ニ又尊重シ合フガ至當デアラウト思フ、成ルベク相互ニ兩院相尊重シ、相調和ノ途ヲ講ズルハ憲法上至當ト考ヘマス、又案ノ性質如何ニモ依ルコトト存ジマス、例ヘバ華族ノ世襲財産ニ關スル點ニ付テハ、是亦利害關係ノ如何ニ依ッテ重キ貴族院ニ置キ、衆議院ハ努メテ之ヲ尊重イタシテ滑ナル通過ヲ計リ、之ト同様ニ今回ノ保險問題ナルモノハ實ハ一般庶民ニ涉ル問題デアリマス、一般庶民ノ爲ニ國家ガ此思慮アル此制度ヲ施サムトシテ、今ヤ一般庶民ヲ代表イタシテ居ルト云フ衆議院ニ於テ通過イタシテ居ル其案ニ、態々貴族院ニ於テ之ニ修正ヲ加ヘ、萬々一是ガ不成立ノ結果ニナリマシタナラバ其責ハ何人ガ負フカ、私ハ敢テ憲法上貴族院ニ修正ノ權ナシトハ申サナイ、去リナガラ事柄ハ單純ナ理論バカリデハナイ、宜シク前後ノ情況ト、又案ノ實質、性質如何ニモ考慮ヲ加ヘテ然ルベキモノデアラウト思フ、然ルニ單ニ理論一偏ニ走ッテ、差シテノ意味ヲモナサナイモノヲ茲ニ修正ヲ加ヘテ、萬々一是ガ不成立ニナリマシタナラバ、私ハ實ニ國家社會ノ爲ニ折角ノ好制度ノ其實績ヲ見ルコトガ遅ルルノハ甚ダ遺憾ニ存ズルモノデアリマス、私ハ切ニ希望イタスノデゴザイマス、私ハ一身ノ上カラ申シテ自分ノ主張ヲ貫徹スルガ爲ニ、又貴族院ノ末班ヲ汚シテ居ル者ト致シマシテモ、願ハクハ斯ル案ニ付テハ貴族院諸公ハ須ラク下層ノ人ミノ爲ニ一掬ノ同情ヲ持タレマシテ、滿場異議ナク之ヲ通過セシメルト云フガ如キ社會的公義心ヲ御發揮ニナリマスコトヲ深ク希望イタス次第デアリマス、私ハ此意味ニ於キマシテ原案即チ政府案ニ贊成ヲ致スノデアリマス

「男爵高木兼寛君「私ハ申出デ置キマシタノハ取消シマス」ト述
フ」

○議長(公爵徳川家達君) 高木男爵ハ何デスカ

○男爵高木兼寛君 私ハ發言ヲ求メマシタケレドモ取消シマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ發言ノ通告モ得テ居リマセシ、他ニ發言者モナイト認メマスカラ……

○水野鍊太郎君 チョット伺ヒタイノデアリマスガ、唯今ノ仲小路君ノ御演説ハ委員長ノ報告ニ反對スル御演説ノヤウデアリマス、是ハ一讀會、二讀會ノ順序デ往クノカモ知レスト思ヒマスガ、委員長ノ報告ニ贊成デアルト云フコ

トデアリマスナラバ此際ニ述ベルノデスカ、如何デスカ

○議長(公爵徳川家達君) 唯今仲小路君ノ御演説ハ少シ二讀會ニ移ツテ、逐條審議ノ際述ベラレル如キ御申述ガゴザイマシタガ、議長ノ考ヘマスノハ唯今ノハ第二讀會ニ……本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル御論ト……大體ノ御論ト考ヘテ居リマス、ソレデ宜シウゴザイマスカ、ソレカラ本案ノ第二讀會ヲ開クベキヤ否ヤノ決ヲ採リマシテ、其上デ第二讀會ヲ直チニ開クト云フ動議ガ可決セラレマスナラバ第二讀會ヲ開キ、逐條會議ヲ開ク考デアリマスガ、水野君ハソレデ御了解ニナリマシタカ

○水野鍊太郎君 私ハ斯ウ考ヘテ居ッタデアリマス、本案ヲ第二讀會ニ移スベキヤ否ヤト云フコトニ付テノ御討議デアリマスルナラバ、本案ヲ詰リ其儘、原案ヲ其儘賛成スルカ、修正案ヲ賛成スルカ、修正案ト原案ニ付テ賛成トカ反對トカ云フノハ甚ダヲカシイト思ヒマスガ、ソレハ別問題デアリマス、要スルニ委員長ノ御報告ガアリ、而シテ委員長ノ報告ニ對シテ反對ガゴザイマスレバ、委員長ノ報告ニ對シテ賛成演説ガアッテ然ルベキコト考ヘマス、又必シモ此問題ハ第二讀會ニ於テ決議シナクテモ……討議シナクテモ大體議ト致シマシテ、而カモ本案ノ主要ナル點ニ付テ修正意見ガアリマシテ、此點ニ付キマシテノ討議デアリマスルナラバ、仲小路君ガ反對意見ヲ述ベタト同時ニ賛成意見ヲ述ベルト云フ順序デ往クノガ寧ろ適當デハナイカト考ヘマスカラ、玆ニ伺ヒマシタノデスガ、私ハ其方ガ適當ト自分デ考ヘルノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 議長ハ寧ろ水野君トハ反對ノ考ヲ持ッテ居リマス、仲小路君ノ唯今ノ御演説ハ委員長ノ報告ガ問題トハナッテ居ラナイノデアリマス、左様御承知ヲ請ヒマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○男爵田健治郎君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○平山成信君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、唯今問題ニ供シマスノハ第一條ト第二條ト御承知ヲ請ヒマス、念ノ爲ニ申上ゲマスガ、委員長ノ報告ハ第五、第六ヲ束ネテ致サレマシタガ、勿論唯今ノ第二讀會ヲ開クト申スノハ第五ノ簡易生命保險法案ノミト御承知ヲ請ヒマス、本案ノ第一條、第二條ニハ修正ガゴザイマセヌ、採決イタシマス、原案デ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認メマス、是ヨリ諸君ニ於テ御異議ガゴザイマセヌケレバ、第三條、第四條、之ヲ問題ト致シ、ソレニ付テ討議ヲ致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 通告ニ依リマシテ登壇ヲ促シマス、林伯爵

〔伯爵林博太郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵林博太郎君 本員ハ此三條、四條ノ修正說ニハ反對ヲ致ス一人デアリマス、是ハ長イ間モウ議論ガアリマシタコトデアリマスカラ、外ノ御方ノ述ベタコトハ自分ハ述ベナイ積リデ、隨ッテ簡單デゴザイマスカラ暫ク御清聴ヲ煩ハシタイノデアリマス、此第三條ノ第二項ニ資格ヲ加フルト云フコトニ付キマシテ先ヅ反對意見ヲ述ベタイ、デ是ハ御承知ノ御方モ無論ゴザイマスガ、政府ガ商業會議所其他ニ前々諮問イタシマシタ時ノ前ノ案ニ於テ、既ニ直接國稅十圓以下ノ者ニ於テハ割増金ヲ與ヘテ二百五十圓ヲ限度トスルケレドモ、是ガ略ニ二百九十圓即チ三百圓位ニ當ルヤウニスルノダト云フコトニナッテ居ッタノデス、而シテ今日ソレガ何故ニ此資格ノ問題ガ無クナッテ玆ニ現ハレテ來タカト云フコトモ考ヘナケレバナラヌダラウト思フ、是ハ政府モ少シク御手落ガアッタラウト思フ、即チ説明ニ於テ……資格ト云フコトニ付テハ唯ムヅカシイト、審査ガムヅカシイカラ出來マセスト云フニ止マッテ、何等具體的ノ證明モナケレバ、實例モナイ、本員ハダ、自分ノ取調ベタ所ニ依リマスト云フト、私ノ議論ニハ多少ノ論據ガアル、即チ獨逸ノ「ザイクトリヤ」會社ヲ始メシテ、是ハ私營デヤッテ居ルケレドモ、小口保險即チ簡易生命保險會社ノ發達シテ來タ徑路ヲ一ツ調ベテ御覽ナサイ、如何ナル方法ニ依リ、如何ナル定款ニ依ッテ、如何ナルコトヲヤッテ居ッタカト云フコトヲ一ツ調

ベテ戴キタイ、御承知ノ如ク獨逸ニ於テハ民間ノ同ジ會社デアリマスケレドモダ、簡易生命保險ト同様ニデス、此普通生命保險ガ歩調ヲ一ニシテ進歩シテ居ル、其間ニ於テ此資格ト云フコトヲドウシテ居ルカ、是ハ初メニハ反對論者ノ仰シタル如キコトヲ既ニヤッテ居ッタノデ、資格ト云フコトガ初メニハ小口保險ノ歴史トシテ明カニ本ニ書イテアル、サウナッテ居ッタ、ソレガ何故ニ今日ハ獨逸現狀ニ於テ此小口保險ニ於テ資格ト云フコトヲ全然除イタカト云フコトノ原因ヲ一應調ベナケレバ唯空論デ、政府ノ方デハ是ハムヅカシイカラヤラナイ、修正論者ノ方デハ是ガナケレバ細民ト中級トノ區別ガ付カナイカラヤラナイト云フヤウナコトハデス、是ハ實際机上ノ空論ナンデス、惡口ヲ云ヘバ即チ脱線ノ議論デス、ソレガデスナ、何故ニ資格ト云フコトヲ止シタカト云フト、ドウヤッテ見テモ方法ガ付カナイカラ止シタノデス、段々仲小路君カラノ御話ガアリマシタガ、此點ハ私ハ少々不賛成デアル、經濟階級ガ發展シテ來ルト階級ト云フモノガ段々薄クナッテ來ル、成ルベク我々ハ階級ト云フモノヲ……細民ダト云フヤウナ區別ヲ付ケナイヤウニスルト云フ點ハ宜イガ、サウ云フ風デナイヤウニ發達スルヤウナ意味ニ聽キマシタガ、サウデハナイ、實際今度ノ戰役ニ於テ工業社會ハ發展スルニ違ヒナイ、サウスルト本當ニ細民ト云フ階級ガ出來ルカモ知レナイ、併ナガラ如何ナル點ニ於テ細民ナリヤ細民ナラザルヤハ區別ヲ決メマスカ、此標準ハ何處ニアアル、斯ウナッテ來ルト恐ラク答辯ガナイダラウト思フ、此提案者ニ於テドウスル、ムヅカシイト稱シテ居ル、此所ニ書イテアルカラ、勅令ヲ以テ定ムベシト云フコトデアルカラ、ユックリ御考ヘナサイト云フノデ、何等具體的ノ提案ガナイヂヤナイカ、隨分無責任ナル修正案ダト考ヘル所謂私考ヘマスルニデス、今日獨逸ナドニ於キマシテハ上中下ノ區別ガ一等二等三等トナッテ、現狀ニ於テハ一等二等三等四等、汽車ニモ四等ト云フ車ガアル、即チ勞働者階級ガ出來テ居ルデヤアリマセスカ、形デハ出來ルケレドモ内容デハ區別ハ出來ハシナイ、例ヘテ見レバ……譬デスカラ脱線デヤナイデス、東京ノ電車ヲ御覽ナサイ、資格ト云フコトヲ始メルニハ隨分考ヘタ、午前七時マデノ割引電車ニ今ノ勞働者ガ乗ルカ乗ラナイカ、或ル提案者ノ如クデス、細民保險ト云フ名前ヲ付ケタナラバ其名ニ對シテ細民シカ這入ラナイダラウト云フ議論ハ電車ヲ見テモ直グニ分ルデヤアリマセスカ、午前七時マデノ電車ニ細民ダケ乗ッテ居リマスカ、細民以上ノモノガ乗ッテ居リマスカ、極メテ平凡ナ例デアアル、ソレニ

依ッテ見テモ御客ノ區別モ出來ナイ、規則ノ區別モ出來ナイカラ從ッテ其標準ニ苦シイ、而カモ獨逸ニ於テハ此標準ヲ立テルノニ非常ニ苦シダ結果トシテ無クナッテ居ルニ於テヲヤ、是ハ餘リ長クナルトイケマセスカラ其位ニシテ置キマスガ、御承知ノ通り無職業ト云フコトモ出テ來ル、ソレバカリデヤナイ、職業ニ依ッテ區別スルト云フ御話モアッタ、所ガ段々工業界ガ發達シテ來レバ獨逸ノ所謂「アルバイツローシツヒカイト」無職業ガ出來ル、職業ノナイモノガ出來ル、細民保護ハ職業ノナイ哀レナモノヲ助クルト云フコトニ依ッテ慈善事業ガ貫徹スルノデヤアリマセスカ、サウ云フコトニナッテ色々考ヘテ見マスト云フト、是ハドウモ自分ノ方ニ良イ案ハナイカラ、何トカ勅令デ決メテ貫ヒタイト云フヤウナ漠然タル議論ハ、私トシテハドウ考ヘテ見テモ探ルコトハ出來ナイノミナラズ、斯ノ如キ重大ナ案ヲ出スニ當ッテ、斯ノ如キ杜撰ナル根柢ニ於テ修正シ賛成シロト云フコトハ、今マデ隨分私モ考ヘテ見マシタガ、遂ニ理窟ニ於テ賛成ガ出來ナイト云フコトニ落チザルヲ得ナイ、次ニ第四條ノ三百圓以下ニスルト云フコトモ、是モ先程御話ガアッタカラ私ハ仲小路君ノ言ハレタ分ハ省キマスガ、政府ハ斯ウ云フコトヲ言フデス、三百圓以下ニ之ヲ下ゲマスと云フト七十五圓ト云フ平均額ガ減ル、サウシテ見ルト云フト是ガ收支償ハナクナル、國庫補助ヲ受ケナケレバナラス、色々ナコトガ起ル、強ヒテ七十五圓ニ保タウト云フナレバドウシテモ競争ト云フヤウナコトニ自然陷ッテ來ルト云フ議論モアッタ、是ハデスナ、ドウセ此案ヲ出ス以上ハ多少競争モ實際ハアルデセウ、其點ニ付テハ原案ヲ私ハ必シモ宜イトハ言ヒマセヌガ、ソレハ仕方ガナイト思フ、二百五十圓ト云フコトニ付テハデス、是モ全ク仲小路君ト同感デ、何故ニ二百五十圓、タッタ五十圓下ゲタカ、下ゲル理窟ガアルナラバモット下ヘ行クナラバ當リ前デス、是ハ論ジマシタカラ言ヒマセヌガ、俗ニ五十歩百歩、五十歩百歩デハ半分違フ、ソレガ多少ト云フコトニナッテ居ルガ三百圓ト二百五十圓デハ五十歩百歩以上ニ多少デアル、斯ウ云フコトハ根柢ガアッテ言フナラバ宜シウゴザイマスガ、何等根柢ナク三百圓ヲ二百五十圓、政府ノヤリ方ニ依ッテハソレデモ政府ニ餘程這入ッテ來ルダラウト思フ、サウ云フヤウナ詰ラナイ見込ノヤウナコトデ議論ヲ立テルト云フコトハ私ハ間違ッテ居ルダラウト思フ、議論ヲスルナラバ健全ナル根柢ニ立ッテ造ラナケレバ何ンニモナラナイ、佛獨ノ戰線ノ如キモノデ、一步進メバ一步退ク、味方ガ進メバ敵ガ退ク、敵ガ進メバ味方ガ退クト云フ有様ダ、

是ハ限界線ガアルカラ宜イケレドモ、此議論ニ付テハ政府モ辯護ガ出來ナイ、何等標準タルベキ限界線ガチットモナイ、片方ガ進メバ片方ガ退クト云フ論戰デアアルノデス、私ノ身體ガ立ッテ居ルカラ初メテ右ダ左ダト云フ、身體ガ立ッテ居ナケレバ右ダトカ左ダトカ云ツタ所ガ分ル氣遣ヒナイ、總テ議論ハサウデス、斯ウデヤナイカ、斯ウダト云ツタ所ガ、斯ウデナイト云ツタ所ガ議論ニ於テ標準ガナクチャナラヌ、其標準ヲ私ハ後ニ述ベマスガ、社會政策ガナケレバ標準ガ付カヌ、社會政策ヲ以テ標準トシテ、之ニ依ッテソレヲ制限スルヤセザルヤト云フコトヲ根據ニ論ゼザレバ議論ハ活キテ來ヤシマセヌ、右ダ左ダ、ソレハ全ク空論ニ陥ル、斯ノ如キ議論ニハ贊成ガ出來ナイ、又政府ノ辯明ノ如キモ詰問シテ結果多少脱線ノ憂ガアルダラウト思ヒマスガ、サウ云フコトハ咎メラレナイト思フ、又之ニ對スル政府ノ方ノ御提案モ聽キマシタガ、是モ矢張り一向斯ウ云フ工合デ、何等根柢ガナイノデアリマスカラ、是ハドウモ贊成ガ出來マセヌ、ソレカラ又政府ニ於テモ三百圓以下ニ下ゲルコトノ出來ナイ理由ト致シマシテ色ミノコトヲ無論言ハレタノデアリマス、尙ホ手數料ナドノ話モ出テ來テ、普通ノ保險ハ先ヅ配當附ノ保險料ト云フコトニナツテ居ルカラ、配當附保險ト云フモノハ保險料カラ將來受クル配當ト云フモノヲ一々貰ッテ居ルノデアルガ、ソレヲ延ベテ行クト結局政府ノ此度ヤラウト云フ保險料ハ二割バカリ手數料ガ高クナツテ居ル、保險料ハ高クナツテ居ルケレドモ……保險料ガ高イカラシテ競争ニ依ッテ這入ッテ來ルモノヲ避ケルコトガ出來ルノデアルト云フコトデアルガ、是モ矢張り議論ダケノ話デアアル、是ハモウ保險會社ノ方ノ言ハレル所ガ尤モダラウト思ヒマス、今日ノ保險會社ヘ何モ言ハズニ這入ラウト言ッテ來テ保險ヲ付ケル者ハ一人モナイ有様デアリマス、毎日毎日勸誘員ガ歩イテ、ソレデ漸ク加入者ガ出來ルト云フコトイカラ這入ラウト云フヤウナ意味カラ這入ル者ハナイト思ヒマスカラ、此説明ハ餘リ辯護スル積リデハナイノデアリマス、併ナガラソレハ簡易保險デアリマスカラ、無資産ノ者デアリマスカラ其方ヘ餘計這入ルト云フ嫌ガアルコトハ無論ノ話デゴザイマセウ、ソレカラ又此簡易保險實行ノ及ボス影響ノ話デアリマシタガ、是等ノ影響ト云フヤウナコトニ付キマシテモ大ニ考ヘテ見ナケレバナラヌコトデアアル、成ルホド三百圓ヨリハ二百五十圓ニシタ方ガ接觸點ガ低イ、二百五十圓ヨリ二百圓、二百圓ヨリハ百五十圓ノ方ガ接觸點ハ

低イノデアリマスケレドモ、恰モ時計ノ鎖ノ如キモノデアアル、鎖ノ如キモノハ何故ニ丈夫デアアルカト云フト、互ニ接觸シテ喰合ッテ居ルカラ丈夫ナノデアアル、ソレト同ジク保險業モ互ニ接觸シテ居ルカラ初メテ健全ニ發達シテ行クノデアリマス、現ニ保險協會ナドト云フモノガアルデヤアリマセヌカ、互ニ接觸シテ、切磋琢磨シテ、之ニ依ッテ進步スルノデアリマスカラ、ソレヲ影響ガアルトカ、壓迫デアルトカ云フヤウナコトハ言ハレナイ話デアアル、互ニ相接觸スル結果トシテ進步スルノデアルカラ、彼ノ三井吳服店ガ出來タ爲ニ他ノ吳服店ガ賣レナイト云フ心配ハ要ラヌダラウト思フ、隣ヘ同業者ガ來タラ自分ノ方デハ益得意ノ便利ヲ圖ッテ、良イ物ヲ賣ルヤウニシテ、サウシテ競争ヲシナケレバナリマセヌ、サウスルト競争心ヲ無クスルト云フヤウナ方針ヲ作ルノハ今日ノ現況ニ照シテ頗ル穩デナイト思ヒマス、ソレカラ此保險會社ニ這入ッテ居リマス所ノ三百圓以下ノ加入者、即チ被保險者ト、ソレカラ全國ノ人口トノ割合ヲ取ッテ見マスレバ、内地ノ人口ヲ五千四百萬トシテ、五十八萬人ノ被保險者デアレバ概數百分ノ一ナンドス、ソレデ若シ此修正案ヲ通ジテ縱令此民業ヲ全部壓迫スルト假定シタ所ガ百ニ對スル一デアアル、其百ニ一ノ壓迫ヲ恐ルル爲ニ他ノ百ノモノヲ犠牲ニ供スルト云フコトハ數ニ於テ考ヘテ見テモ甚ダ詰ラヌコトダト思ヒマス、ソレハ何レ又御話モアリマセウガ、小サイ私利ヲ滅却シテ大ナル公益ヲ圖ルト云フコトハ少シモ差支ナイコトダラウト思ヒマス、若シモ是ガ壓迫デアルト云フヤウナコトデアラナラバ私ハ保險業者ニ對シテ壓迫ト云フコトノ説明ヲシテ見タイト思フ、壓迫ヲ受ケズニ發展スルト云フコトハナイ、サウ云フモノハ天下ニ何物モナイト言ッテ宜カラウト思ヒマス、況ヤデス、既ニ是ミノ人ガ這入ッテ居ル、私ハ此簡易保險ノ原案ガ通過シマシタラ、ソレニ依ッテ恩澤ヲ受ケル者ハ何デアアルカト言ヘバ、凡ソ三ツバカリノモノガアリマス、是ハ蓋シ諸君モ御同感デアラウト思ヒマス、先ヅ第一ガ小學校教員デ、其正教員ガ十萬人、ソレカラ準教員ガ五萬人、合セテ十五萬人、ソレカラ巡查ト云フモノハ極メテ薄給デアツテ、誠ニ氣ノ毒ナモノデアアルガ、是ガ看守等ヲ合セテ兩方デ二十萬人モアリマス、之ヲ通算シテ見レバ三十五萬人ニモナル、此三十五萬人ガ差當リ此簡易保險ノ恩澤ニ浴スル、又浴スベキモノデアルト思ヒマス、此原案ガ通レバ或ハ之ガ爲ニ特別ノ施設モ出來ルデアラウト思ヒマス、是等ノ點ニ於キマシテ此修正案ニハ不贊成デアアルノデアリマス、ソレカラモウ一ツ簡單ニ述ベテ置

キマスガ、此提案ノ理由トシテハ稍々曖昧デアリマシタ爲ニ誤解ヲ來タシテ居ルト思ヒマス、即チソレハ細民ニ恆産ヲ與フルヤウニシテ、糊口ノ上ニ憂ナカラシメルト云フノガ此提案ノ理由デアアルノデス、然ルニ何事ゾ、特別委員會ニ於テ是ハ細民ダケデアッテ中級以上ノ者ニイカナカッタノデアアル、細民ニ恆産ヲ與フルト云フコトハ……其結果細民デアリマスガ、細民「ブラス」ノ恆産ハ中等社會ノ人間デアアル、此法案ガ通ッテ良イ結果ヲ來タシタナラバ細民ハ恆産ヲ得テ中級ニ入ルコトニナリマスカラ、茲ニ於テ私ノ言フ標準、サツキ申上ゲタ社會政策ノ原理ニ適フト言フ……社會政策ニハ色ミアリマシテ、茲ニ桑田君モ居ラレマスガ、是ニハ定義ハアリマスケレドモ、私ハソソナコトハ述ベマセス、中等社會ヲ減ラスト云フコトガ重ナル點ト思ッテ居リマス、是ハ御存知ノ方ハ幾ラモアルノデアリマセウ、現ニソレヲ伯林ノ「ワグネル」、「ミューンヘン」ノ「プレントナー」、「ヴェルニク」ノ「ミッテルスタンツボリチック」ト云フヤウナ書物ニ十年モ前カラ書イテアル、社會ノ發展、工業ノ發展ニ付テハ色ミ込ミ入ッタ事業ガ起ッテ來ル、隨ッテソレガ爲ニ一番混亂セラルルモノハ中等社會デアッテ、其中等社會ガ段々減ッテ行クト云フコトニナル、即チ資本家ト労働者トノ二ツシカナクナルノデアアルガ、是ハ社會政策トシテ甚ダ面白クナイコトデアアル、成ルベク中等社會ガ其地位ヲ保ッテ居ラルルヤウニ調節スル所ノ社會政策ト云フモノガアルノデアアリマセウカ、然ラバ是ガ中等社會ト云フモノガ殖エテ行クト云フコトニナッテ、サウシチ細民ニモ恆産ヲ與ヘルコトニナルナラバ誠ニ結構ナコトト考ヘル、今年ノ議會デ是ガ通過シナイデモ、又來年モ議會ガアルデヤナイカト云フ議論ハ此戰後ノ經營ニ多大ノ關係ヲ持ッテ居ルコトヲ思ハヌノデアアル、此戰爭ハ今年濟ムカモ知レズ、サウスレバ今ヤラナクテモ間ニ合フトハ言ッテ居ラレナイ、今日之ヲヤッテモ十年モ經タナケレバ十分ニ社會ノ事業ニナラスト云フ譯デアリマスルカラ、其點カラ考ヘテ見レバ一日モ早ク此案ハ出サナケレバナラヌト思ヒマス、斯ウ論ジテ來マスルト云フト、色ミノ問題ガ戰後ニハ起ッテ來マスガ、社會政策ト言フガ、私ハ何モ此工業ノ發展トカ何トカ云フコトハ言ハヌ、彼ノ八分ノ補助ヲ仰イデ染料會社ガ出來ルトカ出來ナイトカ、サウ云フ商業工業ノ膨脹ヲ以テ社會ニ戰ハナケレバナラヌ、彼ノ獨逸ニ在ッテハ理化學ガ進歩シテ居ル爲ニ工業ガ發展ヲシ、工業ガ發展シテ居ル爲ニ獨逸ガ強イト云フヤウニ論ジテ居リマス、デアアルカラ内地ニ於テ商工業ノ發展ヲ圖ルト云フコトモ一ノ有力ナルコ

トニハ違ナイノデアリマス、併シ是ハ大ニ考ヘナケレバナラヌ、若シソレダケノコトナラ日本ガ亞米利加ノ如キ國デアッタナラバデス、亞米利加ハアノ通り工業ガ偉大ナル發展ヲシテ居ルコトハ御承知デアリマセウガ、然ルニ「サイエンチフィック」、マネーデメント」トカ、能率ヲ増スト云フコトヲ言ッテ居ル、是ハ悉ク亞米利加ノ新シイ思想デアアル、併ナガラ斯ウ云フ平等的ノ道德ナドヲ進メテ勞働力ヲ増加スルト云フコトダケデハ國家ハ強クナラナイ、若シ亞米利加ガ戰鬪力ガ強イナラバサウ云フコトモ一ツノ議論デアリマス、ソレデアリマスカラ戰後ノ經營ニハ或ハ義務教育延長ノ問題モ起ルデアラウ、色ミノ問題ガ起ルデアリマセウ、工場法ノ如キモ十二歳ヲ限度トシテ居ルガ、歐羅巴ニ於テ一番劣等ト見做サレテ居ル伊太利ノ外ニハ斯ウ云フモノハアリマセウ、獨逸或ハ英國、或ハ瑞西ノ如キハ十五歳以上、少クモ十五歳以上……少クモ十四歳以上トナッテ居ル、我々ガ戰後經營ノコトヲ考ヘルニ付テハ義務教育ノコトヲ考ヘナケレバナラヌガ、簡易保險ノ如キモ皆戰後經營ニ集中シテ考ヘテ行カナケレバナラヌ、自分ノ専門ノコトバカリ考ヘテ、保險事業ニ斯ウ云フ影響ガアルカラ通スガ宜イトカ、通サヌガ宜イトカ云フコトヲ言フノハ、戰後經營ナドト云フ頭ノナイ人ノ云フコトデアアル、總テガ有機的トナッテ發展スベキ日本ノ將來ハ、保險ハ保險ニ依ッテ解決スルト云フヤウナ小サナ量見ノ時代デハナイデス、又保險會社ノ影響ト云フコトニ付キマシテ、先キホド御話ガアリマシタガ、日本ニ金ガ大分アルトシテデスナ、全部ノ金ガ一部此保險ノ爲ニ……簡易生命保險ノ中ヘ這入ルトスルナラバ、日本全國ノ金ニハ影響ガナイト云フ政府委員ノ御話ハ何等意味ヲナサヌ、ソレダケデモ分リ切ッタ話デアルト……ソレハ影響ガアルデス、併ナガラ是ハ特別委員會デモ隨分話ガ出マシタガ、矢張り先刻ノ議論デ、保險ハ保險ニ依ッテ解決スルト云フ頭ダカラ、此金ノ爲ニ保險會社ニ壓迫ガ行クト云フ議論ガ出ルノデアアルガ、是ハサウデハナイ、殊ニ戰後ニ取ッタ金ガ、普通生命保險會社ニ這入ルベキ金ガ減ルト云フ議論ハ、何等根柢ヲ持ッテ居ナイ議論デアアル、恐ラク是ハ數理ヲ解シナイ人ノ言フコトデアアル、今日保險ニ通ジタル人間……學者デモ實際家デモ……保險會社ノ人ハサウ云フコトヲ言ハレルカラ聽キマセヌガ、世間ノ經濟學者ナドニ聽イテ御覽ナサイ、此影響ハドコヘ行クカ、全部ノ中カラ是レダケ減ズルト云フコトハアリマスガ、ソレハドコニ減ズルカト言ヘバ、私共考ヘマスルニ、保險ノ方ハ影響ガ行クノデハナイ、寧ロ普通銀行ノ營業

者ノ貯金ガ減ルデセウ、政府ノ七千二百ノ郵便局デ月ニ三人ヅツ増加シテ行クト云フコトデアッテ見レバ、大シタ影響ハナイノダケレドモ、是ハ私ハ餘ヒ内輪ニ勘定シタト思フ、實際ハ隨分這入ッテ來ルダラウト思フ、サウシテ其影響ハ何ゾト言ウタナラバ、寧ロ普通ノ金融業者ニ影響スル、併シ此方ノ影響ニ付テハ、外デモ内デモ何等御話ノナイノハ不思議デアリマスガ、ソレハ矢張り量見ガ狭イカラソナ考ガ出テ來ルデアリマス、私ハモウ長クハ言ヒマセヌガ、要スルニ保險ト云フモノハ慈善事業デアッテ、營利ヲ目的トスベキモノデナイカラ、全部官營ニシテ然ルベキト思ヒマスガ、ソレハ此問題ニ關係ガナイカラ申上ゲマセヌガ、此簡易保險ハ將來勞働保險ヲ起スベキ過渡ノ橋梁トシテ誠ニ適當ナモノデアアル、而シテ今日之ヲ起スベキ必要ニ迫ラレテ居ルモノト考ヘマスカラ原案ニ賛成イタシマス、而シテ此修正案ニ對シテハ反對ノ意見ヲ表シテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 休憩ヲ致シマス

午後零時四分休憩

午後一時八分開會

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

〔長谷川試補朗讀〕

本日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

質屋取締法中改正法律案否決報告書

古物商取締法中改正法律案否決報告書

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、山本達雄君

〔山本達雄君演壇ニ登ル〕

○山本達雄君 私ハ此簡易保險ニ付キマシテ修正意見ヲ有ッテ居ルモノデゴザイマス、ソレニ付キマシテ聊カ此修正ヲ致シマシタル理由ヲ申述べタイト思フノデゴザイマス、簡易保險ヲ官營トスルノ必要デアルコトト、即チ之ヲ官營ニシテ、サウシテ下級社會ニ便利ヲ與ヘルト云フコト、又下級社會ニ於キマシテハ政府トシテ非營利主義ニ於テ出來得ルダケノ保護ヲスルノ社會的必要デアルト云フコトニ付キマシテノ政府ノ論議、又仲小路君其他ノ賛成論者ト同ジコトデアリマス、既ニ本會議ニ於テ遞信大臣モ述べラレマシタ、尙ホ私モ在官中ニ於キマシテ貴族院ノ豫算委員會部會ニ於テ質問ヲ受ケタニ付キ

マシテモ官營ガ必要デアルト私ハ信ジテ居リマス云フコトヲ述べタノデゴザイマス、爾來今日ニ至ルマデモ此下級社會ノ爲ニ小口保險ヲナスコトニ付テハ官營ガ宜シイ、第一ニ堅實ニ、如何ナルコトガアッテモ絕對ニ損ヲ掛ケナイト云フ下ニ於テ、又下級者ニ付テハ營利ニ互ラナイヤウニシテ、サウシテ之ヲ世話ヲスルト云フコトニ付テ、至極宜イコトデアルト信ズルノデゴザイマス、併ナガラ主義ハ宜シイ、主義ハ宜シウゴザイマスガ、此目的ヲ達スル上ニ於キマシテハ其方法ノ宜シキヲ得ナケレバ、折角ノ目的モ甚ダ效力ガ薄クナル、ソレ故ニ主義ガ宜シイナラバ、其主義ニ依ッテ實行モ出來、サウシテ効力ノ多クアルト云フコトニ向ッテ、成ルタケ其方法ヲ進メテ行カナケレバナラヌノデアリマス、又ソレト同時ニ此官營ニ致シマスル上ニ付テハ其方法如何ニ依リマシテハ、是マデ既設ノ保險會社、通常保險會社ニ於テ大ナル影響ヲ及ボシ、延イテ經濟社會ニ色ミナ波瀾ヲ起ス、又被保險者ニ迷惑ヲ非常ニ掛ケルト云フコトガ起ル、故ニ此モノニ付キマシテ十分ニ顧慮ヲシテ、斯ノ如キコトノナカラシメムヤウニ、成ルタケ途ヲ取リタイト云フノデアリマス、政府ノ趣旨ヲ伺ヒマシテモ、此兩様ニ於テハ我々ノ希望ト同ジデアアル、政府ハ成ルタケ民業ヲ侵サナイヤウニシタイノダト云フ、又下級社會ニ成ルタケ普及シテ、サウシテ是ハ下級社會ノ爲ニ恆産アリ、恆心アリ、遂ニ節儉ノ念ヲ起シテ、後顧ノ憂ノナイヤウニシタイモノデアルト云フコトハ政府ニ於テモ度々論議スル所デゴザイマス、是モ正ニ私等ノセムトスル意ヲ得タモノデアッテ、少シモ違ッタコトハナイノデアリマス、ナイノデアリマスルガ、ソレナラバ其趣旨トシ、言ハムトスルコトヲ成ルタケ實行ヲシテハドウカ、實行ヲシテハドウカト云フトキニ至ッテ、此法案ニ付テ私等ハ不備デアルト云フ關點ヲ感ズルノデゴザイマス、ソレ故ニ此修正ヲ作ッタ譯デゴザイマス、第一ニ政府ガ此法案ニ付テハ下級社會ノ爲ニ便利ヲ計ッテ、サウシテ國家ガ下級社會ヲ保護スルノデアアル、又是ハ社會政策ノ一端デアルト云フ位ニ述べテ居ル、現ニ此簡易生命保險事業概況ト云フモノヲ政府カラ委員トシテ受取ッテ居リマスガ、其第一ノ理由書ニ見マシテモ、簡易生命保險官營ノ第一ノ理由ハ簡易保險ハ普通保險ト其利用上ノ範圍ヲ異ニス、前者ハ中流以上ニ利用セラレルニ反シ、後者ハ主トシテ多數ノ下級者ヲ顧客トスルヲ常トシ、從ッテ其知識及資力共ニ薄弱ナルヲ免レザルヲ以テ、一朝事業ノ基礎ニ破綻ヲ來タス如キコトアルニ於テハ、爲ニ及ボス所ノ禍ガ甚大ナルニ依ッテ、政府ハ之ヲ世話スルノ

デアル、是ガ第一ノ重ナル理由デアリマス、然ラバ矢張り政府ハ中流以上ノモノハ普通保險ノ業務ニ委ネテ、而シテ中流以下ノモノデ、智力モ乏シイ、資力モ薄弱ナル其下級者ヲ主トシテ立テルト云フコトガ趣意ニアルノデア、所ガ此簡易生命保險法ニ付テ擴ゲテ見マス云フト、ドコニ是ガ下級社會ノ爲ニ之ヲ造ツテアルト云フコトガ何處ノ文言ニアルカ、一條ヨリ調ベテ見マシタ所ガ、何處ニモナイ、唯簡易生命保險會社、實ニ綺麗ナル、何等ノ觸リノナイ立派ナル名デアル、下級社會ナラ、下級社會ノ保險トカ、或ハ細民保護ト云フヤウナル名デモアツテ來ルモノナラバ、人ガ見テ以テ是ハ細民ヲ主トシテヤル、下級社會ヲ主トシテヤルノデアルト云フコトハ分リマセウガ、是デハ何モ分ラナイ、是デヤツテ行キマスルト、政府ハ下級社會ト云フガ、若シ中流以上ノモノガ之ニ這入ツテ來ル、上流ノ人ガ這入ツテ來ルト云フコトニナッタナラバ、ドウデアルカ、一向階級モナケレバ何モナイ、有位有爵ノ人或ハ役人デ高等官ノ人ガ之ニ這入ツテ來タ所ガ歡迎ンデ迎ヘル外仕方ガナイ、サウシマス云フト、動モスレバ下級社會ト云フモノノ名目ノ下ニ於テ却ツテ中流以上ノ人ノ爲ニ非常ナ便利ニナルト云フコトガ是ハ起ルデアラウト私ハ心配スル、ノミナラズ信ズル、簡易保險ハ成ルホド金ガ少イ、三百圓、三百圓デア、ル故ニ先ヅ小民ノ小口トシテアルト言ヒマスガ、此政府ガ若シ如何ナルコトガアツテモ絶對ニ損ハシナイ、而シテ無診査デ診察モシナイノデア、集金ハ銘々ノ家ニ就テ、サウシテ取立テテ行ツテ貰フノデア、ドノ點ヲ見タ所ガ實ニ便利ナル、讀ンデ字ノ如ク下級社會ノ爲ニ誠ニ便利ナル、唯簡易ト云フ一面ハ誠ニ都合ノ好イ便利ナ方法デアルト云フヨリ外ハナイ、必シモ小額デア、ルカラシテ下級ノ者ト云フ譯デヤナイ、此モノニ依ツテヤリマス云フト、三百圓ト云フモノヲ極度トシテ、例ヘバ私ニ子供ガ三四人アルト見マシテ、十二歳ニ達シテ居ツテ、是ニモ三百圓付ケ、又次郎ニモ三百圓付ケ、三郎ニモ三百圓付ケ、或ハ娘ニモ三百圓付ケルト云フコトニスルナラバ、幾ラデモ出來ル、其人數ニ依ツテ幾ラデモ出來ル、制限ハナイ、身分ニモ制限ハナイ、ソコデア、ルカラシテ、此下級者ト云ツテ其實上流者マデ非常ナ便利ヲ與ヘルト云フコトニナルノデアリマス、果シテサウ云フ風ニナリマス云フト、ドウデアリマスカ、初メカラ其目的ナラ宜シイガ、簡易保險ナルモノハ小口保險、ソレハ何デア、ルカト云フト、下級者ノ爲ニ殊更ニ政府ガ設ケテ、サウシテ一方デハ私營ノ營利會社ノ其所ニ這入ルコトヲ禁ジテ、サウシテ居ツテ自分ダケガ專有

シテ行カウト云フモノデアリマス、サウ云フ目的ノモノデアツテ來ルナラバ、ドウシテモ之ニ資格ヲ付ケルト云フコトハ最モ必要ナル條件デア、此必要ナル條件ガナクシテ、唯是ガ簡易デヤト云ツテ今ノヤウニ來ルモノナラ、立派ナ人ガ這入ツテ來ルノヲ喜ブ、殊ニ保險ノ如キモノハ自ラスルヨリ勸誘員ガアツテ段々進ンデ來ルト云フコトハ諸君モ御承知ノ如ク、況ヤ政府ガ之ヲ造ツテ、サウシテ全國七千ノ郵便局ニ委託シテ、郵便局長ヲ以テ之ニ當ラシテ來タモノナラバ、之ヲ以テ何人ニ拘ラズ、社會階級ノ如何ニ拘ラズ、誠ニ便利ナルモノガ出來マシタカラ、ドウゾ這入ツテ下サイト言ツテ來ルコトハ言ハスデモ分ツテ居ル、普通ノ常識ヲ以テ考ヘレバ是ハ喋々私ガ申述ベルノ必要ハナイ、サウ云フモノデア、ルノニ、玆ニ何等ノ資格モ何モ定メテナイ、斯ウ云フコトデアリマスカラシテ、是ハ此趣旨ニ依ツテ造ツタ非常ナ關點ナ、恰モ一ツノ達磨ヲ描イテ立派ニ出來タ、出來タガ肝腎ノ眼ガ這入ツテ居ラナイ、眼ガ這入テ居ラナイ故ニ達磨ト云フ目的ヲ達シテ立派ナ繪ダト之ヲ稱スルコトガ出來ナイヤウナ結果ニ陥ルノデアリマス、ソレ故ニ是ハ形ハ能ク出來タガ、ドウカシテ眼ヲ入レテ政府ノ趣旨ノ通りニ之ヲ實行スル如キモノニセナクテハイケンナイ、ソレニ付キマシテハ第一ニ此資格ト云フモノヲ定メナケレバナラヌ、此資格ヲ定メテ、サウシテ行カナケレバ肝腎ノ眼ガ無イト云フコトヲ私ハ深く信ズルノデゴザイマス、ソレ故ニ此條項ニ付キマシテ、一ツノ第三條ノ二項ニ於テ資格ト云フモノヲ入レムト云フコトデアリマス、是モ是デハ勅令ニ讓ルノデアリマス、此資格ノ如何ト云フコトハ極メテ必要ナコトデアリマス、故ニ、時ガアリ色ミスルナラバ十分ニ自ラモ研究ヲシ、政府ニモ質シ、諸君トモ御謀リシテ、此資格ヲ肝腎ナモノデアリマス故ニ勅令ニ依ラズシテ自ラ法律ノ中ニ入レタイト思フ位デ私ハアルノデアリマス、如何ニセム時ガナイノデゴザイマス、故ニ、二步モ三歩モ讓ツテ政府ヲ信ジャウ、政府ヲ御信ジ中ス故ニ、政府ハ適當ナル所ニ依ツテ、此資格ヲ定メテ下サイ、斯ウ云フノデアリマス、然ルノニ此反對ハ、ソレハ資格ヲ定メルト云フコトハ一理アルガ、ナカノソレハムツカシイ、殆ド不可能デア、ル、ソレ故ニ是ハ資格ヲ定メルト云フヤウナ漠トシタコトヲ言フノハ責任ノナイ一體遣リ方デハナイカト云フ議論モアル、成ルホド容易クハアリマセヌ、ムツカシイコトデアリマセウ、併ナガラ、此事ヲナスニ當ツテ、爲シ能ハヌト云フコトハナイ、日本ニ於テ人ノ職業ニ付テモ、戸籍ニ付テモ納税ニ付テモ、ソレノ規則正

シクヤッテ居ル以上ハ、之ニ付テ分ラヌコトハナイ、出來ヌト云フコトモナイ、ソレデアル故ニ相當ナル私ハ資格ヲ定メルコトハ出來得ルコトと思フ、サウムヅカシイコトデナイト存ズルノデアリマスガ、假ニ非常ナムヅカシイコトデ、適當ニ行カヌトシテ讓ッテ考ヘマセウ、讓ッテ考ヘマシタ所ガ簡易保險デ下級社會ニヤルト云フモノニ付テ、立派ナ有位有爵者ノ這入ルコトヲ禁ジタラ如何デゴザイマセウ、政府ニ於テモ高等官、名譽ノ職ニ就イテ居ル者ガ此下級ノ爲ニ造ッタモノニ這入ルト云フコトハ御止シニナッテハ如何デゴザイマセウ、ソレヲ禁ズルニ、若シモ納稅者ニ付テ、或ハ納稅ノ十圓ナラバ十圓ヲ納メル、五圓ナラ五圓ヲ納メルト云フ以上ノ者ハ中流ト看做シテ、是ダケノ者ハ之ニ入ルコトハ止サウト斯ウシタラ如何デゴザイマセウ、ソレモ宜イ、ソコデアル故ニ如何ナルコトガ起キテモ誰デモ宜イコト云フヨリモ、一ノ制限ヲ付ケルナラバ、其制限ガ縱シ不完全トシテモ、入レザルニ優ル、有位有爵者、高等官、誰デモ御入リナサイト云ッテ來ルヨリモ、今ノ如キモノヲ禁ジテ見テモ、又爲サザルニ優ル、趣旨ガソレナラバ分ル、ソレヲ行ハズシテ之ニ議論ガ起キテ、遂ニハ仲小路君ノ先刻ノ御議論ノヤウナコトガ出來スル、是ハ制限ヲ附ケルト云フコトガ、ソシナコトヲスルト上中下ト云フ、社會ニ於テ平等ニ成ルベク接觸シテ行カケレバナラヌ今日ノ急務デアル、然ルノニソレヲドウモ禁ジテ、サウシテ行クト云フヤウナルコトヲシテ、同ジ國民ニ付テ何カ懸隔ヲスルト云フヤウナコトヲスルノハ最モ不同意ダト云フ御議論ガ起ル、若シサウ云フコトニナルト下層ノ人、中上ノ人、總テノ國民ガ一致シテ懇親ニシテ熟和シテ、斯ウシテ行クト云フコトハ此簡易保險ニ待ツ必要ハナイ、ソシナ趣意デハナイ、然ラバ始メカラ政府ハ何故之ニ付テ下級社會ノ爲ニ計ルト云フカ、何故ニ中流以上ノ者ハ當リ前ノ民業ニ委ネ、中流以下ノ者ハ悉ク此保險ニ依ッテ普通ノ營利的會社ニ一步モ足ヲ踏込ムコトガ出來ナイトシテ、之ヲ制限シテヤルト云フ、斯ウ云フ趣旨バカリデ御ヤリニナルヨリハ、ソシナコトヲセズニ、社會ノ何所ノドナタデモ御客ニ御出ナサイト云フ趣旨デアルコトナラバ、ソレハ聞エテ居ル、併ナガラ是等ハ全ク政府ノ簡易保險ヲ造ルト云フコトノ趣旨ヲ沒却シテ仕舞フ、ソレガ私等ノ之ニ付テ全然同意スルコトノ出來ナイ所以デアルガ、此趣旨ハサウデハナイ、趣旨ハ今申シマシタ如キ趣旨デアルナラバ、其趣旨ニ依ッテ下級社會ノ人ニ成ルベク此恩澤ガ及ブヤウニシテ、サウシテ行キタイ、而シテ上流社會ノ爲デハナイ

ト云フモノデアレバ、上流社會ノ人ハ成ルタケ行カレヌヤウナ途ヲ造ッテ、其區域ヲ定メルノガ困難ナラバ人事デ盡シ得ルダケノコトヲ御シナサイ、スルハセザルニ勝ル、趣旨ヲ貫クヤウニ、ソレダケノコトハ政府ガシテ出來ナイコトハナイカラシテ、ナサレマセ、殊ニ又之ニ付テ論者ハサウスルト云フト、郵便貯金ニ持ッテ行ク、或ハ此東京ノ電車ハ下級ノ人ガ乗ル、ソシナモノニ付テハ見定メガ付カナイヤウナモノデ、實例ハ分ッテ居ルデハナイカト云フ議論ガアル、是モ私ハ一概ニハ分ラヌ、此案ナルモノハ唯振リ賣リ……金ヲ拂ッテ電車ニ乗ル、或ハ郵便函ニ物ヲ投ジテ來ルト云フ御客様トハ違ッテ居ル、チャント政府ガ法律ヲ設ケテサウシテ十二歳以上ノモノデアッテ、サウシテ斯ミト云フコトヲ列ベテアッテ、其モノハドウスルカト云フトデス、十二歳ヨリ十年二十年三十年五十年、遂ニハ終身ノ保險ヲナス爲ニ始メテナス、一度ナシテ居リマス以上ハ、終身ナラバ五十年經ッテモ六十年經ッテモ一ツモ動かサズシテ一遍約束シタラ書イタ通りノコトヲヤッテ行キサヘスレバ宜イ事柄デアル、サウ云フモノデアリマスル故ニ、身分ヲ調べルコトヤ何カト云フコトハ誠ニムヅカシクモ何デモナイ、政府ハ彼是ノ番匠金ヲ造ッテ之ヲ以テ御ヤンナサレバ、七千有餘ノモノガ保險會社ニ當ルモノデアリマス故ニ、大概其所デ身分ハ分ルノデアリマス、何モムヅカシイコトデハナイ、書附ノ通り規則通り身分ノ者ヲ入レサヘスレバ宜イト云フノデアル、ソレヲ唯其時々ニ人ガ來ルモノト同ジヤウニ考ヘテ來ルノハ甚ダ私ハ實際ト適合シタル御説デナイト思フノデアリマス、例ヘバ銀行者ガ普通ノ銀行ニ金ヲ借りニ行キマスレバ、信用ノアルモノデアレバ、約束手形一本書ケバ直グト金ヲ貸シテ呉レル、又抵當ガアッテ公債證書ヲ持ッテ行ケバ直グニ貸シテ呉レル、誠ニ瞬間ノ間ニ貸借ガ出來ルノデス、併ナガラ農工銀行トカ勸業銀行トカ云フ二十年三十年ト云フ長期ノ金ヲ貸ス所ニ至リマスレバ、一ツノモノヲ借りニ行キマシテモ一段ノ田地デ百圓ノ金ヲ借ルトシテ見マシタ所ガ、人ガチャント戸籍法ニ據リ登記法ニ據リ誰ノ所有デ何所ニアル、其價ハドノ位スルカト言フコトハ態々出張シテサウシテ幾日モ幾日モ掛ッテ調べ上ゲテ、始メテ善イトカ惡イトカ云フコトヲ決スルモノデアアル、決スルノデアリマスガ、其間ニハ非常ナル時ヲ費シ、幾日モ費シ、幾日モ費シマスガ、一度之ヲ約束シテ貸借ガ出來タト云フ以上ハ、三十年經チマシテモ一本ノ證文ヲ書ク必要モ何モナイ、約束通りニ利子ヲ納メ、年賦償還ヲナシサヘスレバソレデ宜イノデ何等ノコトモナイ、ソレト異

テ普通ノモノハ瞬間ニ金ヲ借リマスガ、サア二箇月經ッタカラ約束手形ヲ書直ス、サア何箇月經ッタカラ證文ヲ書直セト云フコトデ、三十年二十年ノ星霜ヲ加ヘマシテ非常ナ手數ト、非常ナ時間ト、非常ナ勞ガ掛ルヤウナ譯デアリマス、サウ云フモノデアリマス故ニ、此保險モ養老ト云ヒ、終身ト云ヒ、長イ間ノコトヲスルノデアリマス故ニ、成ルベクサウ云フコトニ付テハ最初ヨリ目的ヲ遂グル上ニ於テハ資格ヲ定メテ置カヌト下級社會ヲ保護シ、多數ニ便利ヲ與ヘル爲ニ起ッテ上流社會ノ方ニソレヲ爲スト云フコトガ出來スルノデアアル、ソレ故ニ私ハ是デハイカヌ、然ルニ又林伯爵ノ該博ナル御意見ヲ以テ歐羅巴各國ノ例ヲ御引キ下サツテ、何所ニ斯ウ云フコトガアルカト云フコトデアアル、私ハ淺學ニシテ何所ニアルト云フコトハ承知イタシマセヌ、承知イタシマセヌガデス、然ラバ反問スルガデス、歐羅巴ノ中デ佛蘭西デモ獨逸デモ宜イ、英吉利デモ宜シイガ、之ヲ官營トシテ專有シテ何人ニモヤラセナイ、己ノ是ハ專有物デアアルカラ一步モ民營ノ這入ルコトハ出來ナイトシテ、唯單リ官營トシテ居ル國ガ何所ニアリマスカ、何レモ私ノ承知シテ居ル大國ニ於テハ官營モヤツテ居ルガ、民營モサツサト自由ニヤラセテ、互ニ競争場裏デヤツテ居ル、日本ノ案ノ如ク、是カラ以下ハ普通銀行……保險會社ハ踏込ムコトハ出來ヌゾ、是ハ己ノ領域デアアルカラ如何ナルコトガアツテモ踏込ムコトハ出來ヌゾト云フ「モノボリー」……其專有ノモノトシテ居ルノデナイノデアアル、サウ云フヤウナル格段ナル趣旨ニ於テ之ヲ起シマシタナラバ、矢張りソレハ同時ニ其趣旨ヲ貫クダケノコトヲ以テシナケレバ何等ノ效能ガナイモノト私ハ信ズル、ソレ故ニ是ハ唯政府ノ案、ソレヲシテ效力アラシムル爲ニ、何トシテモ此資格ガ必要デアルト云フ……次ニ第四條ニ於キマシテ政府ノ案ノ三百萬圓ト云フモノヲ……三百萬圓ヲ減ジテ二百五十萬圓以下トスルト云フ修正ヲ致シマシタノデゴザイマスルガ、之ニ付テ修正ノ必要ヲ感ジテ此ニ出シマシタル所以ハ、資格ニ於テハソレデアアルガ、尙ホ金額ニ於テモ成ルベク民間ノ營業者ト此保險ノ業務ヲ爭ッテ行クト云フ如キコトハ、從ッテ其營業者ニ影響ヲヒドク及ボサナイト云フ程度ニ於テヤリタイノデゴザイマス、ソコデアリマスル故ニデス、ソレヲ避ケルニハ成ルベク金額ヲ下ゲルト云フコトガ必要デアアル、三百萬圓ヨリ二百萬圓、二百萬圓ヨリモ百萬圓、倫敦ノ如キハ百磅ト云フコトニシテ居リマスガ、サウ云フヤウナコトデ避ケラレバ避ケルコトヲ欲スルノデアリマスガ、餘リソレハ過ギマスルトデス、民營ト爭ハヌト云フ點ハ

宜シイガ、此保險ノ業務ヲ實行スル上ニ於テ困難ヲ感ジ、成功スル事業ノ上ニ付テ又ハ損益ノ上ニ付テ色々ナルコトガ起リマス故ニ、ソレ故ニ此法ヲ有效ナラシメルト云フコトニ付テハ、成ルベク辛抱シテ、サウシテ出來ルダケノ程度ニ於テ斯ウアリタイト思フ、欲スルノハ其目的カラ云ヒマスルコト三百萬圓ヨリモ二百五十萬圓、二百五十萬圓ヨリモ二百萬圓、尙ホヨリ以上百萬圓ト云フモノニ出來テモ差支ナケレバ宜シイノデアリマスガ、サウ致シマスルト云フト、政府ノ趣旨ヲ却ッテソレガ爲ニ沒却スルト云フコトガ起ッテハ相成ラナイ故ニ、此位ナラバ凡ソ宜カラウト云フコトニ於テ修正シタノデアリマス、其モノニ付テ丸デ根據ガナイノデハナイノデアリマス、在來ノ今日ノ保險會社ニ付キマシテ、百圓以下ハ幾ラ、二百圓以下ハ幾ラ、三百圓以下ハ幾ラノモノニナツテ居ルカ、五百圓以下ハ幾ラト云フコトノ實際ヲ承知スルノガ最も必要デアリマス、近頃ノ調ニ依ッテ其表ヲ見マスルコト云フト、百圓以下、二百圓以下、色々ニ分ツテ居リマスガ、三百圓以下ノモノカラ見マシテモ、人數ニ付テ九十九萬幾ラ、金額ニ付テ八千七百五十何萬、是ガ政府ガチャント領域ニナツテ、此内ニ這入ルベカラズト札ヲ立テル所ノ金額デゴザイマスルガ、其金ガダ、總豫算ノ高ノ十一億幾ラト云フモノニ比ベマスルコト云フトデス、中ニ數ノ上ニ付テ割合ガ大キク、又之ヲ立テタナラバドノ邊デ爭フデアラウカ、互ニ爭フデアラウカト云フコトヲ見マスルコトニ、政府ハ三百圓ト云ヒマスル故ニ五百圓……今マデ民間デヤツテ居ル保險會社ニ於テ五百圓以下ト云フ、五百圓ヨリ三百圓、此僅カ百圓……ノ間ニ付テ、ドノ位ナル被保險者ガ全國ニ附イテアルカト見マスル、人數ニ於テ六十七萬人、金額ニ於テ三億三千萬圓ト云フ高ニナツテ居ル、而シテ全國ニ付テ見レバ全保險高ハ幾ラアルカ、又被保險人ノ數ハ幾ラアルカト云フコトヲ見マスルコト云フトデス、被保險人ノ數ガ二百萬餘リ、而シテ金額ニ於テハ十一億以上ニナツテ居リマス、此五百圓カラ三百圓ト云フ、或ハ百圓ノ間ニ付テ總高ノ人員カラ幾ラニナルカト云フト、此人員ニ於キマシテ殆ド七割ヲ占メテ居ル、丁度二百萬ノ人員ノ七割ヲ占メテ居ル、金高ニ對シテ幾ラカト云フト十一億ト云フ總高ノ内カラ三億三千萬、此割合ハ三割強デアリマス、中ニ容易ナラヌ大金デアリマス、此三百圓ト五百圓……先刻百圓ノ差ト申上ゲマシタガ、百圓デハアリマセヌ、二百圓デス間違ヒマシタ、此三百圓以上五百圓ト云フ二百圓ノ差ノモノニ付キマシテ、今言フ如ク人ノ數ニシテ總高ノ七割、金額ニシテ三割強ト云フ如キ大金ガ此所

ニアルノデアリマス、是ガ是マデ中流以上ヲ畑シテ居ル保險社會ノ數十ノモノト、七千有餘ノ郵便局ヲ以テ官營トスル其事業ト、此二ツノモノガ此所ニ交又點ニナツテ出會ヒマシテ之ヲ爭フ數デアリマス、成程三百萬圓……三百圓以上デアル故ニ、四百圓五百圓ト云フモノハ簡易保險ノ領域デハアリマセヌ、アリマセヌガ之ヲ割ルコトハ誠ニ易々タルモノデアアル、簡易保險ハ誠ニ便利ナモノデアアル、故ニ一人ノ倅ノ名ニスルヤツヲ二人ノ倅ノ名ニシテ仕舞フ、三人ノ倅ノ名ニシテ仕舞フト云ウテ保險ヲ附ケマスナラバ、之ヲ官營ニ取ルコトハ遣リヤウニ依ツテ決シテ難イコトデハナイデアリマス、サウ云フコトニ相成リマスト云フト、政府ノ云フ如ク民業ハ害シナイ、影響ヲ及ボサナイト口デハ仰シヤルガ我々ノ頭ヲシテ成程御尤ダト云フコトハ、何トシテモ承諾スルコトガ出來ナイ、ソレハ事實ノ數ガ示シテ居ルデアリマス、何等私ハ架空ノ論ヲ申述ベルノデアアリマセヌ、數ガ示シテ居ル、此數ニ於テ金高ノ三割、人ニ於テ七割ニナル所ノ數ヲ兩方デ爭フト云フヤウナコトニナリマシテ、是マデノ民營ニ危害ヲ及ボスヤウナコトガアルト云フコトハ、經濟社會ニ對シテモ亦是マデ附ケテ居ル被保險者ニ對シテモ、亦是マデ立ッテ居ル保險會社ニ對シテモ、成ルタケ斯ノ如キコトハ政府ハ忍バレルダケ忍ンデ避ケタ方ガ宜カラウ、政府ノ趣旨ニモ適フ、我々ノ希望ニモ適フデアアル、ソレヲドウカシテ貫ヒタイト云フデアリマス、ソレニ付テハ先刻申上ゲタ通り少イニ越シタコトハナイガ、政府ニ色ニ質問ヲ致シマス、三百圓デ豫算ヲ立テテ居ル、ソレガ二百圓ニナリ、尙ホ下ニナルト云フコトニナレバ、到底政府ノ豫算ガ齟齬ヲ來シテ、サウシテソレハ爲シ得ナイコトデアアルト云フデアリマシテ、中々之ニ付テハ頑丈ニ不同意ノ御返事ガアリマス、故ニ先ヅ忍ビ忍ビマシテ二百五十圓位ニシタナラバ、多少競争シテモ著シキ影響ヲ民業ニ及ボスト云フコトヲ避ケ得ルダラウ、ソレダケデモ避ケ得ルダラウ、斯ウ云フコトニ致シマシテ二百五十圓ニ其限度ヲ設ケタル次第デゴザイマス、ソレニ付キマシテ之ニ付テモ根據ガナイト云フ色ニ反對者ノ御議論モアリマシタガ、決シテ根據ガナイデハナイ、今ノヤウナ根據ニ依ッテ居ルモノデ架空デモ何デモナイ、數字ノ實際ガ斯ウナツテ居ルデアリマスカラ、之ニ依ッテ論ジナケレバナラヌト云フコトカラ來タ譯デアリマス、ソコデ翻ッテ此修正ヲシタ理由ヲ尙ホ申上ゲマスルト、何トシテモ政府ノ趣旨ヲ貫ク、之ヲ貫クニ付テハ下級社會ノ資格ヲ付ケヌト云フト、折角達磨ノ繪

ヲ書イテモ眼ガアリマセヌカラ、ソレデ斯ウナサイ、民業ノ壓迫ヲシテモ宜イト云フコトナラバ、兎ニ角、民業ヲ壓迫スルコトヲ欲シナイト云フ點ハ我ノ說ト同ジコトデアアル、デ成ルタケ凌ガレル程度デアルコトニシタイ、二百五十圓位ナラバサウ政府ニ對シテ狂ヒハアリマスマイ、ソレヲ出スノハ易易タルモノデアアル、色ニ政府ニハ豫算ガ狂フト云フコトヲ言ハレルガ、若シソレニ付テ豫算ガ狂ッテ來ルコトナク、手数料ノ上ニ付テモ集金料ノ上ニ付テモ、色ニヤリ方ニ依ッテ行ケルデアリマスルカラ、此位ニナルノハ苦シクナイコトト信ジマシタカラ之ヲ申シマシタガ、政府ニ於テハソレモナカノ出來ヌト云フガ如キ固イ言デゴザイマス、是ナラ出來ル、出來ヌト信ズルト云フコトハ出來マセヌ、出來ルト信ズルナラバ政府ノ趣旨ヲ貫徹スルヤウニスルデアリマスカラ、ドウゾ之ヲ容レテ下サイト云フ此二點デアリマス、然ルニ論者中ニ此事ニ付キマシテ色ニ説ガアリマスガ、反對者モ其趣旨ハ同ジコトデアアル、我々ノ修正ハ政府ノ趣旨ヲ貫キタイト云フデアアル、ドウカサウケチニ行カズ、趣旨ヲ貫クト云フ所ニ重キヲ置イテ戴キタイノデアアル、又一方ニ付テハドウカ民業ヲ害シナイヤウニシタイト云フノハ同感デアアルカラ、ソレナラバ斯ウシマセウト云フデアアルカラ、餘リ議論ハナイ譯デアアル、然ルノニ又少シク不思議ニ感ジマスコトハ、成ルホドサウデアアル、サウデアッタトシテ見テモ此政府案ニシテ衆議院ガ既ニ可決シタモノデアアル、衆議院ガ可決シタモノヲ上院ニ於テ之ヲ修正スル、此修正スルト云フコトハ何デアアルカト云フト、是ハ多少下層社會ノ一般ノ代表者ノ爲ニ必要ナル衆議院ノ領界ニ屬スルコトデアアルカラシテ、貴族ヲ以テ成立ッタ貴族院デ此モノニ修正ヲ試ミテ、ケチヲ付ケルト云フコトヲスルノハ、貴族院ノ諸公ニ於テハ慎ンダ方ガ宜カラウト云フ御忠言的ノ説モアリマシタガ、成ルホド一部ニ於テハサウ云フ御考ガアルカ知リマセヌガ、私ハ何モサウ云フ斟酌ヲスル必要ハナイト思ヒマス、誠ニ政府ノ目的ガ良イカラ御ヤリナサイト云フデアアッテ、ムヅカシクモ何トモナイ、事ヲ好ムノデハナイ、ソレト同時ニ又兩院デ成立ッテ居ルノニ此モノハ一般ノ下層社會ニ關スル衆議院ノ領界デアアル、我々ガ之ニ對シテハ貴族院トシテハ御慎ミナサイト云フコトニ付テハ、徹頭徹尾了解ニ苦シムノデアリマス、議院法ニ於テ豫算ノ先議權ヲ衆議院ガ有ッテ居ルトカ居ラヌトカ云フヤウナ議論トハ全ク異ッテ居ル、ソレ故ニ其モノニ付テモ私ハ御同意申スコトガ出來ナイ、モウ一ツ進ミマシテ、ソレニモ拘ラズ修正ヲ試ミテ是ガ衆

議院ニ同ル、衆議院ニ同ルト衆議院ニ於テハ既ニ一旦可決シタコトデアアル故ニ、遂ニ之ヲ否決スルト云フヤウナコトニナルト云フト、折角ノ此金科玉條タル此案ガ潰レテシマフ、故ニ我々ハ枉ゲテ之ニ付テハ成ルタケ協和シテ、此頃流行ル妥協トカ協和トカ色々言フテ居リマス、成ルタケ仲好クシテ行ッダ方ガ宜カラウト云フコトハ是ハ一應御尤デアリマスガ、私ハ何ト考ヘテモ之ヲ政府ガ反對シヤウトモ思ハナイ、衆議院ニ於テモ之ヲ修正シテ反對シヤウトハ萬々信ジナイ、ナゼ信ジナイカト云フト、今言フ如ク政府ノ趣旨ト云フモノヲ賛成シテ、ソレヲ有效ニ成立タセル上ニハ斯ウシタ方ガ宜イノデゴザイマス、又人民ノ營業ト接觸シテソコニ非常ナル競争ガ起ッテ遂ニ經濟社會ヲ案スコトガアッテハイカヌカラ、ソレヲ慎ム爲ニハ數ヲ少クシタ方ガ宜シウゴザイマス、ト云フ所カラ來タ修正デ、其間ニ何等毒モ何モナイ、モウ申シ述ベル通リノ道ヲ以テヤルノデアリマスル故ニ、若シ賢明ナル政府ニ於テデス、此趣旨ヲ貫徹スルト云フ意思ニ副フナラバ喜ンデ之ニ同意セラレテ宜シイ、ソレト同時ニ衆議院モ人ガアリマス、此位ノモノデ院議ヲ重ンズルトカドウトカ云フ如キソナモノデハナイ、洒々落々トシテ之ニ付テ尤モナリトシテ同意シヤウ、目的ヲ實行シヤウトシタラ何ノコトモナイ、ソコ故ニ斯ノ如キ老婆心ハ重キヲ以テ考ヘナイ、ソナコトハ斟酌ナク御ヤリニナッタラ宜カラウト思ヒマス、萬々一政府モ不同意、衆議院デモイケヌト云フモノナラ……政府ナルモノハサウ云フ枝葉ノコトニ於テ必要ナル此案ヲ捨テシマフコトニナル、政府ノ精神ハドコニ在ル、唯頑張ッテ己ノ言フコトヲ突通スト云フマデデアッテ、此モノヲ有效ナラシメルニ誠意ノアルモノト私ハ考ヘナイ、ソレナラ已ムヲ得マセヌ、サウ云フ考ナラ是ハ已ムヲ得ナイ、併シ國家ノ狀態ヲ考ヘテ、此政府ノ當局者ニ於キマシテモ衆議院ニ於キマシテモ、ソナ狹隘ナコトハナイト私ハ考ヘテ居リマス、萬々一イケナケレバ其責彼ニ在リ、我々ガ是ガ良イカラシテ之ヲ有效ニ成立タセルト云フコトデアアルノデアリマスカラ、サウ申スコトデアリマス、尙ホ此政府ノ調ノ中ニ於キマシテモ色々外國ノ例ガアッテ、官營事業ニ於テハ英吉利デモ行ッテ居ルガ、英吉利ノ官營ハ甚ダ微々タルモノデアアル、微々タルモノデアアルガ、ソレハ何故カト云フト、身體検査モナシ或ハ又保險ノ掛ケハ郵便局ニ取ッテ來、郵便ノ數ハ少シ、色々ナルコトヲシテ居ッテ、誠ニ效能ガ少イ、唯微々トシテ振ハナイ、振ハヌ故ニサウ云フヤウナコトハシナイ、日本デハ向ウノモノトハ違ッテ、審査ニモヤリ或

ハ保險金モ向ウニ取リニ行キ、郵便ノ振替デモヤッテヤル、サウシテ郵便ノ保險ヲ扱フ數ハ、向ウヨリモ幾倍モ多イト云フ有様デアアルカラ、有效ニ働クノデアアル、英吉利ノ如キコトハヤラスト云フコトヲ此中ニ喋々ト論ジデアリマス、併シ是ハ又一方カラ味ッテ貫ハナケレバナラヌ、如何ニ英吉利人ガ人種ハ違ッテ居ルトモ、今日ノ「ロイドデヨード」ノ如キ人ガアッテ居ルノデアリマス、其他ノ者モ之ヲ有效ニ働カセテ、數ヲ増シ便利ヲ與ヘ、無診察ニナシ色々ナ便利ヲ與ヘタナラ是ガ盛ニナルト云フコトハ何人モ知ッテ居ル、知ッテ居ッテ何故サウシナイノデアアルカ、甚ダ微々トシテ振ハヌノハ、其所ガ是マデ爲ス所ノ民營ノ事業ト云フモノヲ重ンズルカラデアアル、御承知ノ如ク、彼ノ國ノ如キハ民營デ以テ小口保險ヲ許シテアル、許シテアル所ニ向ッテ政府ガ其所ニ立ッテ有效ナル政府ノ力、信用、サウシテ金ハ損ガ行ッテモ構ハヌト云フガ如キ事業ヲ以テ、營利事業ト爭フナラバ、誠ニ易々タルモノデアアル、易々タルモノデアアルガ、ソレヲ有效ニ働カセテ政府ノ權威ヲ示ス如キコトヲスルト、民營ニ大キナ影響ヲ及ボシテ遂ニ營利ヲ害スルヤウナコトガ起ル、ソレ故ニ其所ニ付テハ正宗ノ刀ヲ持ッテ居ッテモ……政府ハ正宗ノ刀ヲ持ッテ居ルト言ウテ振廻ハサレテハ堪ラヌガ、正宗ノ刀ヲ持ッテ居リナガラ控ヘテ抜カズニ、サウシテヤラウト云フノデ、其所ニ初メテ味ガアル、此邊ノコトハ能ク御考ヘ下サラスト、私ハ政府ノ御趣旨ニ反對スルヤウナコトガ起ラウト、斯ウ思フ次第デゴザイマス、斯ク私ガ申述べマスコトハ、唯政府ノ官業ノ趣旨ヲ貫クヤウニ、而シテ明治十四年以來初メテ明治保險會社ガ阿部泰藏莊田平五郎如キ人ニ依ッテ、色々ナル困難危險ヲ冒シテ、サウシテ三十五年ノ星霜ヲ經テ、今日ハ斯ノ如ク盛大ニナッテ來テ居ル、人員ニ於テハ二百萬、數ニ於テハ一億以上ノ保險ヲスル如キ盛大ナルコトニナリマシタノデアリマス、斯ノ如キ歴史ヲ持ッテ居ルモノニ付テ、政府ナルモノガ、唯民營デアアル彼等ハ營利ヲ貪ルモノデアアル、彼等ハ公共ノコトナドハ思ハヌモノデアアルト云フ如キコトヲ以テ之ヲスルノハ、餘リ是マデノ歴史ヲ少シモ意ニ介シナイ、而シテ經濟社會ニ影響スルコトニ付テハ餘リ御構ガナイコトデハナイカト思フ、殊ニ私ハ實業カラ出タ者デアリマスカラ、或ハ重ク考ヘルカモ知レマセヌガ、併ナガラ斯クシタ方ガ適當ナルコトデアラウト思ヒマシテ、誠ニ簡易ナル二箇條ノ修正ヲ致シタ次第デゴザイマス、何卒諸君ニ於カセラレマシテモ、此修正ノ趣旨ノアル所ヲ御諒察ニ相成リマシテ、公平ナル御判斷アラムコトヲ幾重ニ

モ希望イタシマス

〔男爵田健治郎君演壇ニ登ル〕

○男爵田健治郎君 私ハ此原案ヲ賛成スル者デアリマシテ、即チ修正案ニ對シテ反對ノ趣旨ヲ述ベヤウト存ジマス、唯今山本君ハ、原案ニハ主義ニ於テ飽クマデ賛成デアルガ、唯其施行ノ方法宜シキヲ得ザルガ故ニ、是ニ修正ヲ加ヘタノデアルト云フコトヲ縷々御説明デアリマシタガ、或ハ山本君ノ御考ハサウデアアルカモ知レマセヌガ、併シ大體此修正ノ成立ツ原因及根據ト申スベキ所ヲ申シマシタナラバ、是ハ決シテ原案賛成カラ出テ來タノデナイノデ、明カニ原案反對カラ生ジテ來タノデアアル、ソレハ原案反對ノ勢力ガ謂ハユル不條理ナルガ故ニ、貫徹ガ出來ヌノデ、已ムヲ得ズシテ退イテ此修正ト云フヤウナ第二壘ニ引掛ツテ、漸ク維持シテ居ラレルト云フノデアリマス、ソレ故ニ私ハドウシテモ此修正案反對ニ付テハ、先ヅ以テ此簡易保險ノ性質ハ如何ナルモノデアルト云フコトカラ論ジテ、吟味ヲシナクチャナルマイト存ジマス、此簡易保險ニ付テ反對論者ノ趣旨トセラルル所ハ、第一ガ強制的勞働保險デナクテハ社會政策トハ言ヘナイノデアルト云フコトガ第一ツト、モウ一ツ簡易保險ハ民業タル保險ヲ壓迫スルト云フノガ、先ヅ主ナル論據デアラウト存ジマスガ、私ハ順次其論據ニ對シテ駁撃ヲ加ヘヤウト存ジマス、此第一ノ理由タル簡易保險ハ社會政策ニアラズト云フ論ハ、社會政策ナラバ強制勞働保險のニセニヤナラヌトカ云フ論ガ多イヤウデアリマスガ、私ハ決シテサウハ信ジナイ、此社會政策トシテ、色々社會ノ謂ハユル文明の生活ノ推移ト申シマスガ、社會經濟ノ變遷ト申シマスルカ、謂ハユル勞働問題ナドガ段々起ルノデ、此勞働問題ニ對シテ之ヲ救済シテ行ク所ノモノガ社會政策デアアル、其社會政策ニハ種々アラウト存ジマス、簡易保險モ確カニ其一ツデアリマセウガ、此簡易保險ナルモノハ、謂ハユル勞働問題ノ甚シキ弊害ニ陷ルコトヲ豫防スル爲ノモノデアッテ、簡易保險デ此豫防ノ效ヲ奏セナンデ初メテ強制保險ニ移ルモノデアアル、デアアルカラ私共ハ強制保險ハ寧ロ甚ダ忌ムベキモノデアルト思ヒマスル、ト云フモノハ此社會問題ヲ病氣ニ例ヘテ見レバ、簡易保險ハ寧ロ成ルタケ病氣ニ陷ラヌ先キニ健康ヲ維持シヤウト云フ政策デアルト思ヒマスガ、強制保險ニナルト、寧ロ病ガ餘ホド激甚ニナッテ居ルカラ、其病ヲ癒サウ、少クトモ一層病ヲ劇シクスマイト云フ、謂ハユル治療法トモ云フベキモノデアラウ、ト云フモノハ、モウ強制保險トナルト、中々反對諸君ガ

申シテ居ラルルヤウナ氣樂ナモノデハナイ、簡易保險ヲヤル位ナラバ強制保險ヲヤッタラ宜イナドト云フコトヲ頻ニ仰シヤル方ミガアルガ、中ミソソナ氣樂ナモノデハナイ、強制保險トナレバ、無論勞働者カラモ保險料ヲ取立テマスケレドモ、是ハ原則トシテ、殆ド國家及勞働者ヲ使用スル所ノ資本主、ソレト勞働者ソレ自身、此三ツノ者ヨリ保險金ト云フモノハ出スノデゴザイマスルカラ、第一ニ此強制保險デモヤラウト云フナラバ、今日直グニ我國デモ之ヲヤラウト云フコトニナッタラ、増税問題ガ伴ハナクテハ行ケル氣遣ヒハナイノデアリマス、是ハ中ミムヅカシイ話デス、併シ國家ハマダ増税シテデモヤルト云フコトヲ忍ブトシテモ、此勞働者ヲ使ウテ居ル所ノ資本家ハ如何ニスルカ、我々ハソソコトハ知ラナイトハ言ハレマセヌ、必ズ資本家ハ幾割ト云フ保險金ト云フモノヲ荷ツテ立タナケレバナラヌノデアリマス、是ハ直接保險ノ上ニ向ッテ非常ナ荷物ヲ脊負ハセル譯デアリマス、デアリマスカラ強制保險ナドト云フコトハナカ／＼容易ニ言ヘルコトデハナイ、ケレドモ外國ニハソレヲ忍ンデヤラナクテハナラヌト云フノデ、獨逸ノ如キハソレヲ忍ンデヤッテ居ルノデアアル、我々ハ願ハクハ我國ニ於テ強制保險ト云フモノノ必要ノ起ラヌ中ニ、簡易保險トカ何トカ云フヤウナ成ルベク簡便ナル方法デ、サウ云フ病氣ニ陷ラヌヤウニスルト云フコトヲ眼目トスルノデアリマス、假ニ先ヅ強制保險ヲ要スル時ガ來ルトシテモ、之ニ依ッテ勞働問題ノ解決ガ付クカト云フト決シテ付カヌノデアアル、獨逸ハ流石先見ノ明ノアル政治家ガ其點ニ目ヲ著ケマシタ故ニ、強制保險ト云フ制ヲ早ク設ケタカラ、此強制保險ノ御蔭デ謂ハユル勞働問題ナドハ極端ニハ陷ッテ居ラヌヤウデアリマスガ、英國ハ如何デアリマセウ、簡易保險ノ如キハ官民共ニ行ウテ居ルニ拘ラズ、ドウシテモ此勞働問題ガ解決ガ付カナンダ、確カ千九百十一年頃デアリマシタカ、即チ四五年前ニ、此勞働者ノ養老年金ト云フ制ヲ定メタノハ近イ頃ノコトデアアル、是ハ何ノ爲ニ斯ウ云フコトガ起ッタカト云フト、即チ勞働者ガ四十以上ノ老年ニナッテ、最早勞役ニ服スルコトガ出來ナイ、而カモ己ハ何等扶養ヲシテ呉レル者モナイ、殆ド饑餓ニ迫ルト云フコトガ段々殖エテ來テ如何トモシヤウガナイ爲ニ、國家ガ之ヲ養フト云フ所ノ年金制デアリマス、即チ一週間ニ確カ五「シリリング」位ノモノデアッテラウト思ヒマスガ、詰リ國家ハ唯々幾萬ト云フ多數ノ勞働者ニ對シテ、一週間ニ各五「シリリング」程ノ金ヲ與ヘテ食ハシテ置クト云フコトデアアルノデアリマス、是ハ英國デモ中々喧マシイ

論ガアツタノデアリマスルケレドモ、事實如何トモ仕方ガナイ、此法ヲ立テナ
ンダナラバ、多クノ労働者ガ飢渴ニ迫ルト云フコトデ、遂ニ非常ナル増税案
マデモ立テ、之ガ爲ニ上院ト下院トノ大衝突ノ起ルト云フコトモ辭セズシテ、
遂ニ此法ガ出来マシタ、其法ノ出来タ結果ハ如何ト云ヘバ、初メノ豫算ハ八
千萬圓位ノモノデ行ケルデアラウト云フノデ、出来タ所ノ法律ハ實行シテ見
ルト、今日ハ年々一億八千萬圓カラノ國費ヲ、即チ労働者ノ養老年金トシテ
年々支出シテ居ラニヤナラヌト云フコトニナルノデ、我々ハ社會問題ノ爲ニ
已ムヲ得ズシテ斯ウ云フコトヲセラルコトハ、如何ニモ已ムヲ得ザルコト
トシテ御氣ノ毒ニ存ジマスルガ、併ナガラ若シモ政治家ト云フ上カラ言ウタ
ナラバ……政治ト云フ上カラ言ウタナラバ、斯ノ如キハ惜ムラクハ英國ノ政
治家ノ先見ノ明ノ或ハ乏シカッタ結果デアッタラウガ、是ガ數年前若クハ十數
年前カラ注意シテ居ッタナラバ、或ハ簡易保險デ防グコトガ出来タカモ知レナ
イ、簡易保險デ防グコトガ出来ナケレバ強制保險デ防グコトガ出来タカモ知
レナイ、然ルニソレデモイカヌデ遂ニ養老年金ト云フモノヲ以テ數萬ノ労働
者ヲ唯々養フコトハ、國家トシテ如何ニモ社會的ノ大患ニ陥タモノ
デアルト云フコトヲ申スノニ敢テ憚ラヌノデアリマス、左様ノ儀デゴザイマ
スルガ故ニ、此簡易保險ナルモノハ、斯ル病氣ニ罹リ、若クハ進デ斯ル大
患ニ陥ラヌヤウニ、謂ハユル雨降ラザルニ綱繆スルトカ、又ハ外國ニ盛ニア
ル所ノ此労働問題ナル大困難ナル問題ノ病氣ニ傳染セヌヤウニスルト云フ一
ノ豫防策トシテ、最モ早ク著眼シタ其先見ノ明ノアル所ノ一ノ政策デアルト
云フコトト私共ハ信ズルノデアリマス、又第二ノ簡易保險ハ民業ヲ壓迫スル
ト云フ說ニ對シテ意見ヲ述ベマス、前段ニ申上ゲマシタ通り、簡易保險ナル
モノハ社會政策トシテ行フベキモノデアリマス、既ニ社會政策トシテ即チ
中級以下ノ人民ヲ保護スルト云フ趣意カラシテ出タ所ノモノデアアル以上ハ、
是ハ如何ナル方面カラ觀テ見テモ營利ノ目的ニ供スルト云フコトハ斷ジテ出
來ヌト云フコトハ、是ハ明カナコトデアアル、是ガ若シモ營利ノ目的ニ供セラ
ルト云フコトニナレバ、即チ目的物タル小民ノ利益ヲ犠牲ニ供シテ一部ノ
資本家ノ勝利ニ歸セシメルト云フコトニナリマスルガ故ニ、是ハドウシテモ
營利ノ目的ニ供スルト云フ性質ノモノデハナイ、既ニ營利ノ目的ニ供スルベ
キモノニ非ズシテ、而カモ是ハ行ハナクテハナラヌモノデアルト云フ以上ハ、
國家ガ之ヲ經營スルト云フコトハ當然ノ結果デアリマス、營利ノ目的ナラバ

獨リ抛ッテ置イテモ行キマセウガ營利ノ目的ニハ供セラレヌモノデアアル、國家
ガ經營セナンダラ何人ガ經營シマセウ、到底是ハ成立チャウガナイモノデア
ルガ故ニ、是ハ國家ノ經營ニ委スルト云フコトハ勿論論ノナイ筋合ノモノデ
アル、詰リ此簡易保險ナルモノガ今申スヤウナ目的ニ依ッテ成立ツ以上ハ、之
ヲ若シ民業ニ附スルト云フヤウナル論ヲ以テ之ヲ行ハナナダト云フコトニナ
ルト云フト、其結果タル、一面ニ於テハ即チ文明的ノ社會經濟ノ變遷ニ應ジ
テ相當ノ施設ヲ遂ゲテ、此弊害ノ醸成セヌヤウニ下級者ヲ保護シテ行クト云
フ所ノ、所謂下級者ヲシテ其保險ノ利益ヲ享ケルコトヲ出来シメヌ所ノ結果
ニナルノト、而シテ又一面ニ於テ其結果カラ生ズル所ノ所謂歐米ナドノ社會
ノ大病トモ申シマスル所ノ労働ト資本トノ大衝突ヲ態ニ促スヤウナコトニナ
ルト云フ結果ニナルノデアリマス、此點ニ付テハドウシテ見テモ國家ガヤル
ヨリ致シ方ハナイノデアアル、決シテ民業ヲ壓迫スルトカ、何トカ云フモノデ
ハナイ、況ヤ又事實ニ付テ申シテ見マシテモ、此民業壓迫ト云フコトハ今山
本君モ段々例證ヲ舉ゲテ御述ニナリマシタヤウデアリマスケレドモ、既ニ此
統計ニ於テ示シテアル通り、山本君ハ事實ヲ數ガ示シテアルト云フコトヲ仰
シヤイマシタガ、如何ニモ數ガ示シテ居ルノデアリマス、其數ガ示シテ居ル
ノハ山本君ノ論點ノ利益ニナルモノニ非ズシテ、私ノ述ベル所ノ論點ノ利益
ニナル所ヲ數ガ明カニ示シテ居ルノデアアル、ソレハ何ダト云フト第一二百圓
ヲ超エザルモノノ保險ト申スモノガ明治四十三年ニ於テハ百分ノ……人員ニ
於テ十二・四、金額ガ百分ノ三・五ト云フモノデアアルガ、ソレガ五年後ノ大正三
年度ニ於キマシテハ人員ガ百分ノ僅カ一・八、金額ハ「コムマ」ノ四ニナッテシ
マッテ居ル、モウ百分ニモナラヌ、金額ノ上ニ於テ百分ニモナラナイ、詰リ五
年ノ間八分ノ一ニ減ッテシマッテ居ル、此三百圓ヲ超エザル數ニ於テ見テモ矢
張りサウ云フヤウナ次第デ、四十三年ニハ百分ノ三十四・九、而シテ其金額ガ
百分ノ十四・五デアッタ、是ガ大正三年度ニハ半分以下ニナッテ、人員ガ百分ノ
十六・三、金額ガ百分ノ六・五ト云フモノニナッテ居ル、是ハ即チ矢張り半分以
下ニナッテ居ルノデアリマス、而シテ此段々小額ノ保險ガ少クナッテ、殆ドモウ
二百圓以下ナドハ寂滅ノ形ヲ示シテ居ルノデアリマスガ、其趨勢ハ一般ノ統
計ノ上ニ於テ又現ハレテ居ル、詰リ此總テノ生命保險ノ契約ノ上ノ金額ヲ見
マシテモ、三十九年度ニ於テハ總テノ保險金額ノ平均ガ四百十八圓デアッタモ
ノガ、九年後ノ大正三年度ニ於テハ總平均ガ七百三圓ニナッテ居ル、殆ド三百

圓ホドノ總平均上ゲ増加ヲ來タシテ居ル、斯ルコトハ即チ所謂事實ノ數ガ示スト云フコトヲ仰シヤツタガ、其通りデアツテ、事實ノ數ガ此保險ト云フモノハ社會經濟ノ發達ニ從ッテ段々保險金額ノ平均ガ昇ッテ來ル、即チ小額保險ト云フヤウナモノハ普通保險會社ノ目的物デナイト云フコトニナルノデアリマス、加之今山本君ハ華族中ヨリ掛ケルトカ、上流社會ガ段々這入ルトカ、色御話ガゴザイマシタ、ゴザイマシタクレドモ、是ハドウモ上流社會ト云フモノガ丸デ算盤ヲ知ラナイ、煩累モ厭ハヌ上流社會デアッタナラバ、ソレハ百中ニ一ツヤ千中ニ一ツハ或ハアルカモ知レマセヌ、苟クモ保險ヲ掛ケヤウト云フ位ナ經濟的頭ノアル人ガ、態々月掛ニナラナクチャ困ルト云フヤウナ事情ガナクシテ、ドウ考ヘテ見テモ月掛ノ保險ガ此普通簡易保險ノ目的デアル、其月掛ノ保險ヲ態々求メルト云フコトハ、詰リ言ヘバ月々受取ル給料ナドノ中カラ置イテ置イタラ使ッテシマフガ、サウスルト何ニモ殘ラヌガ、ソレヲ少シヅツ十錢トカ二十錢トカ溜メテ月掛ニ郵便脚夫ガ取集メニ來ルモノニ渡スト云フノガ此保險ノ性質、多大ナ財產家ガ是ハドウモ宜イモノガ出來タト云フヤウナコトヲ言ウテ、月々保險金ヲ受取りニ郵便脚夫ガ二十錢三十錢ヲ集メニ來ルモノヲ、富豪ダトカ有僱者、有位者、色々ナコトヲ仰シヤツタ、マダ有ツタ、高等官トカ何トカ云フ色々ナコトヲ仰シヤツタ、サウ云フ又不經濟ノ考ヲ有ッテ居ル人ガ何處ニアルモノデアリマセウカ、私ハ絶對ニナイトハ言ヒマセヌ、言ヒマセヌガ、是ハ商賣モ同ジコトデアツテ算盤ト云フモノガ物ヲ言フ、殊ニ山本君ノ如キハ實業ニ於テ久シク御關係ニナッタ方ガ、算盤御構ヒナシニドウモ態々其月掛ノ煩累ヲシテ、而カモ保險金ノ率ハドウダト云ヘバ、現ニ終身保險ノ如キハ餘ホド普通保險ヨリ高クナツテ居ル、又高クナル等デス、此僅ナル零碎ノ掛金ヲ月々其家ヘ取りニ來ルト云フ簡易保險デアル以上ハ、其集金ノ費用ト云フモノノゲデモナカ／＼附加保險料トシテ餘計ノモノヲ掛ケナケレバナラヌ、普通ナラバ一割位ノ附加保險料デ行ク筈ノモノガ、此簡易保險ハ三割以上モ掛ケナケレバ、ドウシテモ引合ハヌ、此三割以上ノ費用ト云フモノハ即チ保險金ニ加ツテ、保險ノ率ガ高クナツテ居ル、其保險率ガ高クナツテ居ルモノヘ、態々金持ガ保險ヲ掛ケルナゾト云フコトハ、餘リニ算盤ヲ無視シタ位ノ御説デアラウト思ヒマス、ソレデ大體此社會政策ニ非ズトカ、民業壓迫ト云フコトニ付テハ斯ル次第デ、如何ニシテ見テモ不條理ナルコトト思ヒマスルガ、私ハ是ヨリ直接ナル此修正案ニ向ッテ一言ヲ試ミタイト思ヒ

マス、第一ノ修正ハ第二條ノ年齡ノ下ヘ資格ヲ入レルト云フコトデアル、詰リ此理由ハ今山本君カラ縷々承リマシテ、頗ル驚イタノデアリマス、此資格ト云フコトヲ定メルコトノ困難ナルト云フコトハ過日以來政府當局大臣及政府委員ナゾカラ縷々説明ニナッタヤウデゴザイマスルガ、私ハ此政府委員ナドノ説明ヨリ以上ニ於テ資格ヲ定メルト云フコトハ到底不可能ナコトデアルト深ク信ズルノデアリマス、ト云フモノハ元來此世ニ所謂社會政策論者ガ色色論ゼラレテ居ル中ニ付テモ、私ハサウ云フコトニ付テ段々調ベタ譯デモゴザイマセヌガ、私ノ見解トシテハ、歐羅巴ノ、歐米諸國ノ勞働問題ト日本ニ於ケル勞働問題トハ全ク別種ノモノデアアル、斯ル問題ハ總テ其國ニ現ニ存シテ居ル所ノ國情ニ依ッテ論究シナケレバナラヌモノト云フコトヲ確ク信ズルノデアリマス、歐羅巴ニ於ケル社會政策トシテ論ゼラレル所ノ勞働問題ハ多クハ集團的工業等ニ從事スル所ノ勞働問題ガ主眼トナツテ居ルヤウデアリマスガ、我國ニ於テハ未ダ今日ノ事實ニ付テ見ルト、ソレ等ノモノハ社會ノ其下級生活問題ノ上カラ見レバ、ホソノ一部分ノモノデアツテ、其大多數ノモノハ其集團的工業勞働者ノ外ニアツテ、而カモ此社會政策ノ中ニ、ドウシテモ込メテ論斷シナケレバナラヌモノガ多數ヲ占メテ居ルト云フコトヲ深ク信ジテ居リマス、ソレハ何ダト申セバ、第一農民デモ……農民ト云フモノヲ必シモ全部ヲ言フノデアリマセヌクレドモ、農民社會ニモ甚ダ此下等勞働者トシテ生活問題、即チ小作人ノ如キ境遇ニアル者ニ付テハ唯集團シテ居ラヌト云フダケノコトハアリマスガ、散在シテ居ルト云フコトノ差ハアルクレドモ、是ハ矢張り簡易保險ナゾニ付テ十分保護シテ行カナケレバナラヌ部分ガ澤山アルト思ヒマス、況ヤ此漁民ノ如キハ即チ漁村ノ有様ヲ能ク御承知ニナツテ居御方ナラバ、必ズ此御感ジガアル、漁民ト云フモノハ大漁ノアッタトキニハ非常ナ收入ニ、一時ナルモノデアアルカラシテ、正月ガ三ツモ一緒ニ來タヤウナ騒ギヲシマスルガ、不漁ガ續クト鍋釜ヲ質ニ入レテモ治リガ付カヌデ、先祖ノ位牌マデモ質ニ置クト云フコトガ殆ド漁村デハサウ云フコトニナツテ居ル、ソレガ又先祖ノ位牌ダケデ濟ムナラバ、マダシモデアリマスルクレドモ、此漁民、漁村ト云フモノハ多クハ遠ク鯉漁トガ、鰯漁トカ、何十艘モ連ネテ出ルモノデアリマスガ、一朝不時ノ颶風ニ出會フト云フコトニナルト、何百艘出テ居ッタ中ノ何十艘、何百人ノ乗組ガ遂ニ行方ヲ失ッテシマフト云フコトニナツテシマツテ、即チ漁村ノ中心力タルベキ所ノ壯丁即チ盛シニ働キノ付イ

テ、海ノ上デ十分ニ稼ギノ出来ルヤウナ人ガ海底ニ沈没シテシマフト云フコトハ、是ハ新聞デモ御覽ニナッテ居ルコトデアル、是等ノモノハ如何ニシテ見テモ跡ニ殘ル所ノ家族、老幼婦女ヲ養フコトノ覺悟ヲドウシテモ決メサシテ置カナケレバナラスト云フコトハ、モウ是ハ少シ田舎ノ状態ニ注目ナサレル御方ナラバ、必ズ御氣ガ付カナケレバナラスト、是等ノ如キハ即チ斯ウ云フモノニ向ッテ、最モ必要ナモノデアル、其他過日來頻ニ特別委員會デモ御話ガ出テ居ッテヤウデアリマスガ、小學教員トカ、下級官吏、巡查、看守トカ、或ハ雇員トカ、若クハ官廳ナリ、其他諸會社ナゾニ從事スル所ノ事務員トカ云フヤウナ、僅ナ給料ニ衣食シテ、一朝疾病若クハ病死等ノコトニ遭遇シタトキニハ殆ド其家族、遺族ヲシテ窮苦ニ悲嘆セシムルヤウナコトガ累々トシテアルノデアリマス、是等ノモノガ即チ今日日本ニ於ケル社會政策トシテ、是ガ生活難ヲ救フト云フコトヲシナケレバナラスト目的物デアル、斯ウ云フヤウナ人ハ今日ノ普通保險ニ於テ其保護ヲ受ケルコトガ出来ル人カト云フニ、是ハ殆ド絶對的ニ出来ナイノデアリマス、僅カ十五圓ヤ二十圓ノ給料ヲ貰ッテ、サウシテ家族ノ二三人モ養ッテ居ルモノハ、其日ノ衣食ニ汲々トシテ、漸ク生活ヲ繋イデ行ク位デアリマス、併シ是ガ都會ナラバ、マダシモデアリマスケレドモ、是ガ田舎マデ廣ク散布シテ居ル、サウ云フモノガ普通保險ニ於テ半年掛ケ、一年掛ケトカ金ヲ固メテ出スト云フコトハ出来ナイ、又集金ノ方法デモ都會デハ集金法モ普通保險ニハ行ハレテ居ルヤウデスケレドモ、田舎ノ隅ニ至ッテハ、ソレハイケマセヌ、サウ云フコトナリ、又諸方ニ散在シテ居ルヤウナ種々ノ點カラシテ、ドウシテモ是等ノ如キハ、其簡易保險ノ如キ各田舎ノ郵便局ニ於テ殘ラズヤルト云フヤウナ方法ガ設ケラレザル限りハ、普通保險ノ最低額ニモ應ズルコトガ出来ナイト云フコトニナル、シテ見ルト是等ハ文明ノ此必要ナル經濟機關トシテハ成立ツベキ所ノ保險ガアリナガラ、到底保險ノ保護、利益ヲ受ケルコトガ出来スト云フコトニナルノデアリマスカラ、是ハ如何ニモドウモ棄テ置クベカラザル次第デアッテ、斯ウ云フモノヲ棄テ置クト云フト、私ガ前ニ申上ゲマスル所ノ社會ノ大病タル所謂勞働問題ト云フヤウナルコトヲ根本的ニ解決シテ、遂ニ國家ガ無救ノ民ヲ無限ニ養ハナケレバナラスト云フヤウナ禍ガ來ルノデアリマスカラ、ドウシテ見テモ是等ハヤラニヤナラスト、處デ是等ヲヤルニハ山本君ハソレヲヤルノハ宜イガ、若シモ金持或ハ有爵者、有位者ガ是ニ這入ッテ來タナラバ甚ダ困ル、是ハドウ

シテモサウ云フ者ニ限ルト云フコトヲ職業別ナリ、納税別カ何カニシテ決メテ置カナケレバナラスト云フコトヲ仰シヤルケレドモ、ソレガ立派ニ付クノナラバ私共モ或ハ御同意申スカモ知レマセスケレドモ、山本君ノヤウナ聰明ノ御方ニモ似合ハヌ、ドウシテ見テモ付ケヤウハナイ、モウチット日ガアッタラ付クカモ知レヌガ、何分餘地ガナイ、政府ニ信賴スルトシタ所デ、其政府ガ誠ニサウ信賴シテ下サルノハ有難ウゴザルカラ、是ハドコマデモ信賴ヲ受ケテ立派ニヤッテ見マセウト言フナラバ御信賴モ結構カモ知ラスガ、無理無體ニ押付ケニヤラウトシテモ政府ハ之ニ應ジナイノデ、トテモサウ云フコトハ出来マセスト言ッテ居ルデアリマセヌカ、其出来ナイト云フモノヘ持ッテ往ッテ、飽マデモ信賴スルト云フコトデ以テ、無理押付ケニ勅令ノ中カ何カニ打込デ仕舞フト云フ話デハ、如何ニシテ見テモ無責任ノ話デアル、頼マレタ者ガ遣リマセウト云フナラバソレガ上手ニ出来ルカ下手ニ出来ルカハ問題外デアリマスケレドモ、政府ヘ持ッテ往ッテモ、其國ノ行政ノ全權ヲ掌ッテ居ル所ノ政府ガ、ソレハイケマセスト云フモノヲ議員ガ無理押付ケニ熱湯ヲ吞マセルヤウニ、出来ヌデモ構ハヌ、何所マデモ貴様ヲ信賴スルカラヤレト云フガ如キハ如何ニ議員トシテサウ云フコトヲ政府ニ御賴スルナゾト云フコトハ私ハサレマセヌ、サウ云フ無理ナコトヲ政府ニ御賴スルト云フヤウナ卑怯ナコトハ出来ズ、命令スルト云フヤウナ無理ナコトモ出来ズ、何レニシテ見テモ、私ハソシナ不條理ナコトハ一體議員ノスベキコトデナイト思フ、ソレモ何カ考ガ：又實際山本君ノ如ク御付ケニナルコトガ、脇カラ同感者ノ眼ニ付クナラバ、ソレハ我々モ矢張り此議場ニ列スル以上ハ國ノ爲ニ心配シテ、何トカ斯ウ云フ方法ヲ以テ此資格ノ定メ方ガアルダラウト云フコトヲ考ヘテ見マシタガ、是ハドウシテ見テモ矢張り政府ガ餘計ノ人ヲ使ヒ、餘計ノ專門家ヲ使ッテ、三年モ五年モ汲々致々トシテ調ベテモ、ドウシテモ其方法ガ付カストシテ、初メハソレヲヤル積リデヤリ掛ケテ居ッタガ、途中デ差障リガアッテ、中ニ付ケ難イモノデアルノヲ、我々ガ智恵ヲ絞ッテモ、ドウシテモ付カウヤウハナイ、ナゼ付カウヤウガナイカト云フト、先刻ノヤウニ職業別トカ、納税額別ト云フコトヲ仰シヤッタガ、納税額別ナドガドウシテ分リマセウ、若シモ金ガ掛ッテモ少シモ構ハヌ、百圓ノ保險ヲ付ケルノニ二十圓モ、三十圓モ、時ニ依ッテハ百圓ノ費用ヲ掛ケテモ御ヤリニナルナラバソレハ往クカモ知レヌ、往クカモ知レヌガ、納税者、納税者ト云ウタ所ガ今日此納税者ヲ

認メルト云フコトハ中ニ町村役場ヤ稅務署ナドニ行ッテ調べテ見テモ分ラヌ
ノデアリマス、餘所デ……他府縣デ納稅ヲシテ居ル奴ハ到底分ラウ筈ハナイ、
サウ云フ者ヲ一々資格ヲ以テ決メルト云フコトニナルト、百圓ノ保險ヲ約束
スル爲ニ、ヤア稅務署、ヤア町村役場ト云フヤウナ所ニ行ッテ所ガ、ソレハ稅務
署デモ誰ノ原籍ヲ調べトカ、ヤア子供ハ何所ニ行ッテ居ルトカ、其先キノ調
モナケレバナラヌト云フコトニナッテ來テ、是ハ非常ナ煩累ノコトヲヤラナケ
レバ到底其治リガ付クモノデハアリマセヌ、職業別デモ同ジコトデアリマス、
此點ナドハ先刻林伯カラ色々御話ガアリマシタカラ、私ガソレヲ繰返ス必要
ハゴザイマセヌガ、兎ニ角不可能デアルト云フコトハ明カニナッテ居ルノニ、
ソレヲ無理ニヤラウト云フコトハ、殆ド先刻山本君ハ達磨ヲ拵ヘテ眼ヲ入レ
ヌト仰シヤッタガ、私ノ眼カラ見ルト達磨ノ眼ガ折角這入ッテ居ルノニ、山本君
ハ態々達磨ノ眼ニ釘ヲ打チニ御出デニナッタルシカ思ヘヌノデアリマス、ドウカ
此達磨ノ眼ニ釘付ケスルダケハ御免ヲ蒙ラヌト、サウ云フ無理ナコトヲシテ
折角此法ガ行ハレルモノヲ、之ヲ拵ヘル爲ニ事實不可能、行フコトノ出來ナ
イト云フコトニナル、詰リ此論ヲ持ッテ來ルト云フト、唯議論トシテ中級以下
ノ……政府ノ理由書ニ「社會ノ中級以下ノ多數人民ノ幸福ヲ」ト書イテアルノ
ニ、サウ云フ説明ヲ中ニ書イテ置キナガラ、其中級以下ト云フコトヲ法律中
ニ證明スベキモノガナイカラ入レルノダト、斯ウ云フコトヲ仰シヤルガ、此
法律ト云フモノヲズット初メカラ終ヒマデ御讀ニナッテ、之ヲ活用スル上カラ
往ッたら、ドウシテモ中級以下ノ者デナクチャア來ナイヤウニナッテ居ル、丁度
例ヘテ見ルト云フト郵便貯金法ト同ジデアリマス、郵便貯金法中ニハ別ニ財
産家ハ郵便貯金ハヤルコトハナラナイト云フコトハ一ツモ書イテハアリマセ
ヌ、唯以前ハ三百圓ノ制限ハアッタガ、近頃ハ日本ノ社會經濟ガ段々發達シテ
五百圓トナリ、終ニハ千圓ニ上ボシタ、上ボシタコトハアリマス、アリマス
ケレドモ、詰ル所郵便貯金法ハ何ヲ主眼トシタカト云ヘバ、矢張り社會ノ小
額貯金ヲ獎勵スルト云フノガ主眼デアッテ、財産家ヤ大キナ富豪ナドノ貯金ヲ
預ルノガ主眼デハナイ、サウ云フ趣意デハナイカラ制限ヲ拵ヘテアルケレド
モ、郵便貯金法ニハ決シテ何百圓以上ノ所得稅ヲ納メル者ハ郵便貯金ヲナス
コトヲ得ズト書イテナイ、有爵者ハ郵便貯金ヲナスコトヲ得ズトハ書イテナ
イ、山本君ガ若シ遞信大臣ニ御成リニナッタルバ、或ハ郵便貯金法中ニ有位
者、有爵者、高等官ハ郵便貯金ヲナスコトヲ得ズト云フコトヲ御制定ナサル

御發議ヲナサルカモ知レマセヌガ、我々ハ其時ハ貴族院デチャア承知シマセヌ、
サウ云フ法ヲ御出シニナッテモ……サウ云フ譯デアアルカラ、ドウシテモ無理ナ
コトヲシテモ之ニ向ッテヤラウト云フカラ、是ハ詰リ言ウタラ此論ハ簡易保險
ト云フコトヲヤラズシテ、複雑保險ヲシヤウト云フノデアアル、此法律案ハド
コマデモ簡易保險ヲ主義トシテ出來テ居ルガ、ソレヲシナイデ、無理ニ資格
ヲ決メテ、郵便局ノ前デ毎日毎日保險者ト郵便局ノ役人トブンナグリ合ヒデ
モシナケレバナラヌ、己ハ納稅ヲシテ居ラヌ、貴様ハ納稅者ダト云フヤウナ
コトデ歐リ合ヒデモシナケレバナラヌナドト云フ種ヲソコニ蒔イテ、而シテ
實際眞面目ニヤラウトシテ見タ所ガ、百圓ノ保險ヲ付ケルノニ二十圓モ五十
圓モ調査費ガ掛ルヤウナコトヲシヤウト云フノデアリマスカラシテ、詰リ言
ヘバ此簡易保險ヲ複雑保險トカ、若クハ困難保險ニシテ實行ノ出來ナイモノ
ニシヤウト云フ御目論見ニ違ヒナイト考ヘル、是ハナンボ山本君ガ最初ニ本
案ノ趣意ハ贊成デアアルケレドモ施行方法ガ宜シキヲ得ヌカラ反對スルト仰シ
ヤッタケレドモ、決シテサウハ思ヘナイ、本案ノ趣意ガ全ク反對デアアルケレド
モ、之ヲ打破ル所ノ理由ガナイカラシテ、已ムヲ得ズ第一陣ニ敗退シテ第二
陣ニ取掛ッテ、辛クモ茲デ以テ本案ヲ實行ノ出來ナイモノニシヤウ、私ニハ斯
ウトシカ思ヘナイノデアアル、而シテ金額ノ制限論ト云フモノハ比較的小サイ
問題デ、格別ヤカマシク、顔ヲ赤ラメテ論ズル程ノモノデハナイ、論デハナ
イケレドモ、デヤアドッチカト云ヘバ原案ノ方ガ餘ホド宜シイ、何故ト云フニ
此三百圓ト云フコトハ最高限ヲ示シタモノデ、最高限ト云フノハ能クアルモ
ノデス、譬ヘテ見ルト普通保險會社ガ一萬圓マデハ保險ヲ付ケマス、三
萬圓マデハ保險ヲ付ケマス、トカ言ッテ最高限ヲ決メテ居ルガ、一萬圓、三萬圓
殘ラズ來テ與レルモノナラ、保險會社ハ寢テ居ッテ獨リデ繁昌スル、サウハ行
クモノデナイ、最高限ハ矢張り名ノ如ク最高限、實際最高限平均一萬圓ニシ
テ居ルカラ、一萬圓平均ニ行クト思フ社長サンガアッタラ直キ破産デアリマ
ス、是ハ矢張り最高限ト最低限ガアッテ、其中數ガ來ルノデアアル、即チ此保險
ノ如キモ二十圓以上三百圓以下ト云フモノハ政府ハ此平均ハ七十五圓ニナル
デアラウト云フコトヲ言ハレテ居ル、多分サウデアリマセウ、ソレ故ニ此最
高限ト言フモノハ、謂ハユル保險會社ノ普通ニヤル所、三百圓以上ト云フモ
ノガ普通ニヤルモノデアアル、而シテ三百圓以下ヲ政府ガヤルト云フコトデア
ルカラ、丁度其境目ノ三百圓ト云フモノヲヤッテ、是カラ以上ハ普通保險、是

カラ以下ハ簡易保險トシタノデアル、ダカラシテ其間ニドウシテモ侵スコトノ出来ナイヤウナ餘地ヲ設ケル必要ガアリハシナイ、況ヤ又普通保險ガ三百圓以下ハ絶對ニ出来ヌノナラマデアリマスガ、是ハ此間モ政府委員ガ言フ所ニ依ルト、普通保險ハ三百圓以下モヤルコトハ一向構ハナイ、許サレテ居ル以上ハ、實ハ許サレテ居ル者ハ八社ダトカデアリマス、三百圓未満ノ保險ヲ許サレテ居ルモノハ四十何社トカノ中ニ八社ヨリ外ナイト云フコトデアル、デアルガマア假令八社ニシテ見タ所ガ、兎ニ角三百圓未満ノ普通保險ガ絶對ニ出来ヌカト言ヘバサウデナイ、ソレハ三百圓ヤラウガ、二百圓ヤラウガ許サレテ居ル以上ハチットモ構ハヌ、政府ノ獨占ト云フコトガ惡イト仰シヤルガ、何モ獨占ト云フコトハ、此簡易保險ノ方法ニ依ルコトハ普通保險デヤラヌ、即チ獨占ト云フノハ診斷モセズ、而シテ三百圓以下ノモノニ此生命若クハ養老、此保險ヲ三條件ノ備タモノヲヤルコトガ出来ヌト云フコトデアッテ、此三條件備ハラヌ以上ハ、譬ヘテ見レバ醫者ニ診斷サシテ、而シテ二百圓ノ保險ヲ附ケルナラバ普通保險會社デヤッテ一向構ハヌ法律デアル、シテ見ルト此事ガ出来ルモノナル以上ハ、態々料率ノ高イ所ノ簡易保險ニ財產家ナドガ行ク必要ハナイ、是ハ全ク簡易保險デナクテハナラヌ、即チ月々ノ月掛ケノ誠ニ容易イ、僅ノ給料ノ中カラ取集メニ來テ吳レル掛金デアル、ソレ知ラズ識ラズ出来ルコトヲ主眼トシテ居ルモノデアル、デモウツ反對論者ニ能ク御考ヲ願ハナケレバナラヌコトガアル、ソレハ二百五十圓ト云フ御話デアリマスガ、今山本君ハ二百五十圓ヨリカ二百圓ガ宜イ、二百圓ヨリカ百圓ガ宜イト云フコトヲ仰ッシャル、是デ即チ化ノ皮ガ現ハレタ、是ハ全ク中級以下ノ人ノコトナゾハ構ハヌト云フコトヲ白狀ナサレタ證據ト思フ、小學校教員ガ死ナウガ、勞働者ガ縊ラウガ、跡ノ死ンダ者ノ遺族ハ其日カラ凍餓餓ニ陥ラウガ、ソシテ一向構ハヌモノデナイト云フコトヲ白狀ナサル、ト云フモノハ今日ノ狀態ハ是ガ四五十年前ナラバ三百圓ノ資金ハ可ナリ生産資本トシテ一家モ立行ク資本カモ知レマセナンダ、今日ノ社會ノ狀態ニ於テ經濟社會ノ狀態、殊ニ多クノ勞働者ノ場合ニ於テ三百圓ト云フモノハ如何ニモ小額デアル、此三百圓ノ資本デ先ヅ何カ内職デモシテ、家族ナリ子供ナリ遺ッテ、亭主ガ死ンダト云フ場合ニ於テ此三百圓ヲ資本ニシテ、ドウゾカウゾ一家族ノ生活ヲ計ラウト云フ場合ニ於テ、煙草屋ヲ始メルカ、燐寸ノ函ヲ貼ルカ、或ハ色々近頃輸出ノ縫物ナドヲスルカモ知レマセヌ、色々ノコトヲ

ヤル、家族ナドガ手内職ヲシテ細々ヤル、サウシテ店ヲ出シテ荒物デモ店ニ置イテヤルトシテモ、三百圓ト云フコトハ誠ニ漸ク糊口ヲ凌クカ凌ガヌカ位ノ程度ノモノデアル、二百圓ナラ尙ホ結構、百圓ナラ尙ホ結構ト云フ話ニナッテ來タラ、モウ下級人民ハ涙ヲ流シテ如何ニ我々見下ゲ果テタト仰ッシャルカモ知レヌケレドモ、百圓デ我が一家族ノモノガ暮ス元手ニシロト云フコトハ餘リニドウモ御胸慾ナルナサレ方デアルト言ッテ、御怒ミ申スコトガアリハセヌカト思ヒマス、其點ニ於テモ初メカラ反對論者ノ非常ナル誤ガアル、之ヲ其下級勞働者ヲ救フトカ、下級民ヲ救フトカ、下級社會ヲ救フト云フ上カラ山本君ハ細民保險又ハ下級社會保險ト名ヅクベキモノデアルノニ、之ヲ法文ニ書カヌノハ不埒ダ、斯ウ仰シヤル、成ルホド或ル保險會社ノ人ガサウ言ッテ、貧民保險ト云フ名ヲ付ケテ貰ッタル此儘デモ結構デス、千圓位ニシテ貰ッテモ構ヒマセヌ、私ハソシテハ嘘カホンカ知リマセヌガ、唯新聞デ見タダケデアリマス、ソシテモソシテハ嘘カホンカ知リマセヌ、唯營利ニ汲々トシテ眼中ニ私利アッテ國益アルヲ知ラズト云フヤウナ人ハソシテモカ知ラヌガ、御氣ノ毒ダガ日本ノ國民ハ左様ナヒモジイ根性ノ者ハ恐ラクアリマスマイ、我が日本國民ノ特ニ萬國ニ秀デテ、有シテ居ル所ノ大和魂トデモ申シマセウカ、國民精神トデモ申シマセウカ、名譽ノ爲ニ死ヲモ惜マヌ、命ヲモ惜マヌ、此精神一ツナンデス、歐羅巴ナドデハ道ヲ歩イテ居ルト能ク子供ヤラ、子供ナラ宜イガ、立派ナ紳士デハナイガ、下級人民ガ煙草ヲ半分吸ヒ居ルト、モウ棄テラダラウト思ッテ、後カラ附イテ來テ、其煙草ヲ下サイト云フヤウナコトヲヤル、是ハ歐羅巴ノ或國ナドニ幾ラモアル、又煙草ヲ「シガー」デモ吸ッテ棄テヤウトスルト駈者ガ貰ヒニ來ル、所ガ日本人ハサウ云フコトヲスルモノデセウカ、或ル立派ノ紳士ガ汽車ノ中デ、大阪へ降リルトキニ人カラ葡萄酒一バイ入レタ箱ヲ貰ッテ、ソレヲ少シバカリ、十分ノ一ホド食ッテ、ソレヲ降リルトキニ、食ヒ剩シデハアルケレドモ、マダ十分ノ一ホドヨリ食ッテナイ、赤帽ニ遣ラウトスルト、ソシテモハ頂戴イタシマセヌト云ッテ、ココハ日本人ノ値打ナンデアル、人ノ食ヒ剩シナドヲ頂戴スルヤウナ乞食根性ヲ持タヌト云フコトガ日本人ノ誠ニ貴ブコトデ、武士ハ食ハネド高楊枝、腐ッテモ鯛ト云フノハソレデアル、ソレヲ貧民保險デヤナント云フヤウナ看板ヲ掲ゲテ、サウシテヤルト云フヤウナコトヲ言ッタル、恐ラク明日ニモ命ヲ失フヤウナ者デモ、貧民保險ト云フモノニ今更遣入ッテ金ヲ貰フコトハスマイト思フ、廉恥心

ノアル者即チ日本人ハ持前ノ名譽心ガアルモノダカラ、何、死ヌマデモソシ
ナ保險會社ニハ這入ラナイト云フノガ日本人ノ唯一ノ日本ヲ有ッテ居ル最大
原因デアリマス、物質的バカリニ掛ッテ、名譽ヲ心トスル名譽ヲ失ッテ仕舞フ
ト云フコトニナッテハ連モソレハ有リマセヌ、連モ金ノ力デハ萬國列強ト對峙
ハ出來マセヌ、此精神一ツガ日本ノ大ヲ致ス所以デアアル、其名譽心ヲ態々蹂
躪シテ、サウシテ下級保險ダトカ、貧民保險ト云フコトヲ標榜シタラ、是ハ
耐ヘテヤルト云フコトニ類シタコトマデ山本君ガ仰ッシャルニ至ッテハ實ニ私
ハ國家ノ爲ニ悲シム、私ハ餘リ長クナリマスガ、要スルニ此貴族院ノ議員ト
シテ餘リニ此營業者ノ利害關係バカリニナル、不條理ノ我田引水ナドニ引込
マレヌヤウニ致シタイノデアリマス、私ハ決シテ資本家ヲ罵ル譯デハナイ、
又此日本ノ貧乏ナ國ハ大ニ是カラ發展シテ行カナケレバナラヌト云フニハ、
此資本家ノ利益ヲ尊重シナケレバナラヌ、擁護シナケレバナラヌト云フコト
ヲ飽マデ主張スル一人デアリマスガ、是ハ場合ニ依ッテ、資本家ノ利益ヲ保
護シテ何等ノ害ヲ他ノ國民ニ與ヘヌ場合ナラバ、實際ノ利益ヲ尊重シ、擁護
シテ宜シイガ、今日ノ場合ニ資本家ノ利益ヲ尊重スルト云フコトノ爲ニ、他
ノ下級人民、多クノ下級社會ノ人ノ利益ヲ害スルト云フヤウナコトハ承知ス
ルコトガ出來マセヌ、デアルカラシテ決シテ私ハ資本家ヲ憎ム譯デモナイ、
尊重セヌ譯デモ何デモナイガ、此問題ニ於テ餘リニ資本家ノ我田引水論ヲ御
容レニナルト云フコトハ、是ハドウカ御再考ヲ願ヒタイノデアリマス、要ス
ルニ斯ウ云フコトヲ願ミズシテ、ズン／＼抛ッテ置クト云フト、眞ニ又歐羅巴
ノヤウナ非常ナ社會ノ大患ガ傳染シテ來ル、其大患ガ傳染シテ來テ、勞働問
題ノ大波ガズン／＼日本マデ押シテ來テ御覽ナサイ、其時ニハドウナリマス
カ、其時ハ資本家ハ連モ此保險デ多少ノ不便利ヲ受ケル何ゾト云フモノデハ
ナイ、強制保險ガ實際行ハレルトシテモ、一方デ増税デイデメラレ、一方ニ
於テ其資本家ノ有シテ居ル所ノ工場ノ勞働者ニ向ッテ皆保險ノ掛金ヲ掛ケテ
ヤラナケレバナラヌ、サウ云フ直接損害ヲ受クルノデアアル、モウ一步進ンデ
謂ハユル英國ニ行ハレテ居ルヤウナ養老年金制ナドヲヤラナケレバナラヌ必
要ガ出テ來タトキハ、其場合ニ於テハ又非常ナル國費ノ負擔、即チ増税トナッ
テ資本家ノ頭ニ降り掛ッテ來ルモノデゴザイマスカラ、サウ云フコトニナラヌ
先キニ、謂ハユル牖戸ヲ綱繆シテ、サウ云フ國家ノ大患ニ陥ルコトヲ防グト
云フコトガ即チ資本家ノ利益ヲ保護スル所以ノ途デアリマスカラ、私ハ切ニ

望ム、單ニ反對セザルノミナラズ、世ノ中ノ資本家タル人々ハ成ルベク斯ウ
云フ勞働問題ナドヲ未萌ニ防グ爲ニ、自ラ進ンデ斯ウ云フ社會政策ヲ遂行シ
テ、完全ニ發達ヲスルヤウニセラレタイト云フコトヲ切ニ希望スルノデアリ
マス、甚ダ冗長ニ涉リマシテ御氣ノ毒デアリマス

〔岡野敬次郎君演壇ニ登ル〕

○岡野敬次郎君 諸君私ハ山本君ノ修正意見ニ賛成スル一人デアリマス、依
ッテ其賛成ノ理由ヲ出來ルダケ簡單ニ私ハ述ベテ見タイト思フノデアリマス、
豫メ私ハ御斷リヲ申上ゲテ置キタイトハ、私ハ簡易保險制度其ノモノニ自
ラ通ジテ居ルモノトモ認メナイノデアリマス、又此法案ニ付キマシテ私ハ特
別委員ニモアラズ、從ッテ親シク委員會ニ於ケル質問應答竝ニ討議ノ模様モ悉
シクハ承知ヲ致シテ居リマセヌノデアリマス、從ッテ私ノ此演壇ニ於テ述ブル
コトハ或ハ肯綮ニ當ラヌ、或ハ事實ヲ誤ッテ居ルト云フコトガナイトモ限ラヌ
ト思ヒマスケレドモ、是ハ豫メ諸君ニ御了承ヲ願ヒマシテ、本案ニ付テ私ノ
感ズル所ダケヲ御參考ニ供シテ見タイト思フノデアリマス、而シテ其修正意
見ニ賛成スルノ理由トシテハ多少簡易生命保險制度其モノニ付テ私ノ信ズル
所ヲ御話シテ見マセヌト云フト……即チ其徑路ニ付テ多少述ベテ見マセヌケ
レバ修正意見ニ賛成スル理由モ明カデナイト私ハ信ズルノデアリマスカラ、
直接ニ修正意見其モノニ關スルヨリハ、多少ハ生命保險制度其モノニ付テ申
上ゲルコトモアラウト思ヒマス、併ナガラ私ハ極ク出來ルダケ簡單ニ申上ゲ
タイト思フノデアリマス、デ先ヅ私ノ簡易生命保險法案ナルモノヲ一讀ヲ致
シマシテ、而シテ又段々諸君ノ御議論ノアル所ヲ承ッテ見マスルト云フト、簡
易生命保險即チ簡單ニ申セバ小口保險デアリマス、小口保險ト云フモノハ、
國營ト云フコト、即チ官營ト云フコトハ離ルベカラザルモノデアアル、斯ウ
云フヤウニ看做サレタ上ノ御議論ノヤウニ私ハ拜承スルノデアリマス、私ノ
見マスル所ハ、簡易保險ト云フモノト、簡易保險ナルモノヲ國ニ於テ經營シ
ナケレバナラヌト云フコトハ是ハ全ク別ナ問題デアルト思フノデアリマス、
デ今簡易生命保險法案ニ付テ見マシタラバ、何レノ點ガ此特有ノ所デアアル
カト申シマスレバ、殆ド本案ヲ通ジテ唯第一條第二條トアルノミデアリマ
ス、若シモ簡易生命保險事業ヲ營ムモノガ國デアレ、公共デアレ、私人デア
ルトヲ問ハズ、若シ營業ヲスルモノナラバ、殆ド三條以下ノ事柄ハ皆是ハ簡易
生命保險ニ付テノ規定デアリマシテ、決シテ簡易生命保險ノ規定デナイノデ

アリマス、固有規定トハ申サレヌノデアリス、或ハ此法案ノ末ニ至ッテハ印紙税ヲ賦課セストカ、或ハ郵便ハ無料ニナスコトヲ得ルト云フヤウナ特別ノ規定ハアリマスルケレドモ、併ナガラ是亦若シモ小口保險ヲ民營デ營ム上ニ於テ國之ヲ保護スル必要ガアルナラバ、矢張り斯ノ如キ規定ヲ設ケルコトモ敢テ妨ゲナイノデアリマス、ソレデアリマスルカラ、大體ニ於テ此法案ノ趣旨トスル所ハ何處ニアルカト言ヘバ即チ官營ト云フ所ニアル、即チ第一條ニ「政府之ヲ管掌ス」ト言ヒ、第二條ニ「保險會社之ヲ營ムコトヲ得ス」ト、即チ私營ヲ許サヌ、是ガ固有ノ規定ト先ヅ申シテ宜イ、アトハ是ハ決シテ簡易生命保險ノ固有ノ規定デハナイト言ハナクテハナラヌノデアリマス、而シテ果シテ然リトシタナラバ、此案ニ賛成スル者ハ官營ノ理由ニ賛成シナクテハナラヌ譯デアリマス、私ハ小口保險其モノハ決シテ反對デハナイノデアリマス、小口保險ヲ官營トスルモ可ナリ、民營トスルモ亦不可ナルニアラズ、併ナガラ簡易保險ト云フモノハ必シモ國ガ經營シナケレバナラヌカドウカト云フ點ニ付キマシテハ唯私ハ之ニ反對シナイト云フコトヲ申スニ止マルノデアリマス、官營デナケレバナラヌト云フマデ私ノ考ハ未ダ熟シテ居ラナイノデアリマス、能ク此利害得失ヲ考究シテ然ル後ニ官營ニスベキ理由ガアルナラバ私ハ官營トスル事柄ニ反對スルノデアリマセヌ、今日ノ所ニ於テハ私ハ未ダ官營トスルニ足ルノ理由ヲ發見シナイノデアリマス、今官營ニセネバナラヌト云フ所ノ理由トシテ第一ニハ所謂社會政策ト云フコトデアリマス、政府ハ衆議院ニ於テ主トシテ此社會政策ナルモノニ重キヲ置イテ、第一ハ保險事業其モノガ下層ノ階級ノ者ヲ相手ニスル所ノ保險デアル、其點ニ於テ社會政策デアル、第二ニハ其保險料トシテ被保險者ヨリ集メタル所ノ金額ヲ低利資金其他ノ方法ニ於テ之ヲ利用スル、其利ヲ受クル所ノ者ハ又下層ノ階級ニ屬スル所ノ者デアアル、故ニ是亦社會政策ノ一端デアルト、斯ウ云フ様ナ説明ヲシテ居ッテヤウニ私ハ承ッテ居ルノデアリマス、然ルニ本案ガ貴族院ノ議ニ付セラレテ以來ハ、所謂社會政策ノ意義如何ハ人ノ見ル所ニ依ッテ異ナルノデアアル、必シモ社會政策ト云フ下ニ之ヲ主張スルト云フノデハナイカノ如クニ理由ガ多少改ッタヤウニ私ハ見テ居ルノデアリマス、併ナガラ此案ニ賛成ヲセラレル所ノ諸君ノ中デハ矢張り社會政策ト云フ意味ニ於テ賛成ヲセラレテ居ル方モ少クナイノデアリマス、桑田博士ノ如キ、又先刻ノ田男爵ノ御述ニナッテ承ッテ見マシテモ、矢張り社會政策ト云フコトニ重キヲ置イテノ御演說ノヤウニ私ハ拜

承イタシタノデアリマス、私ハ此下層社會ノ階級ニ屬スル所ノ者ノ利益ヲ保護シ、其經濟上ノ獨立ヲ圖リマスコトガ必シモ社會政策ニアラズト私ハ申スノデハアリマセヌ、又社會政策ノ意義ハ隨分ムヅカシイノデアリマシテ、私トテモ專門家デナイノデアリマシテ、社會政策ハ斯ノ如キ意義ニ解釋スベキモノデアルト云フコトヲ斷言スル所ノ勇氣ハナイノデアリマス、併ナガラ私ハ若シ社會政策ト云フ意味ニ於テ此保險ニ賛成スルノデアラナラバ、意義アリ目的アリ實益アル所ノ社會政策トシテ私ハ是ニ賛成シタイノデアリマス、其社會政策ノ意義如何ハ問フノデアリマセヌ、假ニ之ヲ社會政策ト言ハズ、下層社會ノ利益保護ト云フ名稱ニ於テ申シテモ矢張り同ジコトデアリマシテ、私ハドウゾ大ニ意味ノアル所ノ社會政策トシテ賛成ヲシタイト思フノデアリマス、而シテ今此簡易生命保險事業其モノニ付テドレダケマデ此下層ノ階級ニ屬スル所ノ者ヲ、他ノ言葉デ申セバ他ノ階級ニ對シテハ隸屬ノ關係ニ立ッテ居ル所ノ者ヲ、ドレダケ之ヲ官營トシテ保護シテ居ルカト云フ點ヲ私ハ考究シタイノデアリマス、ソレハ何デアアルカト言ヘバ先ヅ第一ニハ創業ノ初メカラ五年ヲ限ッテ政府ニ於テ相當ノ補助ヲナシ、其補助スル所ノ金額ト云フモノハ五年ニ通ジテ八九十萬圓ニシカ當ラヌノデアリマス、是ガ一ツデアリマス、次ニハ郵便局ノ利用ト云フコトガ一ツデゴザイマス、是等ハ申スマデモナク被保險者タルベキ、即チ下層ノ階級ニ屬スル所ノ負擔ヲ減ズル所ノ原因デアルト云フコトハ是ハ爭ナイコトデアリマス、併ナガラ創業以來五年間ノ補助ト云フモノハ僅ニ百萬圓ニ滿タナイ、寧ロ八十萬圓位ニシカ當ラヌ計算ノヤウニ私ハ記憶ヲ致シテ居リマスルガ、ソレカラ以後ハドウデアアルカ、即チ六年目カラシテ全ク自營自給ノ主義ニ基イテ居ルノデアリマス、自營自給ノ主義ト言ヘバ何デアアルカト言ヘバ、即チ保險料ヲ拂フ所ノ者即チ下級ニ屬スル所ノ者ガ、契約上定ッテ居ル所ノ保險料ヲ拂ッテ、而シテ政府ハ其保險料トシテ收入シタル所ノモノヲ或ル方法ニ依ッテ運用ヲシ利殖ヲ圖リ、而シテ之ヲ以テ被保險者ノ保險金ノ仕拂ノ財源トスルト云フコトニナルノデアリマス、ソレデアリマスルカラ此點ニ於テハ普通ノ保險、今日民間デノ會社ガ經營シテ居ル所ノ保險ト少シモ違ハナイノデアリマス、私ガ此席カラ申上ゲルマデモナク、保險ト云フモノハ何デモアリマセヌ、被保險者ト云フ側ニ屬スル所ノ多數ノ者ガ相當ノ仕拂ヲナス、保險料ト云フ名義ニ於テ仕拂ヲナシテ、サウシテ保險ヲ經營スル者ハ其中デ經費ヲ支辨シ、之ヲ運用シテ、他

日其中ニ例ハ死亡シタ者ガアルナラバ、之ニ對シテ保險金ヲ仕拂フト云フ
ノデアリマス、故ニ簡單ニ申セバ是ハ被保險者ガ自ラ保險ヲナシテ居ルノデ
アル、被保險者ハ即チ保險ヲシテ居ルノデアアル、保險者ト被保險者ト云フモ
ノハ同ジモノデアアル、斯ウ云ウテ差支ナイ、法律的ニ申セバ是ハ誤ト致シマ
スケレドモ、併ナガラ保險經營ノ經濟的思想カラ見タナラバ即チ被保險者ト
シテ保險金ヲ請取ル所ノ者ハ、自ラ保險料トシテ財源ニナル所ノモノヲ拂
テ居ルノデアリマス、デアリマスルカラ其保險事業ヲ經營スルモノハ國デア
リマシテモ、公共團體デアリマシテモ、又會社デアリマシテモ、唯其多數ノ
者ノ上ニ立ッテ保險ヲスルト保險ヲシテ居ルト云フ職務ヲ執ルニ過ギナイノ
デアリマスカラ、先刻モ申シマシタ通り簡易生命保險ニ付テ申セバ、六年目
カラハ自營自給デアルト云フコトハ即チ被保險者ノ階級ニ屬スル下層ノモノ
ガ、自ラ己ノ得ル所ノ保險金ノ支拂財源タルモノヲ拂ッテ居ルノデアアル、恰モ
預ケテ置クト云フノト何等異ナル所ハナイノデアリマス、サウ云フ計算デア
ルナラバデス、此五年間八十萬圓ノ補助金ヲナスコト、而カモ其補助金ハ主
トシテ創業費ニ當ルモノガアルカラト云ウテ是ガ假ニ社會政策ナリト云フ名
ヲ附ケルコトヲ得ルモノトシテモデス、所謂大ニ目的アリ、大ニ意味アリ、
大ニ實益アル所ノ社會政策ト言ヘルノデアラウカト云フコトヲ私ハ甚ダ疑フ
ノデアリマス、格別五年間ニ於ケル、未ダ被保險者ノ數モ多カラザル時代ニ於
テ八十萬圓ノ補助ヲシテ、ソレカラ以後ハ自ラ自營自給、即チ普通保險事業
ノ經營ニ屬スルコトヲヤルノデアルト云ウテ、ソレガ永久ニ社會政策ヲ國家
ガ行ッテ居ルモノデアルト云フコトガ出來ルノデアリマセウカ、次ニハ郵便
局ノ利用ノコトデアリマス、成程郵便局ヲ利用スルト云フコトハ、確カニ保險
事業經營ノ上ニ於テハ便利デアリマシテ、又被保險者タル下級ノ階級ニ屬ス
ルモノノ負擔ヲ減ズルト云フコトニ於テ效果ノアルト云フコトハ、是ハ私ハ
認メルノデアリマス、去リナガラ今日ノ七千有餘ノ郵便局ナルモノガ、何等
擴張ヲナサズシテ、果シテ今日負擔シテ居ル所ノ職務ノ上ニ保險事業ニ屬ス
ル所ノ事務ヲ執ルノ餘力ガアルカドウカ、私ハ斷ジテナイト思フノデアリマ
ス、若シモ今日ノ郵便局ガ郵便事務ヲ執ル上ニ、更ニ附加セラレタル所ノ保
險ノ事務ヲ尙ホ執リ得ルモノナラバ、未ダ行政整理ハ十分デナカッタト云ハナ
クテハナラヌノデアリマス、併ナガラ今日ハ、主トシテ三等郵便局アタリノ
例ヲ開イテ見マスレバ餘程忙シイヤウデアアル、此上ニ更ニ事務ノ負擔ト云フ

モノハ私ハ出來ナイト思フノデアリマス、ソレガ故ニ先ヅ私ハ郵便局ノ擴張
ト云フコトガ、恐ラク此官營簡易保險ニ付テハ將來ニ必然起ルベキ問題デア
ルト思フノデアリマス、併シ是ハ私ハ大シテ申ス程ノ價ハナイト思ヒマスガ、
手數料ハドウデアアル、手數料ハ諸君モ御承知ノ如ク郵便局ニデス、國庫ヨリ
支出スル所ノ手數料ト云フモノハ決シテ少イ額デハナイノデアリマス、可ナ
リ大キイ額ト云ハナクテハナラヌノデアリマス、今私ハ其計算ヲ此ニ申ス必
要ハナイト思ヒマスルガ、其郵便局ニ交付スル所ノ手數料ハ何カラ是ハ支出
セラレルノデアアルカト云ヘバ、ソレハ被保險者ノ支拂フ所ノ保險料デアリマ
シテ、即チ附加保險料トシテ被保險者ノ負擔ニ歸シテ居ルノデアリマス、被
保險者ノ負擔スル所ノ金額カラ此手數料ヲ支拂フノデアリマスカラ、結局其
手數料ハ被保險者ノ負擔デアルト斯ウ申シテ宜シイノデアリマス、デアリマ
スカラ郵便局ノ利用ト云フコトハデス、ドレダケ被保險者ノ負擔ヲ減ズルカ
ト申セバ、附加保險料ノ如キ、即チ手數料トシテ國庫ヨリ支出スル所ノモノ
ハ何レモ皆被保險者ノ負擔デアル以上ハデス、唯今日ノ郵便局ト云フ建設物
ヲ利用スルト云フコトガ先ヅ此官營ノ一ツノ理由ニ過ギナイト思フノデアリ
マス、永遠ニ國庫カラ補助スル所ノモノハ先刻申シタ通り無イノデアリマ
ス、郵便局ヲ利用スルト云フコトダケガ官營ト云フコトノ特殊ナル點デアリ
マス、其郵便局ヲ利用スルコトガ出來ルト云フダケヲ以テ是ガ即チ目的アル
所ノ社會政策デアルト云フコトガ云ヘルデアリマセウカ、私ハ簡易小口保險
其モノハ決シテ反對デハナイ、寧ロ贊成デアリマス、併ナガラ之ヲ官營ニス
ルニ付テ大ニ疑フベキ所アリ、大ニ調査ヲ要スベキモノアリト私ハ考ヘテ居
ルノデアリマシテ、若シ之ヲ官營ニスルナラバ先刻モ申ス如クニ、大ニ意味
ノアル官營トシテ私ハ贊成ヲシタイト思フ、然ルニ今申シタ通りノ謂ハバ僅
ニデス、被保險者ノ負擔ヲ輕減スルニ止マルモノヲ稱シテ是ハ所謂社會政策
ト云フ名稱ノ下ニ之ヲ主張スルノ理由ガ果シテアルカドウカ、甚ダ私ハ疑フ
ノデアリマス、ソレカラ次ニハデス、次ニハ此贊成ノ御論ヲ承ルト云フト、
營利非營利ト云フコトニ付テ大ニ力説セラレテ居ル方ガアルノデアリマス、
私ハ此官營ノ簡易生命保險ガ非營利デアルト云フコトヲ申サレル其論旨ハ、
不幸ニシテ私ハ甚ダ了解スルコトノ出來ナイ點デアリマス、若シモ民間ノ會
社ハ、是ハ始メヨリ營利ヲ目的トシテ設立セラレタルモノデアアル、國家ハ利
益ヲ得ルノ目的ヲ以テ此保險事業ヲ經營スルモノニアラズト云フ、此一點カ

ラ申シマシタナラバ、是ハ成程營利デハナイ、民間ノ會社ハ營利的デアル、國家ハ非營利ノモノデアルト云フコトハ、ソレハ一言ニシテ言ウタナラバ私ハ言ハレマセウト思ヒマス、併ナガラ民間ノ會社ニ於キマシテ利益分配ノ形ヲ以テ株主ニ分配セラルル所ノモノハドノ位デアルカ、其分配金トシテ株主ニ配當セラルルモノノ財源ハ何デアルカト申セバ、成ルホド幾分此資本ニ對スル所ノ、申サバ起業上ノ危險ト云フコトモアルノデアリマスカラ、是ハ幾分カ利益モ見ナケレバナリマスマイガ、主トシテ準備金利用ノ方法如何ニ在ルノデアリマス、私ハ茲ニ諄々シク申シマセヌ、此簡易ノ保險ノ豫定利率ハ幾ラデアルカト言ヘバ、三分五厘デアル、民間ノ會社デ今日保險事業ヲ營ンデ居ル其保險事業ノ經營ノ上ニ必要ナル豫定利率ハ幾ラデアルカト云ヘバ多クハ四分デアル、三分五厘ハ少イ、四分デアリマス、四分デ計算ヲシテサウシテ保險料トシテ收入スベキモノヲ定メ、而シテ其保險料カラ得タ所ノモノヲ積立テタ所謂積立金、其責任準備金ヲ利用スルニ是ハ六分ニ運用セラレタ、或ハ五分五厘ニ運用セラレタトシタナラバ、其豫定利率三分半若クハ四分ト、若クハ五分五厘若クハ六分トノ差ハ會社ノ利益ニ歸スルノデアリマシテ、是ガ株主ニ配當セラルル財源ノ重モノデアリマス、此保險料ノ形ニ於テ、保險料ノ形ニ於テ被保險者ニ利益分配ノ財源トシテ課セラレルモノハ幾ラデアルカト言ヘバ是ハ誠ニ微々タルモノデアリマス、私モ細カニ其點ヲ計算イタシタ譯デアリマセヌケレドモ、併ナガラ此事ニ精通シテ居ル者ノ話ヲ聞キマスルト、一圓ニ付テ七厘五毛位ニシカ當ラヌト云フ、是ダケガ被保險者ガ負擔スル譯デアリマスケレドモ、併ナガラ株主ニ配當セラルベキ財源ノ主要ナルモノハ、主要ナルモノハ何デアル、殆ド大部分ヲ成シテ居ルモノハ此責任準備金利用ノ方法ニ依ッテ豫定以上ノ利益ヲ收メルコトガ出來ルト云フ點ニ在ルノデアリマス、而シテ此官營保險ノ利率ハ豫定ハ三分五厘デアリマス、三分五厘トスレバ、三分五厘トシタナラバ四分トスルヨリモ被保險者ノ負擔ガ増ス道理デアリマス、併ナガラ私ハ將來ニ向ッテハ三分五厘ノ豫定ガ適當ト思ヒマスカラ、三分五厘其モノニハ疑ヲ抱イテ居リマセヌケレドモ、併ナガラ四分ト云フ豫定利率ヲ定メルヨリモ被保險者ノ負擔ガ多クナルト云フコトハ計算上等フベカラザル事實デアアルノデアリマス、ソコデ假ニ豫定利率ハ三分五厘トシテ、政府ハ保險料ノ形ニ於テ收入シタルモノヲ利用スルニ於テ如何ナル方法ニ利用スルカ、其利用スル方法ハ勅令ヲ以テ定ム

ルト云フコトデアリマシテ、未ダ確定シテ居ラヌノデアリマス、併ナガラ此利用ノ方法如何ニ拘ラズ豫定利率、是ハ被保險者ノ有ニ歸スルノデハナイ、政府ガ之ヲ取得スルノデアリマス、デアリマスカラ民間ノ會社ニ於テハ豫定利率ト利用利率ノ差ハ株主ニ配當セラルル財源デアルケレドモ、併ナガラ此官營保險ニ於テハ其差ト云フモノハ政府ノ所得ニナル、國庫ノ收入ニナルノデアアル、ソコデハ事業ノ鞏固ヲ期スル上ニ於テハ宜イカモ知レマセヌケレドモ、併ナガラ其金額ハ被保險者ニ割戻サルベキ性質ノモノデナイ、サウシテ見マスレバ非營利ト云フ重モノナル所ハデス、ドコニ在ル、然ルニ一方ニハ民間ノ會社トシテハ相互會社ガアル、相互會社ハ經營費ヲ控除シテ而シテ利益ガアッタナラバ、ソレハ社員タル保險契約者即チ普通ノ場合ノ被保險者ニ分配シテ割戻サルベキモノデアル、ソレヲ若シ官營保險ニ比較シテ見タナラバ、相互會社デ利益ノ被保險者ニ戻スベキ金ハ官營ニ在ッテハ政府ノ所得ニ歸スルト云フコトニナルノデアリマス、デアリマスカラ私ハ利益……營利ノ目的デナイト云フコトヲデス、株主ニ配當セヌト云フ意味ニ於テ說カルルナラバ誠ニ御尤デアリマスガ、其利益ガ保險ニ這入ッタ下層ノ階級ニ屬スル者ニ歸屬スルノデハナイノデアリマスカラ、之ヲ非營利デアルト言ッテ此官營ノ利益ヲ主張スル理由ハナイト私ハ信ズルノデアリマス、デスノ如ク尙ホ細カニ申シマシタナラバ、色々御意見ノ是マデ承ッテ御議論ニ付テ私ノ甚ダ疑フモノ私ノ惑フモノハ決シテ少クナイ、又法案其モノニ付テ細カニ申シマスレバ隨分論ズベキ點ガアラウト思ヒマスガ、其細カイコトハ私ハ申シマセヌ、デ茲ニ止メテ置カウト思フノデアリマス、要スルニ私ハ若シ國ニ於テ、國家ニ於テ、此簡易保險事業ヲ經營スルナラバ、私ハ大ニ被保險者ノ負擔ヲ減ジ、所謂實益アリ目的アル保險事業トシテ贊成イタシタイト云フコトヲ豫テ考ヘテ居ルノデアリマス、此場合ニ於テ私ノ申スヤウナ意味ノアル保險事業ヲ國ニ依ッテ經營セラレタナラバ、其結果ハ或ハ民業ノ壓迫ト云フコトニナルデアリマセウ、今日民業壓迫ナリト申シテ憂ヘラレル諸君ノ憂ハ益々大キクナルト私ハ思フノデアリマス、併シ所謂其實益アリ目的アル政策トシテ之ヲ實行スルノデアアルナラバ、其結果ハ私ハ或ル程度ニ於テ民業ノ壓迫トナッテモ心配セヌ、民業ヲ壓迫シテモ差支ナイトマデ私ハ信ジテ居ルノデアリマス、併ナガラ既ニ此簡易保險ノ政府ノ計畫ノコトニ付テ段々承ッテ見ル所ニ依レバ、私ノ申スヤウナ意味アリ目的アリ實益アル所ノ保險事業ナリトハ私

ハ思ハナイノデアリマス、外ノ言葉ヲ以テ言ヘバ國家ガ之ヲ經營スルニ於テ大ニ理由ノアル所ノ計畫ナリト私ハ信ズルコトガ出來ナイノデアリマス、其賛成スルコトノ出來ナイ理由ハ先刻申述ベマシタ通りノ次第デアリマスガ、既ニ所謂大ナル意味ノアル所ノ保險事業トシテ賛成スルコトハ出來ナイトシテ、而シテ一方ニ於テ國家ガ此簡易生命保險ト云フモノヲ、經營スルコト云フコトニ大勢既ニ定ッテ居ルナラバ、今更此官營ト云フコトニ尙更ニ調査ヲナスベシト云フ議論ヲ唱ヘテ見タ所デ、是ハ結局無益ノコトデアリマスカラ、大勢動カスベカラズト云フナラバ是ハ誠ニ已ムヲ得ナイモノデ、私ハ國營ト云フモノニ反對デナイト云フコトハ最初ニ申シマシタ通りデアリマスガ、尙ホ大ニ調査ヲ遂ゲタナラバ、尙ホ一層光輝アル官營事業トナルデアラウト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ是ハ誠ニ致方ガナイノデアアル、而シテ今日私ノ信ズル所ニ於テ、謂ハユル社會政策ト云フ名稱ノ下ニ此保險事業ヲ實行シテ、若クハ社會政策ノ名稱ヲ附セザレバ兎ニ角官營トスル所ノ理由ニ於テ甚ダ薄弱デアルト云フ以上ハ、私ハ責メテハ此民業ヲ壓迫シナイダケノモノニシテ置クコトガ穩當ナル政策ダラウト思フノデアリマス、民業ノ壓迫ト云フコトハ、謂ハユル社會政策ノ名稱ノ下ニ於テハ已ムヲ得ナイト私ハ信ズルノデアリマスガ、僅ニ創業五年間ニ百萬ニ滿タザル金額ヲ補助スル、而カモ是ハ五年ニ限ラレテ居ル、而シテ一方ニハ郵便局ヲ利用スルト云フコトニ過ギナイナラバ、公益ト云フコトハ誠ニ弱イモノト思ウテ居ルノデアリマス、然ラバ斯ノ如キ方法ヲ行ウテ、今日ノ民營ノ會社ニ對シテ少シモ影響ガナイカト云ヘバ、是ハ熱心ナル賛成ノ論者ト雖モ多少ノ民業壓迫ハ已ムヲ得ナイコトデアルト云フコトハ認メラレテ居ルノデアリマス、先刻來演壇ニ立ッテ堂々御論ジニナッタ諸君ノ中デ、例ヘバ仲小路君ハ矢張り是ハ多少ノ影響ヲ來タスト云フコトハ矢張り認メラレテ居ルノデアリマス、其他絶對ニ影響ナシト斷言セラルル方ハナイヤウデアリマス、果シテサウデアアルナラバ、私ハ一方ニハ國家ニ於テ此保險ヲ經營シ、他ノ一方ニ於テハ民間ノ會社ガ保險ヲ經營スルコトガ出來、又民間ノ會社モ安シテ此事業ノ經營ニ當ルコトガ出來ルト云フ途ヲ講ズルノハ、極メテ適當ノコトデアルト私ハ思フノデアリマス、ソレガ故ニ私ハ保險金額ヲ二百五十圓トスルト云フコトト、ソレカラ被保險者ノ資格ヲ限定スルト云フ修正意見ニ詰リ賛成スルノデアリマス

ガ、三百圓ト二百五十圓ト云フモノハ其差僅ニ五十圓デアル故ニ、若シ民業壓迫ヲ憂フル方ノ論者カラ云ッタナラバ、僅ニ五十圓下ゲテドレダケ利益ガアルカト云フコトヲ、反對論ヲ主張セラルル諸君ハ申サルノデアリマス、是ニ至極御同感デアリマス、私モ決シテ三百圓ヲ二百五十圓トシテ大シタ效果ガアルトハ思ヒマセヌ、併ナガラ五十圓ノ差ト雖モ多少ノ利益ハアルノデアリマス、ト云フコトハ認メナクテハナラヌノデアリマス、二百五十圓ニスルノハ如何ニモ理由ガナイデハナイカト先刻林伯爵ハ此ニ述ベラレマシタケレドモ、二百五十圓ニスルノハ理由ガナイデハナイカト云フノハ、三百圓ニスルノハ大ニ理由ガアルト云フコトヲ前提トセラレタ議論デアリマス、若シ二百五十圓ガ理由ガナイナラバ、法律ニ於テ三百圓ト定メタノモ亦理由ガナイノデアリマス、要スルニ是ハ程度ノ問題デアッテ、五十圓ノ差ダケデ此謂ハユル民業ノ壓迫ト云フモノヲ避ケルニ於テ多大ノ效果アリトハ思ヒマセヌケレドモ、併ナガラ多少ノ利益ハアルト云フコトハ認メナクチャナラヌ、ソレカラ資格ヲ制限スルト云フコトデアリマス、資格ヲ制限スルト云フ修正論ニ對シテハ、重モニ反對セラルル諸君ノ御意見ハ、無責任デアアル、極メヤウガナイノデアアル、若シ之ヲ定ムルコトガ出來ルト云フ意見ガアルナラバ宜シク修正ノ意見トシテ出シテモ然ルベキコトデアアル、少クトモ其提案位ハアッテ然ルベキコトデアアル、然ルニ考案ナクシテ、唯勅令ヲ以テ之ヲ定ムトシテ、其定メ方ヲ政府ニ御任セスルノハ無責任デアアル、斯ウ云フコトヲ申サレルノデアリマス、私ハ此資格ヲ定ムルニ於テハ、是ハ明確ナル所ノ制限デアッテ、何人ガ認メテモ是ハ尤モナル制限ナリト認ムル所ノモノハナカラウト思フノデアリマス、併ナガラソレガ故ニ定ムルコトヲ得ナイノデアルトハ私ハ思ヒマセヌ、政府ニ於テソレハ定ムルコトハ得ナイ、極メルコトハ甚ダ困難デアルト云フコトヲ言フト云フコトデアリマスガ、成程私モ困難ダト思フノデアリマス、併ナガラ能ク攻究シタナラバ必シモ案ヲ得ルニ難キモノデハナイト私ハ思フノデアリマス、出來ナイト云フコトハ申サレヌノデアリマス、私モ隨分法律ヲ作ルコトノ經驗ハ相當ニ致シテ居ルノデゴザイマス、條文ヲ作ル上ニ於テ、何カノ標準ヲ定ムル上ニ於テ、随分ムヅカシイ問題ニ逢著シタ例ガアリマスケレドモ、併ナガラ何トカ定メナケレバナラスト云フコトデアアルナラバ、工夫ニ工夫ヲ重ネマスレバ、自ラ其案ノ浮ブコトモ決シテ無イデハアリマセヌ、成程政府ノ方ノ側カラ申セバ土臺此資格ヲ制限スルニ反對デア

カラ、政府が満足スベキ標準ヲ得ルコトハ難イト云フコトハソレハアリマセウ、今日ニ於テ政府が満足スベキ標準ハナイト云フコトハアリマセウガ、今日政府ニ於テ満足スベキ標準ガナイ、故ニ其資格ヲ制限スルノハ難キヲ求メルノデアル、無責任ノ論デアルト云フ結論ハ生ジナイノデアリマス、若シ先刻田男爵ノ述ベラレタ議論ガ宜イトシタナラバ、政府ノ反對アルニ拘ラズ法律案ナリ豫算ナリヲ修正スルコトハ出来ナイノデアル、政府ハ斯ク豫算ヲ削減セラレテハ事業ノ經營ハ出来ナイ、法律ヲ斯ノ如ク修正セラレテハ法案ノ趣旨ヲ没却スルト、斯ノ如ク申シタ所デ、我々ガ議員トシテ斯ク修正スルガ理由ガアル、斯ク修正スルガ利益ガアルト見タナラバ、何ゾ修正スルニ憚ルコトガアリマセウ、今日ハ或ハ満足スベキ所ノ標準ハナイカモ知レマセヌガ、併ナガラ決シテ得ルコト不能ナリト私ハ思ハヌノデアル、而シテ終ニ申シテ置キタイノハ、斯ノ如クニシテ三百圓ヲ二百五十圓ト修正シ、更ニ被保險者ノ資格ヲ制限スルトシテ、果シテ政府ガ此法案ヲ提出シタ理由ト相容レザルモノデアルカト申セバ、私ハ決シテサウハ思ハヌノデアリマス、政府ノ謂ハユル下級ニ屬スル所ノ階級ノ利益ヲ保護シテヤルト云フ趣意ハ、實リ達スルコトガ出来ルノミナラズ、尙ホ一層明カニ其目的ヲ達スルト云フコトガ法律案ノ上ニ明カニナルト思ヒマスルカラ、政府ニ於テ反對スル理由ハ斷ジテナイト私ハ思ヒマス、或ハ三百圓ト云フコトハドウモ二百五十圓ニ減ズルト云フコトデアッタハ經營上困難デアルト云フ御議論モ先刻モアリマシタケレドモ、平均約七十五圓ト云フコトハ度々政府ノ言ッタコトデ、最低二十圓以上三百圓ト云フ範圍ニ於テ平均額ヲ七十五圓ニ見タト云フコトデアアル、平均ノ七十五圓ハ三百圓ニ近イカ二十圓ニ近イカト云ヘバ二十圓ニハ近クシテ三百圓ニハ非常ニ遠イノデアル、ソレデアリマスカラ平均七十五圓ト見ル以上ハ三百圓ト云フモノハ殆ドアルカナイカト云フ位ノ計算デナケレバ平均七十五圓ニナラヌノデアリマス、デアリマスカラ之ヲ三百圓ヲ減ジテ二百五十圓ニシタカラ非常ニ平均ガ下ッテ仕舞フト云フヤウナコトハ私ハ計數ノ上ニ於テ言ヒ得ナイ計算ト思ヒマス、ソレガ爲ニ經營ニ困難ヲ來タスト云フ議論ハナイト思ヒマス、若シ經營ニ困難ヲ來タストシタナラバ七十五圓ノ計算ハ誤ッテ居ルモノト云ハナケレバナリマセヌ、デ私ハ以上申シタヤウナ理由ニ依ッテ責メテハ民業トソレカラ官業トガ共ニ相立ッテ其發展ヲナスコトガ出来ルト云フ程度ニ於テノ修正意見ナリトシテ私ハ之ニ賛成ヲスルノデアリマス

○鎌田勝太郎君 討論終結ノ動議ヲ提出イタシマス

○古賀廉造君 賛成

○男爵高木兼寛君 賛成

○伯爵柳澤保惠君 賛成

○男爵平野長祥君 賛成

○伯爵松平直之君 賛成

○男爵關義臣君 賛成

○議長(公傳徳川家達君) 討論終局ノ動議ニハ二十名ノ賛成者ヲ要シマス

○江木千之君 賛成

○男爵高橋是清君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者多シ〕

○議長(公傳徳川家達君) 討論終局ノ動議ニハ成規ノ賛成者ガアッタト認メマス、故ニ討論終局ノ動議ハ成立ヲ致シマシタ、逓信大臣ガ發言ヲ求メラレマシタ

〔國務大臣箕浦勝人君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(箕浦勝人君) 賛否ノ兩論者ヨリ種々ニ御議論ガアリマシテ討論將ニ終結サレムトスル場合デアリマスカラ此場合餘リ多クヲ申シマセヌ、唯ダ修正案ニ對シテ一言イタシタイト思ヒマス、修正案ノ提出者ハ如何ナル成案ヲ持タレテ居ルカハ存ジマセヌガ、此加入ノ制限ヲ附ケルト云フコトハ實際上極メテ困難ナルコトデアリマス、公平適當ナル制限ヲ附ケルト云フコトノ途ハ殆ト色々是マデ研究ヲ致シマシタノデアリマスケレドモ、其途ヲ見出スコトハ出来ナイノデアリマス、最初政府ガ公表イタシマシタ所ノ草案ニハ實ハ其制限ヲ設ケテアッタノデアリマス、ソレハ直接國稅十圓ト云フヤウナ所ニ納稅ノ金額ヲ以テ制限ヲ定ムルト云フコトニ致シテアッタノデアリマス、併ナガラ其後段々研究ヲ重ネマスルニ付キマシテ、此事ハ殆ド實行不可能ト云フ所ニ歸著ヲ致シタノデアリマス、先ヅ是等ノコトニ付テ最モ經驗ヲ積マレテ居リマス大藏省ノ熟練家等ヲ集メ種々ニ研究ヲ致シマシタケレドモ、到底其納稅額ヲ以テ公平適當ナル標準ヲ定ムルト云フコトハ出来ナイト云フコトニナツタ、併ナガラ大ニ費用ヲ抛チ手數ヲ掛ケテヤリマスレバ或ハ出来ナイコトモナイヤウデアリマスルガ、併ナガラソレホド大ナル費用ヲ入レテマデ左様ナ面倒ナル制限ヲ設ケナケレバナラナイカドウカ、ソレダケノコトヲス

ル値打ガアルカドウカト云フコトヲ調ベテ見マスルト、一面ニ於キマシテハ殆ド制限ヲ置クダケ値打ガナイト云フコトニ歸著イタシタ、ソレハ今日ノ修正案トハ少シ模様ガ變テ居リマスガ、最初ハ保險金額ノ最高額ヲ二百五十圓ト致シタ、二百五十圓ト致シテ、サウシテ或ル一定ノ制限、納稅資格以下ノモノニ對シテハ五十圓ノ割増金ヲ與ヘテ、併セテ三百圓ト云フ金額ニナルト云フ仕組デアリマス、然ルニ段々研究ヲ致シマシタ結果、モウ殆ド九分九厘マデハ其五十圓ノ割増金ヲ受取ルト云フ部類ニ這入ルモノデアアル、サウシテ其除外サレルモノハ誠ニ僅ナ部分デアルト云フコトニ歸著イタシマシタノデゴザイマス、其僅ナ除外サルベキ一小部分ノ爲ニ大ナル費用ヲ抛ッテ大ナル手數ヲ掛ケテマデ左様ナ制限ヲ置ク必要ハナイ、故ニ初メカラ最高金額ヲ三百圓ニ致スガ宜イト云フコトデ、其制限ハ取去ラレタノデゴザイマス、ソレデ今日ノ案ニ致シマシテモ、職業別ト申スカ納稅別ト申スカ色々ノ方法モアリマセウガ、併ナガラ何レヲ採リマシテモ精密ニ公平適切ナル制限ヲ實行シヤウト思ヒマスルナラバ、是非トモ大ナル經費ヲ抛ッテセヌケレバナリマセヌガ、是以テ大ナル經費ヲ抛ッテ見タ所デ結果ハドウナルト云ヘバ洵ニ僅ノ除外サルベキ部分ノ爲ニ斯ノ如キ經費ヲ抛ツト云フコトニ歸著スルノデアリマスカラ、強ヒテ左様ナ制限ヲ設ケル必要ハナイト思フノデアリマス、制限ガナクトモ矢張り此法案ノ目的トスル多クノ部分ヲ包容スルト云フコトニナリマスカラ、紙ノ上ニ左様ナ制限ヲ書イテアリマセヌデモ、實際ノ上ニハ自然ニ左様ナ制限ガ出來タト同ジ結果ヲ現ハスノデアリマス、而シテ其利害ハドウカト申シマスレバナカ、紙ノ上ニ制限ヲ設ケルト云フコトハ困難ナルノミナラズ、殆ドソレガ爲ニ萬一強ヒテ設ケマシタ所ガ却ッテ非常ナ煩ヲ惹起スノミデ、割合ニ實益ハナイト信ジマス、希ハクハ左様ナ制限ヲ置クト云フヤウナコトハドウゾ止メニナルコトヲ希望スルノデアリマス、又最高金額ノコトニ付キマシテハ、是ハ元來ガ二十圓以上三百圓以下、其平均ヲ七十五圓ト致シマシテ、ソレカラ割出シテ保險料ナドハ定メラレテ居リマスカラ、若シ二百五十圓トナリマスルト其平均額ハ六十五圓ト云フコトニナリマス、其六十五圓ト云フ平均額ニナリマスレバソレダケ保險料ヲ上ゲナケレバナラスト云フコトニナリマス、此保險料ヲ引上ゲルト云フコトハ此法案ノ本旨ノ一大目的ニ非常ナ妨ヲ生ズルコトデアリマスカラ、是ハ甚ダ苦痛ニ存ズルノデアリマス、或ハソレナラバ經費ヲ節約、即チ手數料ノ高ヲ

減ズル、或ハ利率ヲ高メルト云フコトニ致セバ、ソレデ以テ保險料ヲ高メズシテ行ケルデヤナイカト云フ御説ヲ委員會ナドニ於テモ屢々承ッタデアリマスガ、是モモウ今日ハ殆ド切詰メタ所ニ至ッテ居リマスルノデ、募集手數料、集金手數料、一ハ千分ノ六或ハ百分ノ十二ト申シマスルト、誠ニ高イヤウデアッテ、之ヲ減スコトノ餘地ガアルヤウニ見エマスルケレドモ、實際ハサウデナイ、七十五圓ト云フヤウナ平均ヲ根據ニ致シテ居リマスカラ、其比率ハ高イ、比率ハ高イノデアリマスケレドモ、其金額ハ誠ニ小サナモノデアリマシテ、最早其上ニ之ヲ減ラスト云フ程ノ餘力ハナイノデアリマス、ソレカラ又三分五厘ハ廉イカラ之ヲ四分ニ引上ゲタラト云フ御説モ、段々今日モ承ッタノデアリマスガ、民間ノ基礎ノ確實ナリト稱ヘラレテ居ル會社ハ、矢張り三分五厘ノ利率ニシテ居リマスノデ、是ハ長イ間ノコトニナリマスカラ、ドウシテモ此邊ノ低イ所ニ定メテ置クノガ、此基礎ノ鞏固ヲ保ツ上ニ最も必要ナルコトト信ジマスルノデ、要スルニ經費ヲ省イテ保險料ヲ引上ゲルト云フコトナシニ最高金高ヲ減ラスト云フ趣向ハ甚ダ困難デアアルノデアリマス、右ノ次第デアリマスルカラ、二點トモドウカ修正ヲ加ヘラレズシテ原案ノ通りニ御賛成アルコトヲ希望スルノデアリマス

〔澤柳政太郎君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 澤柳君ハ何デアリマスカ

○澤柳政太郎君 通告ニ依ッテ發言ヲ致シタイト思フノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 唯今討論終結ノ動議ガ成立チマシタカラ、是ヨリソレニ付テ採決ヲ致サウト思ヒマス

○澤柳政太郎君 國務大臣ノ唯今ノ發言ニ依リマシテ討論終結ノ動議ハ消滅シタモノデアリマセヌカト思ヒマスガ、如何デゴザイマセウカ

○議長(公爵徳川家達君) 消滅イタシマセヌ

○澤柳政太郎君 サウ云フ規則デゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 消滅シテ居リマセヌ……討論終局ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス、討論ハ終結セラレマシタ、本案ノ採決ニ付キマシテ記名投票ヲ以テ行ハレムコトヲ望ムト云フ要求ガ出マシタ、故ニ第三條、第四條ヲ問題ト致シ、記名投票ヲ以テ決シマス、念ノ爲

ニ中上ゲテ置キマス、問題ヲ可トスル議員、即チ修正案ニ同意ノ諸君ハ白色票ヲ、反對ノ諸君ハ青色票ヲ、投票函ニ御投入ヲ請ヒマス、例ニ依リマシテ書記官ヲシテ諸君ノ御席ヘ戴キニ出シマス

〔書記官投票ヲ集ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 投票漏ハゴザイマセヌカ

〔山脇玄君「アリマス」ト述フ〕

〔書記官投票ヲ集ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ投票漏ハゴザイマセヌカ……投票漏ハナイト認メマス、是ヨリ計算ヲ致サセマス

〔書記官投票ヲ計算ス〕

○議長(公爵徳川家達君) 記名投票ノ結果ヲ御報告ニ及ビマス、出席總數二百三十六、白色票ヲ投ジタル者、即チ修正案ヲ可トスル者百四十七、青色票ヲ投ジタル者、即チ修正案ヲ否トスル者八十九、故ニ修正案ハ可決セラレマシタ

〔參照〕

賛成者氏名

伯爵萬里小路通房君	伯爵清棲家教君	伯爵松浦厚君
伯爵柳原義光君	伯爵川村鐵太郎君	伯爵奥平昌恭君
伯爵島津忠麿君	伯爵松平直之君	伯爵伏原宣足君
伯爵加藤泰秋君	男爵小澤武雄君	子爵岡部長職君
子爵藤井行徳君	子爵唐橋在正君	子爵野宮定毅君
子爵一柳末徳君	子爵大宮以季君	子爵井伊直安君
子爵青山幸宜君	子爵山口弘達君	子爵牧野貞寧君
子爵京極高德君	子爵松平康民君	子爵久留島通簡君
子爵黒田和志君	子爵本多實方君	子爵舟橋途賢君
子爵勘解由小路資承君	子爵本多忠敬君	子爵藤谷爲寛君
子爵樋口誠康君	子爵稻垣太祥君	子爵毛利高範君
子爵東坊城徳長君	子爵松平直平君	子爵松平直徳君
子爵青木信光君	子爵冷泉爲勇君	子爵有馬頼之君
子爵牧野忠篤君	子爵酒井忠亮君	子爵永井尙敏君
子爵伊集院兼知君	子爵堀河護麿君	子爵五辻治仲君

子爵細川立興君	子爵前田利定君	子爵櫛笥隆督君
子爵森清君	子爵西大路吉光君	子爵井上匡四郎君
子爵榎本武憲君	子爵京極高備君	子爵京極高義君
子爵今城定政君	子爵水野直君	子爵吉田清風君
子爵大給近孝君	子爵本多忠鋒君	子爵豐岡圭資君
子爵藪篤麿君	子爵秋月種英君	子爵伊東祐弘君
子爵片桐貞央君	子爵松平乘長君	子爵野村益三君
子爵大河内正敏君	子爵池田政時君	子爵丹羽長徳君
子爵米津政賢君	子爵清岡長言君	子爵八條隆正君
子爵立花種忠君	男爵千家尊福君	阿部浩君
深野一三君	男爵杉溪言長君	男爵沖原光孚君
男爵村上敬次郎君	男爵山名義路君	男爵北島齊孝君
平井晴二郎君	山本達雄君	岡野敬次郎君
岡喜七郎君	男爵太泰供康君	男爵神田乃武君
男爵阪井重季君	男爵目賀田種太郎君	男爵藤井包總君
男爵平野長祥君	男爵辻健介君	男爵中溝徳太郎君
男爵小早川四郎君	男爵竹腰正巳君	男爵高橋是清君
男爵毛利五郎君	男爵藤大路親春君	男爵若王子文健君
男爵千秋季隆君	男爵安場末喜君	男爵伊丹春雄君
男爵長松篤葉君	男爵福原俊丸君	男爵黒田長和君
男爵岩倉道俱君	男爵安藤直雄君	男爵佐竹義準君
男爵藤堂高成君	鮫島武之助君	岡田良平君
千頭清臣君	加太邦憲君	福永吉之助君
橋本圭三郎君	山之内一次君	有松英義君
木場貞長君	磯部四郎君	杉田定一君
室田義文君	安樂兼道君	古賀廉造君
安立綱之君	南弘君	水野鍊太郎君
麻生太吉君	海江田準一郎君	本間金之助君
橋清治郎君	瀧川辨三君	堀内半三郎君
依田仙右衛門君	佐藤友右衛門君	廣瀨満正君
荒井泰治君	鎌田勝太郎君	松尾廣吉君

美馬儀一郎君 由雄元太郎君 日高榮三郎君
安田善三郎君 伊藤由太郎君 木本源吉君
福島文右衛門君 堀正一君 高崎三重郎君

反對者氏名

侯爵細川護立君 伯爵清閑寺經房君 伯爵吉井幸藏君
伯爵柳澤保惠君 伯爵林博太郎君 山脇玄君
子爵松平乘承君 淺田德則君 伯爵堤正誼君
男爵有地品之允君 男爵大森鍾一君 小野田元熙君
平山成信君 男爵後藤新平君 男爵高木兼寬君
高崎親章君 男爵加藤高明君 男爵中川興長君
大澤謙二君 小牧昌業君 黑岡帶刀君
男爵關義臣君 男爵久保田讓君 男爵山川健次郎君
江木千之君 荒川義太郎君 折田彦市君
柴田家門君 男爵村木雅美君 一木喜徳郎君
仲小路廉君 押川則吉君 小松謙次郎君
古市公威君 男爵田健治郎君 男爵武井守正君
男爵內田正敏君 男爵肝付兼行君 男爵山内長人君
男爵勝田四方藏君 男爵南岩倉具威君 男爵伊東義五郎君
男爵山内豐政君 男爵青山元君 男爵徳川厚君
男爵北大路實信君 男爵眞田幸世君 男爵坪井九八郎君
男爵神山昭君 男爵楠本正敏君 男爵本多政以君
男爵清水資治君 男爵津田弘道君 男爵島津久賢君
男爵二條正鷹君 石井省一郎君 西村亮吉君
谷森眞男君 中島永元君 湯地定基君
森山茂君 馬屋原彰君 原保太郎君
藤田四郎君 富井政章君 石黒五十二君
仁尾惟茂君 澤柳政太郎君 木内重四郎君
若槻禮次郎君 高田早苗君 下條正雄君
伊澤修二君 桑田熊藏君 田中源太郎君
小野光景君 田島竹之助君 細谷巖太郎君
木村誓太郎君 江原芳平君 武石橘次君

植竹三右衛門君 佐々田懋君 星島謹一郎君
橋本辰二郎君 上松泰造君 西川甚五郎君
網藏平輔君 鈴木周三郎君

○議長(公爵徳川家達君) 次ニ御諮リヲ致シマスノハ第五條ヨリ終マデ、原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス、是ニ於テ第二讀會ハ終リマシタ

○伯爵林博太郎君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○男爵高木兼寬君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開クベシトスル林伯爵ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 多數ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス……第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス……御静肅ヲ願ヒマス、本案ヲ衆議院ニ回付イタシマシテ、衆議院ニ於テ同意ヲ表セラルレバ、ソレ迄デゴザイマスガ、萬一協議會ヲ求メラレマスカモ存ジマセスカラ、議事ノ都合上、此際休憩ヲ致シマス

午後四時十五分休憩

午後五時四十五分開會

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

本日衆議院ヨリ本院ノ回付ニ係ル左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ本院ノ修正ニ同意セサルコトニ決議シタル旨ヲ以テ兩院協議會ヲ開クノ請求ヲ受ケ又同時ニ同院ヨリ協議委員ノ數ヲ十名トナスニ決セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

簡易生命保險法案

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ前刻ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス、諸君ニ御諮リヲ致シタイト存ジマス、唯今報告イタサセマシタ通り、衆議院ヨリ簡易生命保險法案ニ付テ協議會ノ要求ガ參リマシタ、付テハ協議委員十名ノ選舉ヲ此際議事日程ヲ變更シテ行ヒタイト存ジマス、御異存ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト存ジマス

○子爵岡部長職君 協議委員ノ指名ハ議長ニ御一任申上ゲタイト存ジマス

○男爵田健治郎君 唯今ノ岡部子爵ノ動議ニ賛成イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 岡部子爵ノ協議委員十名ノ選定ハ議長ニ一任スルト云フ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、協議委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔河井書記官朗讀〕

簡易生命保險法案兩院協議委員

伯爵林 博太郎君	子爵前田 利定君	仲小路 廉君
小松 謙次郎君	山本 達雄君	男爵長松 篤巢君
山之内 一次君	桑田 熊藏君	荒井 泰治君
日高 榮三郎君		

○議長(公爵徳川家達君) 第六、簡易生命保險特別會計法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續

簡易生命保險特別會計法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正五年二月二十六日

右特別委員長

伯爵林 博太郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

○男爵田健治郎君 此法案ハ前ニ載ッテ居リマスル簡易保險法案ト關係ノ件

ハナクテハナラヌノデアリマスガ、是ハ現ニ協議會ニ付セラルル以上ハ、此議決ハ延期ガ當然ト存ジマスカラ、此場合ハ延期セラレムコトヲ希望イタシマス、此段動議トシテ申述ベマス

○平山成信君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 田男爵ノ延期說ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第七、關稅定率法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、第八、朝鮮ノ生産ニ係ル生果、核子及銅ノ移入税ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

關稅定率法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正五年二月二十六日

右特別委員長

伯爵奥平 昌恭

貴族院議長公爵徳川家達殿

朝鮮ノ生産ニ係ル生果、核子及銅ノ移入税ニ關スル法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正五年二月二十六日

右特別委員長

伯爵奥平 昌恭

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵奥平昌恭演壇ニ登ル〕

○伯爵奥平昌恭君 唯今議題ニ上リマシタル關稅法中改正法律案竝ニ朝鮮ノ生産ニ係ル生果、核子及銅ノ移入税ニ關スル法律案、此二案ノ特別委員會ノ經過及結果ヲ御報告申上ゲマス、昨二十六日正副委員長ノ互選ヲ終リマシテ、直チニ會議ヲ開クコトニ致シマシタ、先ヅ關稅法中改正法律案ノ方ヨリ始メマシテゴザイマス、ソレデ本案ニ關シマシテ政府委員ノ説明ノ内容ニ付

キマシテハソレハ略シ、且又本案ノ提出ノ理由等ハ既ニ大臣ノ説明モアリマスカラシテ、ソレ等ノ點ニ付キマシテモ是ハ全然省クコトニ致シマス、去リナガラ改正ノ趣旨ニ付キマシテハ、政府委員ヨリ承リマシタ所ニ付キマシテ少シク述ベル必要ガアラウカト思ヒマス、此度提出ニナリマシタ所ノ改正案ハ主トシテ輸入セラルベキ藥品原料デアッテ、内地デ生産ノ出來ナイモノ、若クハ内地デ生産ヲ致シマシテモ比較的生産額ノ少イモノ、即チ外國カラ輸入ヲ仰ガナケレバナラスモノ等ニ付キマシテハ、之ヲ無稅トシ若クハ稅率ヲ低下スルト云フコトニナッテ居ルノデゴザイマス、又精製品ニ付キマシテハ、外國ヨリ之ヲ輸入スルニ付テハ稅率ヲ引上ゲル、而シテ内地ノ生産ノ保護ヲスルト云フノガ……且又從來制定セラレテ居ル所ノ稅率權衡ヲ失スルモノ、又取扱上便宜ノ點カラシテ之ヲ改正シタト云フノガ本案ノ提出ニナッテ居ルノデゴザイマス、而シテ尙ホ一層改正案ノ内部ニ付キマシテ少シク申上ゲマスレバ、第八條ノ「輸出貨物ノ容器ニ使用スル物品ニシテ命令ヲ以テ指定シタルモノ」ト云フヤウニ、國內デ製造シテモ貨物ノ容器ガ出來ナイ物、又生産イタシテモ價格ノ關係上カラシテ、輸出貨物ヲ輸入シテ使用スルコトガ出來ナイモノヲ意味シテ居ルサウデアリマス、是ハ輸出獎勵ノ爲ニ輸入稅ヲソレニ賦課シテハ宜シクナイト云フコトデ、免稅ヲ致シタサウデアリマス、ソレデ質問ニ入りマシテ、各物品ニ關スル分ハ複雑ニナリマスカラ之ヲ略シマシテ、稅制政策ノ上カラシテ二三ノ質問ガゴザイマシタ、是ハ重要ナモノト思ヒマスカラ茲ニ御紹介ヲ致シマス、ソレデ此改正案ヲ以テ政府ハ足レリトシテ居ルカ、將又大體ニ涉ッテ今日ノ關稅法ヲ他日改正シタイト云フ考ヲ有ッテ居ルカドウカ、又改正案ハ今日ノ國家經濟上及國家工業ノ發展ノ上カラシテ種々改良サルルモノデアルカ、サウシテ其點ニ付テハ他日ニ之ヲ讓ル考デアルカト云フ質問ヲ致シマシタ、ソレカラ何故ニ斯ノ如キ重大ナル改正案ヲ會期切迫ノ際ニ議場ニ提出シタカト云フ、斯ウ云フ三ツノ質問ニ對シテハ政府ハソレゾレ應答ガアリマシタ、質問ヲ終リマシテ、委員會ハ唯今前ニ述ベラレタ所ノ改正ノ趣旨ヲ是ナリトシテ、之ヲ可決イタシタノデゴザイマス、其可決ニ際シマシテ委員會ハ左ノ如キ希望ヲ附シテゴザイマス、ソレハ國稅ニ關スル諸種ノ法律ハ近年頻繁ニ改正ヲ加ヘラレテ、專門家デナケレバ複雑デアッテ一見シテモ此稅法ヲ理解スルコトガ出來ナイ、誠ニ商賣人等ニ對シテハ……

貿易者ニ對シテハ非常ニ氣ノ毒デアルカラ、何トカシテ之ヲ他日改メテ、本案ノ改正案ヲ提出ナサレタドウカト云フ希望ヲ議員カラ申サレマシタ、此希望ヲ委員會デ問ヒマシタ、所ガ委員會ニ於キマシテハ委員會ノ希望トシテ宜シイト云フコトデゴザイマスカラ、茲ニ御紹介ヲ致シマス、尤モ本案ニ付キマシテハ是ハ必ズ正鵠ヲ得テ居ル所ノ改正案トハ委員會デハ認メマセヌデゴザイマスケレドモ、去リナガラ會期切迫ノ際ニ之ヲ數日ヲ重ネテ議スルト云フコトハ出來ズ、サウ云フ工合ニ致シマシテハ今日焦眉ノ急ニ應ズル關稅定率法モ潰レナケレバナラスト云フノデ、希望ヲ提出シテ此案ヲ可決イタシマシタ、ソレカラ朝鮮ノ生産ニ係ル生果、核子及銅ノ移入稅ニ關係シマシテハ、果物核子、ソレカラ金屬類ノ制限ヲ、一方ハ從來從量稅デアッテ、ソレハ歐羅巴及亞米利加等ヨリ輸入シタ所ノ果物ハ從量ノ三割ヲ賦課スル規定ニナッテ居ッタノデゴザイマスルケレドモ、若シ其儘ニシテ置ケバ朝鮮ノヤウナ生果及核子ノ生産ニ付テ生産費ヲ要セザル所ヨリシテ、日本ニ之ヲ移入シタ場合ニ移入稅ニ從量ノ三割ヲ賦課スルト云フコトデアラナラバ、非常ナ重稅ニナルカラシテ、是ハ寧ろ原價ヲ標準トシテ、原價ノ三割ヲ賦課スル方ガ宜カラウト云フコトデアッタサウデアリマス、ソレカラ塊及錠ハ朝鮮ニ産シマス所ノ金銀ヲ精煉用シテ内地カラ之ヲ移入スルノデアッテ、此銅ノ塊及錠ニ金及銀ヲ含蓄セシメテ、再ビ之ヲ内地ニ移入シ、分析シテ金銀ヲ採ルノヲ目的トシテ朝鮮ニ銅ヲ移入スル、其銅ガ再ビ内地ニ移入セラルル場合ニ於テハ移入稅ヲ賦課シテハ、朝鮮ニ於ケル所ノ工業ノ發達ヲ保護スルト云フコトニ於テ誠ニ當ヲ得テ居ナイカラシテ、是ハ免稅ニシタラ宜カラウト云フコトデアリマスカウデアリマス、而シテ政府委員ノ説明スル所ニ於キマシテハ、衆議院ニ於テハ朝鮮ノ工業保護ニ付テハ單ニ銅ヲ免稅スルヲ以テ足レリトシナイ、廣ク金屬ヲ移入シタ方ガ宜カラウ、即チ金屬ノ塊及錠ヲ免稅スベシト云フコトノ修正說ガ出タサウデアリマス、大藏省及朝鮮總督府モ同意シテ、衆議院デハ銅ノ移入ト云フコトヲ取消サレテ、唯今申ス通り金屬ト云フコトニナッテ居ルサウデゴザイマス、ソレデ此案ニ付キマシテモ委員會ニ於テハ一ノ異論モナク通過イタシマシタ、此二案ハ目下焦眉ノ急ニ應ズル、即チ國內ノ產業ヲ保護スルヲ以テ目的トシテ居ル故ニ、委員會ニ於テハ此二案トモ異議ナク可決イタシマシタ、此段御報告イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ガナケレバ唯今委員長ノ報告セラレマシタ

兩案トモ一括シテ議題トナシ、採決ヲ致シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 兩案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○伯爵奥平昌恭君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○男爵中川興長君 賛成

〔其他〕賛成ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、兩案全部ノ問題ニ供シマス……全部委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○伯爵奥平昌恭君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○男爵中川興長君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ兩案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス……第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第九、證券ヲ以テスル歳入納付ニ關スル法律案、

政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

證券ヲ以テスル歳入納付ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正五年二月二十六日

右特別委員長

伯爵松浦 厚

貴族院議長公爵徳川家達君

〔伯爵松浦厚君演壇ニ登ル〕

○伯爵松浦厚君 證券ヲ以テスル歳入納付ニ關スル法律案ノ特別委員會ヲ昨日開キマシタ、其經過ヲ申上ゲマス、此法案ハ御承知モアラセラレル通りニ、既に證券ヲ以チマシテ歳入ヲ納付スルニ關シテハ、勅令トカ省令トカ訓令、告示、國稅徵收施行細則ト云フヤウナモノニ於キマシテ、既に斷片的ニ規定ヲサレマシテ既に二行ハレテ居ルモノデアリマシタ、併ナガラ其手續其他ガ極メテ煩瑣ニ互ッテ居ル爲ニ、證券ノ種類ガ種々アリマスノニ付キマシテ、制限モアリ、爲ニ折角ノ便利ナル事柄モ方法ノ十分ナラザルガ爲ニ利用サレザル所ノ憾ガアッタノデアリマス、ソコニ付テ此度ハ政府ニ於テ此法律案ヲ提出サレタノデアリマス、至ッテ簡單ナ法律案デアリマスケレドモ、特別委員ニ於キマシテハ十分ニ政府委員ニ答辯ヲ請ヒマシテ研究ヲ致シタ次第デゴザイマス、其要點ニ付キマシテ極メテ簡單ニ申上ゲタイト考ヘマス、此度此法律案ヲ提出サレマシテ、唯今申シマシタ通りナル所ノ最モ複雑ナル事柄ヲ總テ統一スルヤウニナリマシタ爲ニ、大變便利ヲ得タト云フ次第デアリマス、付キマシテハ此歳入ヲ納メ入レルニ付キマシテ、取扱ヲスル銀行ハ如何ナル種類ノ銀行デアリマスカト申上ゲテ見マスナラバ、第一ニ特殊銀行、第二ニ手形銀行即チ貨幣銀行、第三ニ國庫金ヲ取扱フベキ所ノ銀行、此三種ノ銀行ノ中ニ今日ハ限ラレテ居ル譯デアリマス、又其證券ノ種類ハドウ云フモノカト申シマスルト、第一ハ唯今申上ゲマシタ所ノ三種ノ銀行ニ宛テマシタ所ノ所持人拂ノ小切手、第二ハ即チ仕拂期間到達ノ無記名國債ノ利札、第三ハ政府又ハ宮内省ノ仕拂命令並ニ政府仕拂ノ請求書、第四ハ郵便爲替、是ノ種類ニ決ッテ居ル、斯ノ如ク其手形ヲ以チマシテ拂入ルト云フ所ノ便法ヲ得マシタニ付キマシテハ、人民間ニ於キマシテモ極メテ適切ナル便法ヲ得マシテ、納稅ノ途モ輕便ニ開ケタト云フコトニナリマス、又當局者ニ於カレマシテ之ヲ納入

サルル上ニ付テモ便利ヲ得タト云フコトデアリマス、雙方ノ便利、今日人文ノ進ミマシタ際ニ於テハ至極斯ノ如キ便法ヲ開カレ、新ニ法律案ヲ提出サレマシタコトハ至極結構ナコトデアリ、歡迎スルコトト考ヘマス、付キマシテハ委員會ニ於キマシテ希望ガアリマシテ、其希望ハ唯今申上ゲマシタ所ノ三種ノ銀行以外ニ、地方ニ於テ信用アル銀行ガアルナラバ便利上其銀行ニ於テモ此取扱ヲ致サセルト云フヤウナ途ガ開ケテハドウデアラウカト云フヤウナコトデアリマシテ、又衆議院ニ於テモ同ジク斯ノ如キ希望ガアッタト云フコトデアリマス、付キマシテハ政府委員ニ於キマシテハ今日ニ於テハ餘ホド研究ヲ要シ、色々銀行ノ信用上ニモ關係シテ居ルコトデアルカラ、直チニ茲ニ於テ取扱銀行ノ範圍ヲ廣クスルト云フコトハ御請合ヲシ兼ネルコトデアアルケレドモ、尙ホ取調ヲ致シタ以上ニ出來得ル限リ此範圍ヲ廣クシテ便法ヲ開クコトニ努メルデアラウト云フ返答デゴザイマシタ、付キマシテハ極メテ簡單ナ案デゴザイマスカラ、特別委員ニ於キマシテモ滿場一致デ賛成イタシマシタ、即チ原案ヲ賛成イタスコトニナリマシタ、右ノ次第ヲ御報告イタシマス

○男爵田健治郎君 本案ハ納稅者其他ノ便利ヲ増進シ且ツ正確ニスルト云フ案デアリマシテ、極メテ簡單明瞭ナ案デゴザイマスルカラ、讀會ヲ省略シテ決定セラレムコトヲ望ムノデアリマス

○小野田元熙君 賛成

○伯爵萬里小路通房君 賛成

○伯爵松浦厚君 賛成

○伯爵奥平昌恭君 賛成

○子爵野村益三君 賛成

○伯爵松平直之君 賛成

○田中源太郎君 賛成

○男爵高木兼寛君 賛成

○子爵西大路吉光君 賛成

○男爵中川興長君 賛成

○男爵山内長人君 賛成

○田島竹之助君 賛成

○男爵平野長祥君 賛成

○伯爵清閑寺經房君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 田男爵ノ讀會ヲ省略スルト云フ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス、是ニテ本日ノ議事ハ了リマシタ、明日ノ議事日程ハ決定次第彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是デ散會イタシマス

午後六時八分散會